



BEA

WebLogic Server

コンフィグレーション リファレンス

BEA WebLogic Server 6.1
マニュアルの日付 : 2001 年 12 月 19 日

著作権

Copyright © 2001 BEA Systems, Inc. All Rights Reserved.

限定的権利条項

本ソフトウェアおよびマニュアルは、BEA Systems, Inc. 又は日本ビー・イー・エー・システムズ株式会社（以下、「BEA」といいます）の使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができ、同契約の条項通りにのみ使用またはコピーすることができます。同契約で明示的に許可されている以外の方法で同ソフトウェアをコピーすることは法律に違反します。このマニュアルの一部または全部を、BEA からの書面による事前の同意なしに、複写、複製、翻訳、あるいはいかなる電子媒体または機械可読形式への変換も行うことはできません。

米国政府による使用、複製もしくは開示は、BEA の使用許諾契約、および FAR 52.227-19 の「Commercial Computer Software-Restricted Rights」条項のサブパラグラフ (c)(1)、DFARS 252.227-7013 の「Rights in Technical Data and Computer Software」条項のサブパラグラフ (c)(1)(ii)、NASA FAR 補遺 16-52.227-86 の「Commercial Computer Software--Licensing」条項のサブパラグラフ (d)、もしくはそれらと同等の条項で定める制限の対象となります。

このマニュアルに記載されている内容は予告なく変更されることがあり、また BEA による責務を意味するものではありません。本ソフトウェアおよびマニュアルは「現状のまま」提供され、商品性や特定用途への適合性を始めとする（ただし、これらには限定されない）いかなる種類の保証も与えません。さらに、BEA は、正当性、正確さ、信頼性などについて、本ソフトウェアまたはマニュアルの使用もしくは使用結果に関していかなる確約、保証、あるいは表明も行いません。

商標または登録商標

BEA、WebLogic、Tuxedo、および Jolt は BEA Systems, Inc. の登録商標です。How Business Becomes E-Business、BEA WebLogic E-Business Platform、BEA Builder、BEA Manager、BEA eLink、BEA WebLogic Commerce Server、BEA WebLogic Personalization Server、BEA WebLogic Process Integrator、BEA WebLogic Collaborate、BEA WebLogic Enterprise、および BEA WebLogic Server は、BEA Systems, Inc. の商標です。

その他の商標はすべて、関係各社がその権利を有します。

BEA WebLogic Server コンフィグレーション リファレンス

マニュアルの日付	ソフトウェアのバージョン
----------	--------------

2001 年 12 月 19 日	WebLogic Server バージョン 6.1
------------------	---------------------------

目次

このマニュアルの内容

対象読者	vii
e-docs Web サイト	viii
このマニュアルの印刷方法	viii
関連情報	viii
サポート情報	viii
表記規則	ix

1. config.xml の概要

config.xml ファイルとは	1-1
config.xml ファイルの編集	1-2
BEA XML エディタ	1-3

2. Config.dtd

3. config.xml の要素と属性

config.dtd の要素階層構造	3-4
要素属性の説明	3-9
Administrator	3-10
Application	3-11
ApplicationManager	3-12
BridgeDestination	3-14
CachingRealm	3-15
Cluster	3-21
ConnectorComponent	3-23
CustomRealm	3-29
Domain	3-30
DomainLogFilter	3-31
EJBComponent	3-33
EJBContainer	3-36
ExecuteQueue	3-38
FileRealm	3-39
FileT3	3-40

JDBCConnectionPool.....	3-41
JDBCDataSource.....	3-48
JDBCMultiPool.....	3-51
JDBCTxDataSource.....	3-54
JMSConnectionConsumer.....	3-58
JMSConnectionFactory.....	3-59
JMSDestCommon.....	3-65
JMSDestination.....	3-70
JMSDestinationKey.....	3-72
JMSFileStore.....	3-74
JMSJDBCStore.....	3-75
JMSQueue.....	3-76
JMSServer.....	3-77
JMSSessionPool.....	3-81
JMSStore.....	3-82
JMSTemplate.....	3-83
JMSTopic.....	3-84
JoltConnectionPool.....	3-86
JTA.....	3-88
LDAPRealm.....	3-90
Log.....	3-95
Machine.....	3-97
MailSession.....	3-98
MessagingBridge.....	3-99
NodeManager.....	3-101
NTRealm.....	3-102
PasswordPolicy.....	3-103
RDBMSRealm.....	3-106
Realm.....	3-108
Security.....	3-109
Server.....	3-110
ServerStart.....	3-121
ShutdownClass.....	3-123
SNMPAgent.....	3-124
SNMPAttributeChange.....	3-128
SNMPCounterMonitor.....	3-130
SNMPGaugeMonitor.....	3-133
SNMPLogFilter.....	3-136
SNMPProxy.....	3-138

SNMPStringMonitor	3-139
SNMPTrapDestination	3-142
SSL	3-143
StartupClass	3-152
UnixMachine	3-153
UnixRealm	3-155
VirtualHost	3-157
WebAppComponent	3-162
WebServer	3-166
WLECConnectionPool	3-172
XMLEntityCache	3-176
XMLEntitySpecRegistryEntry	3-178
XmlFileRepository	3-180
XMLParserSelectRegistryEntry	3-181
XMLRegistry	3-183
XMLRegistryEntry (非推奨)	3-185

索引



このマニュアルの内容

このマニュアルでは、**WebLogic Server** のコンフィグレーション ファイル (`config.xml`) について説明します。

このマニュアルの構成は次のとおりです。

- 第 1 章「`config.xml` の概要」では `config.xml` ファイルと `config.dtd` ファイルについて説明し、コンフィグレーション ファイルの編集ガイドラインについて説明します。
- 第 2 章「`Config.dtd`」では、`config.dtd` 文書型定義 (DTD) を示します。
- 第 3 章「`config.xml` の要素と属性」では、`config.xml` の要素と属性について説明します。
- 索引ではすべての要素名と属性名へのリンクを示します。

対象読者

このマニュアルは、サーバ管理者とアプリケーション開発者を対象としています。**WebLogic Server** プラットフォーム、XML、および Java プログラミングに読者が精通していることを前提として書かれています。管理者の中には、プロダクション環境で **WebLogic Server** の処理の一部をコンフィグレーションすることを考えている方もいます。[サーバ コンソール] という GUI インタフェースもコンフィグレーション作業に対応しています。ただし、場合によっては、コンフィグレーション ファイル `config.xml` を直接変更の方が適切であることがあります。このマニュアルでは、`config.xml` ファイルのプロダクションインスタンスに存在する、または存在する可能性のある XML 要素とそれに関連する属性について説明します。

注意： `config.xml` ファイルを変更すると、お客様の環境にある **WebLogic Server** の運用に影響を与えます。

e-docs Web サイト

WebLogic Server の全ドキュメントを含む BEA 製品のドキュメントは、BEA の Web サイトで入手できます。BEA のホームページで [製品のドキュメント] をクリックします。

このマニュアルの印刷方法

Web ブラウザの [ファイル | 印刷] オプションを使用すると、Web ブラウザからこのマニュアルのメイン トピックを一度に 1 つずつ印刷できます。

このマニュアルの PDF 版は、Web サイトで入手できます。PDF を Adobe Acrobat Reader で開くと、マニュアルの全体（または一部分）を書籍の形式で印刷できます。PDF を表示するには、WebLogic Server ドキュメントのホームページを開き、[ドキュメントのダウンロード] をクリックして、印刷するマニュアルを選択します。

Adobe Acrobat Reader は、Adobe の Web サイト (<http://www.adobe.co.jp>) から無料で入手できます。

関連情報

サポート情報

BEA のドキュメントに関するユーザからのフィードバックは弊社にとって非常に重要です。質問や意見などがあれば、電子メールで docsupport-jp@bea.com までお送りください。寄せられた意見については、ドキュメントを作成および改訂する BEA の専門の担当者が直に目を通します。

電子メールのメッセージには、ご使用のソフトウェア名とバージョン名、およびマニュアルのタイトルと作成日付をお書き添えください。本バージョンの **BEA WebLogic Server** について不明な点がある場合、または **BEA WebLogic Server** のインストールおよび動作に問題がある場合は、**BEA WebSUPPORT** (www.bea.com) を通じて **BEA カスタマ サポート** までお問い合わせください。カスタマ サポートへの連絡方法については、製品パッケージに同梱されているカスタマ サポート カードにも記載されています。

カスタマ サポートでは以下の情報をお尋ねしますので、お問い合わせの際はあらかじめご用意ください。

- お名前、電子メールアドレス、電話番号、ファクス番号
- 会社の名前と住所
- お使いの機種とコード番号
- 製品の名前とバージョン
- 問題の状況と表示されるエラー メッセージの内容

表記規則

このマニュアルでは、全体を通して以下の表記規則が使用されています。

表記法	適用
[Ctrl] + [Tab]	同時に押すキーを示す。
斜体	強調または本のタイトルを示す。

表記法	適用
等幅テキスト	<p>コードサンプル、コマンドとそのオプション、Java クラス、データ型、ディレクトリ、およびファイル名とその拡張子を示す。等幅テキストはキーボードから入力するテキストも示す。</p> <p>例：</p> <pre>import java.util.Enumeration; chmod u+w * config/examples/applications .java config.xml float</pre>
斜体の等幅テキスト	<p>コード内の変数を示す。</p> <p>例：</p> <pre>String <i>CustomerName</i>;</pre>
すべて大文字のテキスト	<p>デバイス名、環境変数、および論理演算子を示す。</p> <p>例：</p> <pre>LPT1 BEA_HOME OR</pre>
{ }	構文内の複数の選択肢を示す。
[]	<p>構文内の任意指定の項目を示す。</p> <p>例：</p> <pre>java utils.MulticastTest -n name -a address [-p portnumber] [-t timeout] [-s send]</pre>
	<p>構文の中で相互に排他的な選択肢を区切る。</p> <p>例：</p> <pre>java weblogic.deploy [list deploy undeploy update] password {application} {source}</pre>

表記法	適用
...	コマンドラインで以下のいずれかを示す。 <ul style="list-style-type: none">■ 引数を複数回繰り返すことができる。■ 任意指定の引数が省略されている。■ パラメータや値などの情報を追加入力できる。
. .	コード サンプルまたは構文で項目が省略されていることを示す。



1 config.xml の概要

以降の節では、WebLogic Server™ コンフィグレーション ファイル (config.xml) の概要について説明します。

- 1-1 ページの「config.xml ファイルとは」
- 1-2 ページの「config.xml ファイルの編集」
- 1-3 ページの「BEA XML エディタ」

config.xml ファイルとは

config.xml ファイルは、WebLogic Server ドメイン全体のコンフィグレーションを記述する XML ドキュメントです。config.dtd 文書型定義 (DTD) が、config.xml ファイルの内容と構造を記述しています。この DTD には、有効な XML タグ、タグの順序、タグが省略可能かどうか、タグ内に含まれるデータの型、タグ属性、属性の値などが記述されています。

config.xml ファイルは XML 要素群で構成されています。Domain 要素はトップレベルの要素であり、Domain 内のすべての要素は Domain 要素の子です。

Domain 要素には、Server 要素、Cluster 要素、Application 要素などの子要素があります。子要素の中にさらに子要素がある場合もあります。

たとえば、Server 要素には、子要素として WebServer、SSL、および Log があります。Application 要素には EJBComponent と WebAppComponent という子要素があります。要素の親子関係の図については、図 3-1 を参照してください。

各要素には任意の数のコンフィグレーションできる属性があります。config.dtd に定義されている属性には、コンフィグレーション API に対応する属性があります。たとえば、Server 要素には ListenPort 属性があり、同様に、weblogic.management.configuration.ServerMBean にも ListenPort 属性があ

ります。コンフィグレーションできる属性は読み書きが可能です。たとえば、ServerMBean には `getListenPort` メソッドと `setListenPort` メソッドがあります。

Server の SSL 属性などのように、属性が別の要素である場合、参照は名前で定義されます。すべての要素には **Name** 属性があります。

`config.dtd` ファイルの詳細については、第 2 章「**Config.dtd**」を参照してください。

config.xml ファイルの編集

ドメイン コンフィグレーションの変更やモニタには、**Administration Console** を使用することをお勧めします。また、次の方法でも `config.xml` ファイルを変更できます。

- **WebLogic Server** アプリケーション プログラミング インタフェース (API) を使用すると、他のプログラムから、ドメイン内のリソースのコンフィグレーション属性を変更できます。
- ドメインの属性には、**WebLogic Server** コマンドライン ユーティリティを使用してアクセスできます。このユーティリティでは、ドメイン管理を自動化するスクリプトを作成できます。

警告： コンフィグレーション ファイルを手動で編集する場合、あらかじめ次の点に注意してください。

`config.xml` ファイルを編集するときは、常に編集前に保存しておきます。

ドメインがアクティブなときには、ドメイン用の `config.xml` ファイルを編集しないでください。ドメインがアクティブなときにコンフィグレーション ファイルを手動で変更した場合、行った変更がシステムによって上書きされるおそれがあります。さらに、ドメインがアクティブなときに手動で行ったすべての変更は、システムの実行時には無視されます。

コマンドライン ユーティリティで `config.xml` を編集しているとき、またはその編集後には検証や値のチェックが行われないので、編集したコンフィグレーション ファイルを初めてロードしたとき、つまり、ドメイ

ンのサーバを再起動したときに型チェックが行われます。その時点で無効な XML または無効な属性値が検出された場合、ドメインは起動できません。

BEA XML エディタ

BEA XML エディタは、XML ファイルを作成および編集するためのシンプルでユーザフレンドリなツールです。このツールを使うと、指定した DTD または XML スキーマに従って XML コードの有効性を検証できます。BEA dev2dev の「BEA XML Editor」を参照してください。

2 Config.dtd

```
<!ELEMENT Domain ( Security? | Log? | JTA? | SNMPAgent? | Administrator* |
Application* | ApplicationManager* | BridgeDestination* | CachingRealm* |
Cluster* | ConnectorComponent* | CustomRealm* | DomainLogFilter* | FileRealm* |
FileT3* | JDBCConnectionPool* | JDBCDataSource* | JDBCMultiPool* |
JDBCTxDataSource* | JMSConnectionFactory* | JMSFileStore* | JMSJDBCStore* |
JMSServer* | JMSTemplate* | JoltConnectionPool* | LDAPRealm* | Machine* |
MailSession* | MessagingBridge* | NTRealm* | PasswordPolicy* | RDBMSRealm* |
Realm* | Server* | ShutdownClass* | StartupClass* | UnixMachine* | UnixRealm* |
VirtualHost* | WLECCConnectionPool* | WebServer* | XMLEntityCache* |
XMLEntitySpecRegistryEntry* | XMLParserSelectRegistryEntry* | XMLRegistry* |
XmlFileRepository* )*>
```

```
<!ATTLIST Domain
```

ConsoleContextPath	CDATA	console
ConsoleEnabled	(true false)	true
LastModificationTime	CDATA	0
Name	CDATA	#REQUIRED
Notes	CDATA	#IMPLIED
RootDirectory	CDATA	#IMPLIED
Servers	CDATA	#IMPLIED
>		

```
<!ELEMENT Security EMPTY>
```

```
<!ATTLIST Security
```

AuditProviderClassName	CDATA	#IMPLIED
GuestDisabled	(true false)	true
Name	CDATA	#REQUIRED
Notes	CDATA	#IMPLIED
PasswordPolicy	CDATA	#IMPLIED
Realm	CDATA	#IMPLIED
SystemUser	CDATA	system
>		

```
<!ELEMENT Log EMPTY>
```

```
<!ATTLIST Log
```

FileCount	CDATA	7
FileMinSize	CDATA	500
FileName	CDATA	weblogic.log
FileTimeSpan	CDATA	24
Name	CDATA	#REQUIRED

2 Config.dtd

```
Notes CDATA #IMPLIED
NumberOfFilesLimited (true|false) false
RotationType (bySize|byTime|none) none
>

<!ELEMENT JTA EMPTY>
<!ATTLIST JTA

AbandonTimeoutSeconds CDATA 86400
BeforeCompletionIterationLimit CDATA 10
ForgetHeuristics (true|false) true
MaxTransactions CDATA 10000
MaxUniqueNameStatistics CDATA 1000
Name CDATA #REQUIRED
Notes CDATA #IMPLIED
TimeoutSeconds CDATA 30
>

<!ELEMENT SNMPAgent ( SNMPLogFilter* | SNMPTrapDestination* | SNMPCounterMonitor*
| SNMPStringMonitor* | SNMPAttributeChange* | SNMPGaugeMonitor* | SNMPProxy* )*>
<!ATTLIST SNMPAgent

CommunityPrefix CDATA public
DebugLevel (0|1|2|3) 0
Enabled (true|false) false
MibDataRefreshInterval CDATA 120
Name CDATA #REQUIRED
Notes CDATA #IMPLIED
NMPPort CDATA 161
ServerStatusCheckIntervalFactor CDATA 1
>

<!ELEMENT SNMPLogFilter EMPTY>
<!ATTLIST SNMPLogFilter

EnabledServers CDATA #IMPLIED
MessageIds CDATA #IMPLIED
MessageSubstring CDATA #REQUIRED
Name CDATA #REQUIRED
Notes CDATA #IMPLIED
SeverityLevel CDATA Error
SubsystemNames CDATA #IMPLIED
UserIds CDATA #IMPLIED
>

<!ELEMENT SNMPTrapDestination EMPTY>
<!ATTLIST SNMPTrapDestination

Community CDATA public
Host CDATA localhost
Name CDATA #REQUIRED
Notes CDATA #IMPLIED
Port CDATA 162
>
```

```
<!ELEMENT SNMPCounterMonitor EMPTY>
```

```
<!ATTLIST SNMPCounterMonitor
```

EnabledServers	CDATA	#IMPLIED
Modulus	CDATA	0
MonitoredAttributeName	CDATA	#IMPLIED
MonitoredMBeanName	CDATA	#IMPLIED
MonitoredMBeanType	CDATA	#IMPLIED
Name	CDATA	#REQUIRED
Notes	CDATA	#IMPLIED
Offset	CDATA	0
PollingInterval	CDATA	0
Threshold	CDATA	0
>		

```
<!ELEMENT SNMPStringMonitor EMPTY>
```

```
<!ATTLIST SNMPStringMonitor
```

EnabledServers	CDATA	#IMPLIED
MonitoredAttributeName	CDATA	#IMPLIED
MonitoredMBeanName	CDATA	#IMPLIED
MonitoredMBeanType	CDATA	#IMPLIED
Name	CDATA	#REQUIRED
Notes	CDATA	#IMPLIED
NotifyDiffer	(true false)	false
NotifyMatch	(true false)	false
PollingInterval	CDATA	0
StringToCompare	CDATA	#IMPLIED
>		

```
<!ELEMENT SNMPAttributeChange EMPTY>
```

```
<!ATTLIST SNMPAttributeChange
```

AttributeMBeanName	CDATA	#IMPLIED
AttributeMBeanType	CDATA	#IMPLIED
AttributeName	CDATA	#IMPLIED
EnabledServers	CDATA	#IMPLIED
Name	CDATA	#REQUIRED
Notes	CDATA	#IMPLIED
>		

```
<!ELEMENT SNMPGaugeMonitor EMPTY>
```

```
<!ATTLIST SNMPGaugeMonitor
```

EnabledServers	CDATA	#IMPLIED
MonitoredAttributeName	CDATA	#IMPLIED
MonitoredMBeanName	CDATA	#IMPLIED
MonitoredMBeanType	CDATA	#IMPLIED
Name	CDATA	#REQUIRED
Notes	CDATA	#IMPLIED
PollingInterval	CDATA	0
ThresholdHigh	CDATA	0
ThresholdLow	CDATA	0
>		

2 Config.dtd

```
<!ELEMENT SNMPProxy EMPTY>
<!ATTLIST SNMPProxy

        Community                CDATA                na
        Name                      CDATA                #REQUIRED
        Notes                      CDATA                #IMPLIED
        OldRoot                    CDATA                #IMPLIED
        Port                       CDATA                0
        Timeout                    CDATA                5000
    >

<!ELEMENT Administrator EMPTY>
<!ATTLIST Administrator

        EmailAddress              CDATA                root
        Name                      CDATA                #REQUIRED
        Notes                      CDATA                #IMPLIED
        PhoneNumber                CDATA                #IMPLIED
        WriteAuthorized             (true|false)        false
    >

<!ELEMENT Application ( EJBComponent* | WebAppComponent* )*>
<!ATTLIST Application

        ApplicationDescriptor      CDATA                #IMPLIED
        Deployed                   (true|false)        true
        Name                       CDATA                #REQUIRED
        Notes                      CDATA                #IMPLIED
        Path                       CDATA                #REQUIRED
    >

<!ELEMENT EJBComponent EMPTY>
<!ATTLIST EJBComponent

        Application                CDATA                #IMPLIED
        DeploymentOrder            CDATA                1000
        EJBDescriptor              CDATA                #IMPLIED
        ExtraRmicOptions           CDATA                #IMPLIED
        JavaCompiler                CDATA                #IMPLIED
        JavaCompilerPostClassPath  CDATA                #IMPLIED
        JavaCompilerPreClassPath   CDATA                #IMPLIED
        KeepGenerated               (true|false)        true
        Name                      CDATA                #REQUIRED
        Notes                      CDATA                #IMPLIED
        Targets                    CDATA                #IMPLIED
        TmpPath                    CDATA                tmp_ejb
        URI                       CDATA                #REQUIRED
        VerboseEJBDeploymentEnabled CDATA                false
    >

<!ELEMENT WebAppComponent EMPTY>
<!ATTLIST WebAppComponent

        Application                CDATA                #IMPLIED
        AuthRealmName              CDATA                weblogic
        DeploymentOrder            CDATA                1000
    >
```

```

        IndexDirectoryEnabled          (true|false)          false
        Name                           CDATA                  #REQUIRED
        Notes                           CDATA                  #IMPLIED
        PreferWebInfClasses              (true|false)          false
        ServletExtensionCaseSensitive    (true|false)          false
        ServletReloadCheckSecs          CDATA                  1
        SessionMonitoringEnabled         (true|false)          false
        SingleThreadedServletPoolSize   CDATA                  5
        Targets                          CDATA                  #IMPLIED
        URI                              CDATA                  #REQUIRED
        WebDescriptor                    CDATA                  #IMPLIED
        WebServers                       CDATA                  #IMPLIED
    >

<!ELEMENT ApplicationManager EMPTY>
<!ATTLIST ApplicationManager

        AutoDeployedEnabled            (true|false)          true
        AutoUpdateInterval              CDATA                  3000
        Name                             CDATA                  #REQUIRED
        Notes                             CDATA                  #IMPLIED
    >

<!ELEMENT BridgeDestination EMPTY>
<!ATTLIST BridgeDestination

        AdapterJNDIName                 CDATA                  #IMPLIED
        Name                             CDATA                  #REQUIRED
        Notes                             CDATA                  #IMPLIED
        Properties                       CDATA                  #IMPLIED
    >

<!ELEMENT CachingRealm EMPTY>
<!ATTLIST CachingRealm

        ACLCacheEnable                  (true|false)          true
        ACLCacheSize                     CDATA                  211
        ACLCacheTTLNegative              CDATA                  10
        ACLCacheTTLPositive              CDATA                  60
        AuthenticationCacheEnable        (true|false)          true
        AuthenticationCacheSize           CDATA                  211
        AuthenticationCacheTTLNegative    CDATA                  10
        AuthenticationCacheTTLPositive    CDATA                  60
        BasicRealm                       CDATA                  #REQUIRED
        CacheCaseSensitive                 (true|false)          true
        GroupCacheEnable                  (true|false)          true
        GroupCacheSize                     CDATA                  211
        GroupCacheTTLNegative              CDATA                  10
        GroupCacheTTLPositive              CDATA                  60
        GroupMembershipCacheTTL           CDATA                  300
        Name                             CDATA                  #REQUIRED
        Notes                             CDATA                  #IMPLIED
        PermissionCacheEnable             (true|false)          true
        PermissionCacheSize                CDATA                  211
        PermissionCacheTTLNegative         CDATA                  10
        PermissionCacheTTLPositive         CDATA                  60
    >

```

2 Config.dtd

```

        UserCacheEnable                (true|false)          true
        UserCacheSize                  CDATA                 211
        UserCacheTTLNegative            CDATA                 10
        UserCacheTTLPositive            CDATA                 60
    >

<!ELEMENT Cluster EMPTY>
<!ATTLIST Cluster

        ClusterAddress                 CDATA                 #IMPLIED
        DefaultLoadAlgorithm            (round-robin|weight-based|random)
                                                round-robin
                                                #IMPLIED
        MulticastAddress                 CDATA                 #IMPLIED
        MulticastSendDelay               CDATA                 12
        MulticastTTL                    CDATA                 1
        Name                             CDATA                 #REQUIRED
        Notes                             CDATA                 #IMPLIED
        Servers                          CDATA                 #IMPLIED
    >

<!ELEMENT ConnectorComponent EMPTY>
<!ATTLIST ConnectorComponent

        Application                     CDATA                 #IMPLIED
        AuthenticationMechanisms         CDATA                 #IMPLIED
        CapacityIncrement                 CDATA                 1
        ClassLoader                       CDATA                 #IMPLIED
        ConfigProperties                  CDATA                 #IMPLIED
        ConnectionCleanupFrequency        CDATA                 -1
        ConnectionDurationTime            CDATA                 -1
        ConnectionFactoryDescription      CDATA                 #IMPLIED
        ConnectionFactoryImpl             CDATA                 #IMPLIED
        ConnectionFactoryInterface        CDATA                 #IMPLIED
        ConnectionFactoryName             CDATA                 #IMPLIED
        ConnectionImpl                    CDATA                 #IMPLIED
        ConnectionInterface                CDATA                 #IMPLIED
        DelayedBinding                    (true|false)          false
        DeploymentOrder                   CDATA                 1000
        Description                       CDATA                 #IMPLIED
        DisplayName                       CDATA                 #IMPLIED
        EisType                            CDATA                 #IMPLIED
        InitialCapacity                   CDATA                 1
        JndiName                           CDATA                 #IMPLIED
        LargeIcon                          CDATA                 #IMPLIED
        LicenseDescription                  CDATA                 #IMPLIED
        LicenseRequired                    (true|false)          false
        LogFileName                       CDATA                 #IMPLIED
        LoggingEnabled                     (true|false)          false
        ManagedConnectionFactoryClass      CDATA                 #IMPLIED
        MapConfigProperties                CDATA                 #IMPLIED
        MaxCapacity                        CDATA                 10
        Name                               CDATA                 #REQUIRED
        NativeLibDir                      CDATA                 #IMPLIED
        Notes                              CDATA                 #IMPLIED
        RALinkRef                          CDATA                 #IMPLIED
        SecurityPermissions                CDATA                 #IMPLIED
    >

```

```

SecurityPrincipalMaps          CDATA          #IMPLIED
ShrinkPeriodMinutes           CDATA          15
ShrinkingEnabled              (true|false)  true
SmallIcon                     CDATA          #IMPLIED
SpecVersion                   CDATA          #IMPLIED
Targets                       CDATA          #IMPLIED
TransactionSupport            CDATA          #IMPLIED
URI                           CDATA          #REQUIRED
VendorName                    CDATA          #IMPLIED
Version                       CDATA          #IMPLIED
reauthenticationSupport       (true|false)  false
>

<!ELEMENT CustomRealm EMPTY>
<!ATTLIST CustomRealm

    ConfigurationData          CDATA          #IMPLIED
    Name                       CDATA          #REQUIRED
    Notes                      CDATA          #IMPLIED
    Password                   CDATA          #IMPLIED
    RealmClassName             CDATA          #IMPLIED
>

<!ELEMENT DomainLogFilter EMPTY>
<!ATTLIST DomainLogFilter

    Name                       CDATA          #REQUIRED
    Notes                      CDATA          #IMPLIED
    SeverityLevel              (64|32|16|8|4|2|1)  16
    SubsystemNames            CDATA          #IMPLIED
    UserIds                    CDATA          #IMPLIED
>

<!ELEMENT FileRealm EMPTY>
<!ATTLIST FileRealm

    MaxACLs                    CDATA          1000
    MaxGroups                  CDATA          1000
    MaxUsers                   CDATA          1000
    Name                       CDATA          #REQUIRED
    Notes                      CDATA          #IMPLIED
>

<!ELEMENT FileT3 EMPTY>
<!ATTLIST FileT3

    DeploymentOrder            CDATA          1000
    Name                       CDATA          #REQUIRED
    Notes                      CDATA          #IMPLIED
    Path                       CDATA          #IMPLIED
    Targets                    CDATA          #IMPLIED
>

<!ELEMENT JDBCConnectionPool EMPTY>
<!ATTLIST JDBCConnectionPool

```

2 Config.dtd

```

        ACLName                                CDATA                                #IMPLIED
        CapacityIncrement                       CDATA                                1
        ConnLeakProfilingEnabled                (true|false)                          false
        DeploymentOrder                         CDATA                                1000
        DriverName                              CDATA                                #IMPLIED
        InitialCapacity                         CDATA                                1
        LoginDelaySeconds                       CDATA                                0
        MaxCapacity                             CDATA                                1
        Name                                    CDATA                                #REQUIRED
        Notes                                   CDATA                                #IMPLIED
        Password                                CDATA                                #IMPLIED
        Properties                              CDATA                                #IMPLIED
        RefreshMinutes                          CDATA                                0
        ShrinkPeriodMinutes                    CDATA                                15
        ShrinkingEnabled                        (true|false)                          true
        SupportsLocalTransaction                (true|false)                          false
        Targets                                 CDATA                                #IMPLIED
        TestConnectionsOnRelease                 (true|false)                          false
        TestConnectionsOnReserve                 (true|false)                          false
        TestTableName                           CDATA                                #IMPLIED
        URL                                     CDATA                                #IMPLIED
    >

<!ELEMENT JDBCDataSource EMPTY>
<!ATTLIST JDBCDataSource

        DeploymentOrder                         CDATA                                1000
        JNDIName                                CDATA                                #REQUIRED
        Name                                    CDATA                                #REQUIRED
        Notes                                   CDATA                                #IMPLIED
        PoolName                                CDATA                                #IMPLIED
        RowPrefetchEnabled                       (true|false)                          false
        RowPrefetchSize                         CDATA                                48
        StreamChunkSize                         CDATA                                256
        Targets                                 CDATA                                #IMPLIED
    >

<!ELEMENT JDBCMultiPool EMPTY>
<!ATTLIST JDBCMultiPool

        AlgorithmType                           (High-Availability|Load-Balancing)
                                                High-Availability
        DeploymentOrder                         CDATA                                1000
        HighAvail                               (true|false)                          false
        LoadBalance                             (true|false)                          false
        Name                                    CDATA                                #REQUIRED
        Notes                                   CDATA                                #IMPLIED
        Targets                                 CDATA                                #IMPLIED
    >

<!ELEMENT JDBCDataSource EMPTY>
<!ATTLIST JDBCDataSource

        DeploymentOrder                         CDATA                                1000
        EnableTwoPhaseCommit                    (true|false)                          false
        JNDIName                                CDATA                                #IMPLIED
    >

```

```

Name          CDATA          #REQUIRED
Notes         CDATA          #IMPLIED
PoolName      CDATA          #IMPLIED
RowPrefetchEnabled (true|false ) false
RowPrefetchSize CDATA          48
StreamChunkSize CDATA          256
Targets       CDATA          #IMPLIED
>

<!ELEMENT JMSConnectionFactory EMPTY>
<!ATTLIST JMSConnectionFactory

    AcknowledgePolicy      (All|Previous)      All
    AllowCloseInOnMessage (true|false)        false
    ClientId                CDATA                #IMPLIED
    DefaultDeliveryMode     (Persistent|Non-Persistent) Persistent
    DefaultPriority          CDATA                4
    DefaultRedeliveryDelay  CDATA                0
    DefaultTimeToDeliver    CDATA                0
    DefaultTimeToLive       CDATA                0
    DeploymentOrder         CDATA                1000
    JNDIName                 CDATA                #IMPLIED
    MessagesMaximum         CDATA                10
    Name                     CDATA                #REQUIRED
    Notes                    CDATA                #IMPLIED
    OverrunPolicy           (KeepOld|KeepNew)  KeepOld
    Targets                  CDATA                #IMPLIED
    TransactionTimeout      CDATA                3600
    UserTransactionsEnabled (true|false)        false
    XAConnectionFactoryEnabled (true|false)        false
>

<!ELEMENT JMSFileStore EMPTY>
<!ATTLIST JMSFileStore

    Directory          CDATA          #REQUIRED
    JMSServer          CDATA          #IMPLIED
    Name               CDATA          #REQUIRED
    Notes              CDATA          #IMPLIED
>

<!ELEMENT JMSJDBCStore EMPTY>
<!ATTLIST JMSJDBCStore

    ConnectionPool      CDATA          #REQUIRED
    JMSServer           CDATA          #IMPLIED
    Name                CDATA          #REQUIRED
    Notes               CDATA          #IMPLIED
    PrefixName          CDATA          #IMPLIED
>

<!ELEMENT JMSServer ( JMSSessionPool* | JMSTopic* | JMSQueue* )*>
<!ATTLIST JMSServer

```

2 Config.dtd

```

        BytesMaximum                CDATA                -1
        BytesThresholdHigh          CDATA                -1
        BytesThresholdLow           CDATA                -1
        DeploymentOrder             CDATA                1000
        MessagesMaximum             CDATA                -1
        MessagesThresholdHigh       CDATA                -1
        MessagesThresholdLow        CDATA                -1
        Name                         CDATA                #REQUIRED
        Notes                        CDATA                #IMPLIED
        Store                        CDATA                #IMPLIED
        Targets                      CDATA                #IMPLIED
        TemporaryTemplate            CDATA                #IMPLIED

    >

<!ELEMENT JMSSessionPool ( JMSConnectionConsumer* )*>
<!ATTLIST JMSSessionPool

        AcknowledgeMode             (Auto|Client|Dups-Ok|None)      Auto
        ConnectionFactory           CDATA                #IMPLIED
        ListenerClass               CDATA                #REQUIRED
        Name                         CDATA                #REQUIRED
        Notes                        CDATA                #IMPLIED
        SessionsMaximum             CDATA                -1
        Transacted                   (true|false)         false
    >

<!ELEMENT JMSConnectionConsumer EMPTY>
<!ATTLIST JMSConnectionConsumer

        Destination                 CDATA                #REQUIRED
        MessagesMaximum             CDATA                -1
        Name                         CDATA                #REQUIRED
        Notes                        CDATA                #IMPLIED
        Selector                     CDATA                #IMPLIED
    >

<!ELEMENT JMSTopic ( JMSDestinationKey* )*>
<!ATTLIST JMSTopic

        BytesMaximum                CDATA                -1
        BytesThresholdHigh          CDATA                -1
        BytesThresholdLow           CDATA                -1
        DeliveryModeOverride        (Persistent|Non-Persistent|No-Delivery)  No-Delivery
        ErrorDestination            CDATA                #IMPLIED
        JNDIName                    CDATA                #IMPLIED
        MessagesMaximum             CDATA                -1
        MessagesThresholdHigh       CDATA                -1
        MessagesThresholdLow        CDATA                -1
        MulticastAddress             CDATA                #IMPLIED
        MulticastPort                CDATA                6001
        MulticastTTL                 CDATA                1
        Name                         CDATA                #REQUIRED

```

```

Notes                                CDATA                                #IMPLIED
PriorityOverride                      CDATA                                -1
RedeliveryDelayOverride              CDATA                                -1
RedeliveryLimit                      CDATA                                -1
StoreEnabled                         ( false | true | default )
                                     default
Template                              CDATA                                #IMPLIED
TimeToDeliverOverride                CDATA                                -1
TimeToLiveOverride                   CDATA                                -1
>

```

```
<!ELEMENT JMSDestinationKey EMPTY>
```

```
<!ATTLIST JMSDestinationKey
```

```

Direction                            (Ascending|Descending)
                                     Ascending
KeyType                               (Boolean|Byte|Short|Int|Long|Float|Double|String)
                                     String
Name                                  CDATA                                #REQUIRED
Notes                                 CDATA                                #IMPLIED
Property                              CDATA                                #REQUIRED
>

```

```
<!ELEMENT JMSQueue ( JMSDestinationKey* )*>
```

```
<!ATTLIST JMSQueue
```

```

BytesMaximum                         CDATA                                -1
BytesThresholdHigh                   CDATA                                -1
BytesThresholdLow                    CDATA                                -1
DeliveryModeOverride                 ( Persistent | Non-Persistent | No-Delivery )
                                     No-Delivery
ErrorDestination                     CDATA                                #IMPLIED
JNDIName                             CDATA                                #IMPLIED
MessagesMaximum                     CDATA                                -1
MessagesThresholdHigh                CDATA                                -1
MessagesThresholdLow                 CDATA                                -1
Name                                  CDATA                                #REQUIRED
Notes                                 CDATA                                #IMPLIED
PriorityOverride                      CDATA                                -1
RedeliveryDelayOverride              CDATA                                -1
RedeliveryLimit                      CDATA                                -1
StoreEnabled                         ( false | true | default )
                                     default
Template                              CDATA                                #IMPLIED
TimeToDeliverOverride                CDATA                                -1
TimeToLiveOverride                   CDATA                                -1
>

```

```
<!ELEMENT JMSTemplate ( JMSTopic* | JMSQueue* | JMSDestinationKey* )*>
```

```
<!ATTLIST JMSTemplate
```

```

BytesMaximum                         CDATA                                -1
BytesThresholdHigh                   CDATA                                -1
BytesThresholdLow                    CDATA                                -1
DeliveryModeOverride                 ( Persistent | Non-Persistent | No-Delivery )
                                     No-Delivery

```

2 Config.dtd

```

ErrorDestination                CDATA                #IMPLIED
MessagesMaximum                 CDATA                -1
MessagesThresholdHigh           CDATA                -1
MessagesThresholdLow            CDATA                -1
Name                             CDATA                #REQUIRED
Notes                           CDATA                #IMPLIED
PriorityOverride                 CDATA                -1
RedeliveryDelayOverride         CDATA                -1
RedeliveryLimit                 CDATA                -1
TimeToDeliverOverride           CDATA                -1
TimeToLiveOverride              CDATA                -1
>

<!ELEMENT JoltConnectionPool EMPTY>
<!ATTLIST JoltConnectionPool

    ApplicationPassword          CDATA                #IMPLIED
    DeploymentOrder              CDATA                1000
    FailoverAddresses            CDATA                #IMPLIED
    MaximumPoolSize              CDATA                1
    MinimumPoolSize              CDATA                0
    Name                         CDATA                #REQUIRED
    Notes                        CDATA                #IMPLIED
    PrimaryAddresses             CDATA                #IMPLIED
    RecvTimeout                  CDATA                0
    SecurityContextEnabled       (true|false)        false
    Targets                      CDATA                #IMPLIED
    UserName                    CDATA                #IMPLIED
    UserPassword                 CDATA                #IMPLIED
    UserRole                     CDATA                #IMPLIED
>

<!ELEMENT LDAPRealm EMPTY>
<!ATTLIST LDAPRealm

    AuthProtocol                 (none|simple|CRAM-MD5)none
    Credential                   CDATA                #IMPLIED
    GroupDN                      CDATA                #IMPLIED
    GroupIsContext               (true|false)        true
    GroupNameAttribute           CDATA                cn
    GroupUsernameAttribute       CDATA                member
    LDAPURL                      CDATA                ldap://ldapserver:389
    LdapProvider                 CDATA                com.sun.jndi.ldap.LdapCtxFactory
    Name                         CDATA                #REQUIRED
    Notes                        CDATA                #IMPLIED
    Principal                    CDATA                #IMPLIED
    RealmClassName               CDATA                #IMPLIED
    SslEnable                    (true|false)        false
    UserAuthentication           (bind|external|local)bind
    UserDN                       CDATA                #IMPLIED
    UserNameAttribute            CDATA                #IMPLIED
    UserPasswordAttribute        CDATA                userpassword
>
```

<!ELEMENT Machine (NodeManager?)*>

<!ATTLIST Machine

| | | |
|-----------|-------|-----------|
| Addresses | CDATA | #IMPLIED |
| Name | CDATA | #REQUIRED |
| Notes | CDATA | #IMPLIED |
| > | | |

<!ELEMENT NodeManager EMPTY>

<!ATTLIST NodeManager

| | | |
|---------------------|-------|--------------------|
| Certificate | CDATA | config/demo.crt |
| CertificatePassword | CDATA | password |
| CertificateType | CDATA | RSA |
| ListenAddress | CDATA | localhost |
| ListenPort | CDATA | 5555 |
| Logs | CDATA | #IMPLIED |
| Name | CDATA | #REQUIRED |
| Notes | CDATA | #IMPLIED |
| TrustedCertsFile | CDATA | config/trusted.crt |
| > | | |

<!ELEMENT MailSession EMPTY>

<!ATTLIST MailSession

| | | |
|-----------------|-------|-----------|
| DeploymentOrder | CDATA | 1000 |
| JNDIName | CDATA | #IMPLIED |
| Name | CDATA | #REQUIRED |
| Notes | CDATA | #IMPLIED |
| Properties | CDATA | #IMPLIED |
| Targets | CDATA | #IMPLIED |
| > | | |

<!ELEMENT MessagingBridge EMPTY>

<!ATTLIST MessagingBridge

| | | |
|-----------------------------------|---|--------------|
| AsyncDisabled | (true false) | false |
| DeploymentOrder | CDATA | 1000 |
| DurabilityDisabled | (true false) | false |
| ForwardingPolicy | (Automatic Manual Scheduled) | Automatic |
| MaximumIdleTimeMilliseconds | CDATA | 180000 |
| Name | CDATA | #REQUIRED |
| Notes | CDATA | #IMPLIED |
| QOSDegradationAllowed | (true false) | false |
| QualityOfService | (Exactly-once Atmost-once Duplicate-okay) | Exactly-once |
| ReconnectDelayIncrement | CDATA | 5000 |
| ReconnectDelayInitialMilliseconds | CDATA | 15000 |
| ReconnectDelayMaximumMilliseconds | CDATA | 50000 |
| ScheduleTime | CDATA | #IMPLIED |
| Selector | CDATA | #IMPLIED |
| SourceDestination | CDATA | #IMPLIED |
| Started | (true false) | true |
| TargetDestination | CDATA | #IMPLIED |
| Targets | CDATA | #IMPLIED |

2 Config.dtd

```

        TransactionTimeoutSeconds          CDATA          30
    >

<!ELEMENT NTRealm EMPTY>
<!ATTLIST NTRealm

        Name          CDATA          #REQUIRED
        Notes         CDATA          #IMPLIED
        PrimaryDomain CDATA          #IMPLIED
        RealmClassName CDATA          #IMPLIED
    >

<!ELEMENT PasswordPolicy EMPTY>
<!ATTLIST PasswordPolicy

        LockoutCacheSize          CDATA          5
        LockoutDuration           CDATA          30
        LockoutEnabled             (true|false)          true
        LockoutGCThreshold        CDATA          400
        LockoutResetDuration      CDATA          5
        LockoutThreshold          CDATA          5
        MinimumPasswordLength     CDATA          8
        Name                      CDATA          #REQUIRED
        Notes                     CDATA          #IMPLIED
    >

<!ELEMENT RDBMSRealm EMPTY>
<!ATTLIST RDBMSRealm

        DatabaseDriver          CDATA
                                COM.cloudscape.core.JDBCdriver
        DatabasePassword        CDATA          #IMPLIED
        DatabaseURL             CDATA
                                jdbc:cloudscape:demo;create=true;autocommit=false
        DatabaseUserName        CDATA          #IMPLIED
        Name                    CDATA          #REQUIRED
        Notes                   CDATA          #IMPLIED
        RealmClassName          CDATA
                                examples.security.rdbmsrealm.RDBMSRealm
        SchemaProperties        CDATA          #IMPLIED
    >

<!ELEMENT Realm EMPTY>
<!ATTLIST Realm

        CachingRealm           CDATA          #IMPLIED
        FileRealm              CDATA          #IMPLIED
        Name                   CDATA          #REQUIRED
        Notes                  CDATA          #IMPLIED
        ResultsBatchSize       CDATA          200
    >

<!ELEMENT Server ( SSL? | ServerStart? | Log? | WebServer? | ExecuteQueue* )*>
<!ATTLIST Server
```

| | | |
|------------------------------------|----------------------------|------------------|
| AdministrationPort | CDATA | 0 |
| Cluster | CDATA | #IMPLIED |
| ClusterRuntime | CDATA | #IMPLIED |
| ClusterWeight | CDATA | 100 |
| DefaultIIOPPassword | CDATA | #IMPLIED |
| DefaultIIOPUser | CDATA | #IMPLIED |
| DefaultProtocol | (t3 t3s http https iiop)t3 | |
| DefaultSecureProtocol | (t3s https) | t3s |
| DefaultTGIOPPassword | CDATA | guest |
| DefaultTGIOPUser | CDATA | guest |
| DomainLogFilter | CDATA | #IMPLIED |
| EnabledForDomainLog | (true false) | true |
| ExpectedToRun | (true false) | true |
| ExternalDNSName | CDATA | #IMPLIED |
| ExtraRmicOptions | CDATA | #IMPLIED |
| HelpPageURL | CDATA | /docs/adminhelp/ |
| HttpdEnabled | (true false) | true |
| IIOPEnabled | (true false) | true |
| InstrumentStackTraceEnabled | (true false) | true |
| InterfaceAddress | CDATA | #IMPLIED |
| J2EE12OnlyModeEnabled | (true false) | false |
| J2EE13WarningEnabled | (true false) | true |
| JDBCLogFileNames | CDATA | #IMPLIED |
| JDBCLoggingEnabled | (true false) | false |
| JMSDefaultConnectionFactoryEnabled | (true false) | true |
| JNDITransportableObjectFactoryList | CDATA | #IMPLIED |
| JavaCompiler | CDATA | javac |
| JavaCompilerPostClassPath | CDATA | #IMPLIED |
| JavaCompilerPreClassPath | CDATA | #IMPLIED |
| ListenAddress | CDATA | #IMPLIED |
| ListenDelaySecs | CDATA | 0 |
| ListenPort | CDATA | 7001 |
| LogRemoteExceptionsEnabled | (true false) | false |
| LoginTimeout | CDATA | 1000 |
| LoginTimeoutMillis | CDATA | 5000 |
| Machine | CDATA | #IMPLIED |
| Name | CDATA | #REQUIRED |
| NativeIOEnabled | (true false) | true |
| Notes | CDATA | #IMPLIED |
| PreferredSecondaryGroup | CDATA | #IMPLIED |
| ReplicationGroup | CDATA | #IMPLIED |
| ReverseDNSAllowed | (true false) | false |
| RootDirectory | CDATA | . |
| StdoutDebugEnabled | (true false) | false |
| StdoutEnabled | (true false) | true |
| StdoutSeverityLevel | (64 32 16 8 4 2 1) | 16 |
| TGIOPEnabled | (true false) | true |
| ThreadPoolPercentSocketReaders | CDATA | 33 |
| TransactionLogFilePrefix | CDATA | ./ |
| TunnelingClientPingSecs | CDATA | 45 |
| TunnelingClientTimeoutSecs | CDATA | 40 |
| TunnelingEnabled | (true false) | false |
| ValidProtocols | CDATA | #IMPLIED |
| VerboseEJBDeploymentEnabled | CDATA | false |
| WorkspaceShowUserKeysOnly | (true false) | false |
| XMLEntityCache | CDATA | #IMPLIED |

2 Config.dtd

```

        XMLRegistry                CDATA                #IMPLIED
        ZACEnabled                  (true|false)      true
        ZACPublishRoot              CDATA                exports
    >

<!ELEMENT SSL EMPTY>
<!ATTLIST SSL

        CertAuthenticator           CDATA                #IMPLIED
        CertificateCacheSize         CDATA                3
        Ciphersuites                 CDATA                #IMPLIED
        ClientCertificateEnforced    (true|false)        false
        Enabled                      (true|false)        false
        ExportKeyLifespan            CDATA                500
        HandlerEnabled               (true|false)        true
        HostnameVerificationIgnored  (true|false)        false
        HostnameVerifier             CDATA                #IMPLIED
        KeyEncrypted                 (true|false)        false
        ListenPort                   CDATA                7002
        LoginTimeoutMillis           CDATA                25000
        Name                         CDATA                #REQUIRED
        Notes                        CDATA                #IMPLIED
        ServerCertificateChainFileName CDATA                server-certchain.pem
        ServerCertificateFileName     CDATA                server-cert.der
        ServerKeyFileName            CDATA                server-key.der
        TrustedCAFileName            CDATA                trusted-ca.pem
        UseJava                      (true|false)        true
    >

<!ELEMENT ServerStart EMPTY>
<!ATTLIST ServerStart

        Arguments                    CDATA                #IMPLIED
        BeaHome                      CDATA                #IMPLIED
        ClassPath                    CDATA                #IMPLIED
        Name                         CDATA                #REQUIRED
        Notes                        CDATA                #IMPLIED
        RootDirectory                CDATA                #IMPLIED
        SecurityPolicyFile           CDATA                #IMPLIED
    >

<!ELEMENT WebServer EMPTY>
<!ATTLIST WebServer

        Charsets                     CDATA                #IMPLIED
        ClusteringEnabled            (true|false)        false
        DefaultServerName            CDATA                #IMPLIED
        DefaultWebApp                 CDATA                #IMPLIED
        DeploymentOrder              CDATA                1000
        HttpsKeepAliveSecs           CDATA                60
        KeepAliveEnabled             (true|false)        true
        KeepAliveSecs                CDATA                30
        LogFileBufferKBytes          CDATA                8
    >

```

```

LogFileFlushSecs          CDATA          60
LogFileFormat             (common|extended) common
LogFileName               CDATA          access.log
LogRotationPeriodMins    CDATA          1440
LogRotationTimeBegin     CDATA          #IMPLIED
LogRotationType          (size|date)    size
LoggingEnabled            (true|false)  true
MaxLogFileSizeKBytes     CDATA          0
MaxPostSize              CDATA          -1
MaxPostTimeSecs         CDATA          -1
Name                      CDATA          #REQUIRED
Notes                     CDATA          #IMPLIED
PostTimeoutSecs         CDATA          30
SendServerHeaderEnabled (true|false)  true
Targets                  CDATA          #IMPLIED
URLResource              CDATA          #IMPLIED
WAPEnabled               (true|false)  false
>

<!ELEMENT ExecuteQueue EMPTY>
<!ATTLIST ExecuteQueue

    Name          CDATA          #REQUIRED
    Notes         CDATA          #IMPLIED
    ThreadCount   CDATA          15
>

<!ELEMENT ShutdownClass EMPTY>
<!ATTLIST ShutdownClass

    Arguments      CDATA          #IMPLIED
    ClassName      CDATA          #REQUIRED
    DeploymentOrder CDATA          1000
    Name           CDATA          #REQUIRED
    Notes          CDATA          #IMPLIED
    Targets        CDATA          #IMPLIED
>

<!ELEMENT StartupClass EMPTY>
<!ATTLIST StartupClass

    Arguments      CDATA          #IMPLIED
    ClassName      CDATA          #REQUIRED
    DeploymentOrder CDATA          1000
    FailureIsFatal (true|false)  false
    Name           CDATA          #REQUIRED
    Notes          CDATA          #IMPLIED
    Targets        CDATA          #IMPLIED
>

<!ELEMENT UnixMachine ( NodeManager? )*>
<!ATTLIST UnixMachine

    Addresses      CDATA          #IMPLIED
    Name           CDATA          #REQUIRED
    Notes          CDATA          #IMPLIED

```

2 Config.dtd

```

        PostBindGID                                CDATA                                nobody
        PostBindGIDEnabled                        (true|false)                        false
        PostBindUID                                CDATA                                nobody
        PostBindUIDEnabled                        (true|false)                        false
    >

<!ELEMENT UnixRealm EMPTY>
<!ATTLIST UnixRealm

        AuthProgram                                CDATA                                wlauth
        Name                                        CDATA                                #REQUIRED
        Notes                                        CDATA                                #IMPLIED
        RealmClassName                            CDATA                                #IMPLIED
    >

<!ELEMENT VirtualHost EMPTY>
<!ATTLIST VirtualHost

        Charsets                                    CDATA                                #IMPLIED
        ClusteringEnabled                        (true|false)                        false
        DefaultServerName                        CDATA                                #IMPLIED
        DefaultWebApp                            CDATA                                #IMPLIED
        DeploymentOrder                          CDATA                                1000
        HttpsKeepAliveSecs                      CDATA                                60
        KeepAliveEnabled                        (true|false)                        true
        KeepAliveSecs                            CDATA                                30
        LogFileBufferKBytes                      CDATA                                8
        LogFileFlushSecs                        CDATA                                60
        LogFileFormat                            (common|extended)                    common
        LogFileName                              CDATA                                access.log
        LogRotationPeriodMins                    CDATA                                1440
        LogRotationTimeBegin                    CDATA                                #IMPLIED
        LogRotationType                          (size|date)                          size
        LoggingEnabled                          (true|false)                        true
        MaxLogFileSizeKBytes                    CDATA                                0
        MaxPostSize                              CDATA                                -1
        MaxPostTimeSecs                         CDATA                                -1
        Name                                        CDATA                                #REQUIRED
        Notes                                        CDATA                                #IMPLIED
        PostTimeoutSecs                          CDATA                                30
        SendServerHeaderEnabled                (true|false)                        true
        Targets                                    CDATA                                #IMPLIED
        URLResource                              CDATA                                #IMPLIED
        VirtualHostNames                        CDATA                                #IMPLIED
        WAPEnabled                              (true|false)                        false
    >

<!ELEMENT WLECCConnectionPool EMPTY>
<!ATTLIST WLECCConnectionPool

        ApplicationPassword                    CDATA                                #IMPLIED
        CertificateAuthenticationEnabled        (true|false)                        false
        DeploymentOrder                        CDATA                                1000
        FailoverAddresses                      CDATA                                #IMPLIED
        MaximumEncryptionLevel                  CDATA                                0
        MaximumPoolSize                        CDATA                                1
    >

```

```

MinimumEncryptionLevel          CDATA          0
MinimumPoolSize                 CDATA          1
Name                            CDATA          #REQUIRED
Notes                           CDATA          #IMPLIED
PrimaryAddresses                CDATA          #IMPLIED
SecurityContextEnabled          (true|false)  false
Targets                         CDATA          #IMPLIED
UserName                        CDATA          #IMPLIED
UserPassword                    CDATA          #IMPLIED
UserRole                        CDATA          #IMPLIED
WLEDomain                       CDATA          #IMPLIED
>

<!ELEMENT XMLEntityCache EMPTY>
<!ATTLIST XMLEntityCache

    CacheDiskSize                CDATA          5
    CacheLocation                CDATA          xmlcache
    CacheMemorySize              CDATA          500
    CacheTimeoutInterval         CDATA          120
    Name                         CDATA          #REQUIRED
    Notes                        CDATA          #IMPLIED

>

<!ELEMENT XMLEntitySpecRegistryEntry EMPTY>
<!ATTLIST XMLEntitySpecRegistryEntry

    CacheTimeoutInterval         CDATA          -1
    EntityURI                   CDATA          #IMPLIED
    Name                        CDATA          #REQUIRED
    Notes                       CDATA          #IMPLIED
    PublicId                    CDATA          #IMPLIED
    SystemId                     CDATA          #IMPLIED
    WhenToCache                 (cache-on-reference|cache-at-initialization|cache-never|defer-to-registry-setting)
                                defer-to-registry-setting
>

<!ELEMENT XMLParserSelectRegistryEntry EMPTY>
<!ATTLIST XMLParserSelectRegistryEntry

    DocumentBuilderFactory       CDATA          #IMPLIED
    Name                         CDATA          #REQUIRED
    Notes                        CDATA          #IMPLIED
    ParserClassName              CDATA          #IMPLIED
    PublicId                     CDATA          #IMPLIED
    RootElementTag               CDATA          #IMPLIED
    SAXParserFactory             CDATA          #IMPLIED
    SystemId                     CDATA          #IMPLIED
    TransformerFactory           CDATA          #IMPLIED

>

<!ELEMENT XMLRegistry ( XMLParserSelectRegistryEntry* | XMLRegistryEntry* |
XMLEntitySpecRegistryEntry* )*>
<!ATTLIST XMLRegistry

```

2 Config.dtd

```

    DocumentBuilderFactory                CDATA
        weblogic.apache.xerces.jaxp.DocumentBuilderFactoryImpl
    Name                                CDATA                #REQUIRED
    Notes                                CDATA                #IMPLIED
    SAXParserFactory                    CDATA
        weblogic.apache.xerces.jaxp.SAXParserFactoryImpl
    TransformerFactory                  CDATA
        weblogic.apache.xalan.processor.TransformerFactoryImpl
    WhenToCache                          (cache-on-reference|cache-at-initialization|cache-never)
                                                cache-on-reference
>

<!ELEMENT XMLRegistryEntry EMPTY>
<!ATTLIST XMLRegistryEntry

    DocumentBuilderFactory                CDATA                #IMPLIED
    EntityPath                            CDATA                #IMPLIED
    Name                                CDATA                #REQUIRED
    Notes                                CDATA                #IMPLIED
    ParserClassName                       CDATA                #IMPLIED
    PublicId                              CDATA                #IMPLIED
    RootElementTag                       CDATA                #IMPLIED
    SAXParserFactory                    CDATA                #IMPLIED
    SystemId                              CDATA                #IMPLIED
>

<!ELEMENT XmlFileRepository EMPTY>
<!ATTLIST XmlFileRepository

    Directory                            CDATA                #IMPLIED
    Domains                              CDATA                #IMPLIED
    Name                                CDATA                #REQUIRED
    Notes                                CDATA                #IMPLIED
>
```

3 config.xml の要素と属性

以降の節では、WebLogic Server config.dtd ファイルに定義されている要素について説明します。config.dtd ファイルは、WebLogic Server のコンフィグレーション ファイルである config.xml の構造を記述するデータ辞書です。

- 3-4 ページの「config.dtd の要素階層構造」
- 3-10 ページの「Administrator」
- 3-11 ページの「Application」
- 3-12 ページの「ApplicationManager」
- 3-14 ページの「BridgeDestination」
- 3-15 ページの「CachingRealm」
- 3-21 ページの「Cluster」
- 3-23 ページの「ConnectorComponent」
- 3-29 ページの「CustomRealm」
- 3-30 ページの「Domain」
- 3-31 ページの「DomainLogFilter」
- 3-33 ページの「EJBComponent」
- 3-36 ページの「EJBContainer」
- 3-38 ページの「ExecuteQueue」
- 3-39 ページの「FileRealm」
- 3-40 ページの「FileT3」
- 3-41 ページの「JDBCConnectionPool」
- 3-48 ページの「JDBCDataSource」

- 3-51 ページの「JDBCMultiPool」
- 3-54 ページの「JDBCTxDataSource」
- 3-58 ページの「JMSConnectionConsumer」
- 3-59 ページの「JMSConnectionFactory」
- 3-65 ページの「JMSDestCommon」
- 3-70 ページの「JMSDestination」
- 3-72 ページの「JMSDestinationKey」
- 3-74 ページの「JMSFileStore」
- 3-75 ページの「JMSJDBCStore」
- 3-76 ページの「JMSQueue」
- 3-77 ページの「JMSServer」
- 3-81 ページの「JMSSessionPool」
- 3-82 ページの「JMSStore」
- 3-83 ページの「JMSTemplate」
- 3-84 ページの「JMSTopic」
- 3-86 ページの「JoltConnectionPool」
- 3-88 ページの「JTA」
- 3-90 ページの「LDAPRealm」
- 3-95 ページの「Log」
- 3-97 ページの「Machine」
- 3-98 ページの「MailSession」
- 3-99 ページの「MessagingBridge」
- 3-101 ページの「NodeManager」
- 3-102 ページの「NTRealm」
- 3-103 ページの「PasswordPolicy」

-
- 3-106 ページの「RDBMSRealm」
 - 3-108 ページの「Realm」
 - 3-109 ページの「Security」
 - 3-110 ページの「Server」
 - 3-121 ページの「ServerStart」
 - 3-123 ページの「ShutdownClass」
 - 3-124 ページの「SNMPAgent」
 - 3-128 ページの「SNMPAttributeChange」
 - 3-130 ページの「SNMPCounterMonitor」
 - 3-133 ページの「SNMPGaugeMonitor」
 - 3-138 ページの「SNMPProxy」
 - 3-139 ページの「SNMPStringMonitor」
 - 3-142 ページの「SNMPTrapDestination」
 - 3-143 ページの「SSL」
 - 3-152 ページの「StartupClass」
 - 3-153 ページの「UnixMachine」
 - 3-155 ページの「UnixRealm」
 - 3-157 ページの「VirtualHost」
 - 3-162 ページの「WebAppComponent」
 - 3-166 ページの「WebServer」
 - 3-172 ページの「WLECConnectionPool」
 - 3-176 ページの「XMLEntityCache」
 - 3-178 ページの「XMLEntitySpecRegistryEntry」
 - 3-180 ページの「XmlFileRepository」
 - 3-181 ページの「XMLParserSelectRegistryEntry」

- 3-183 ページの「XMLRegistry」
- 3-185 ページの「XMLRegistryEntry（非推奨）」

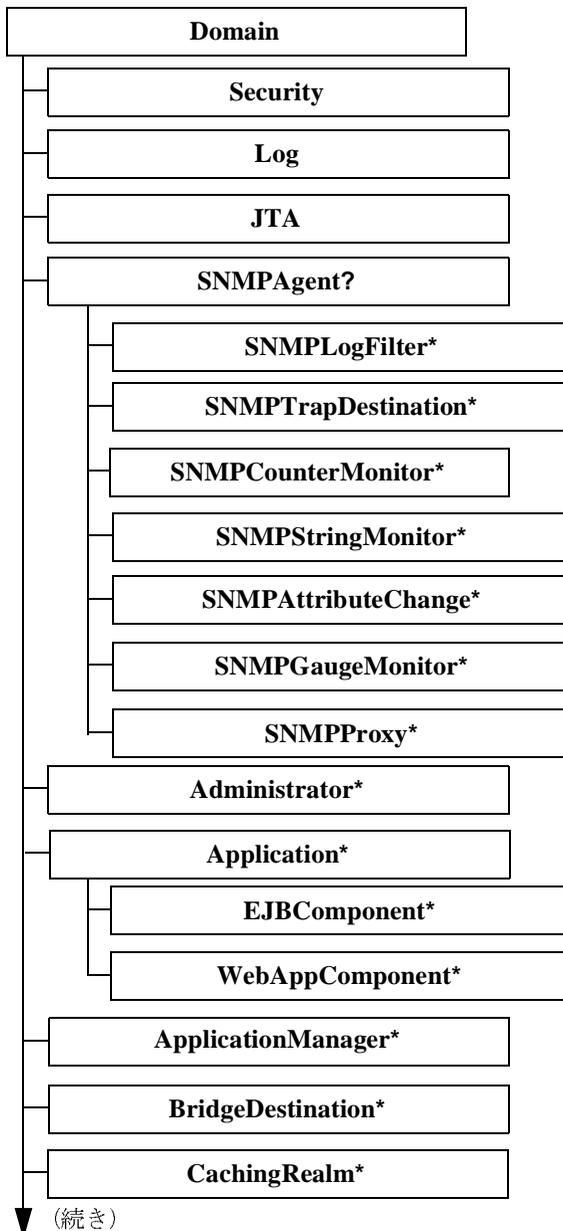
config.dtd の要素階層構造

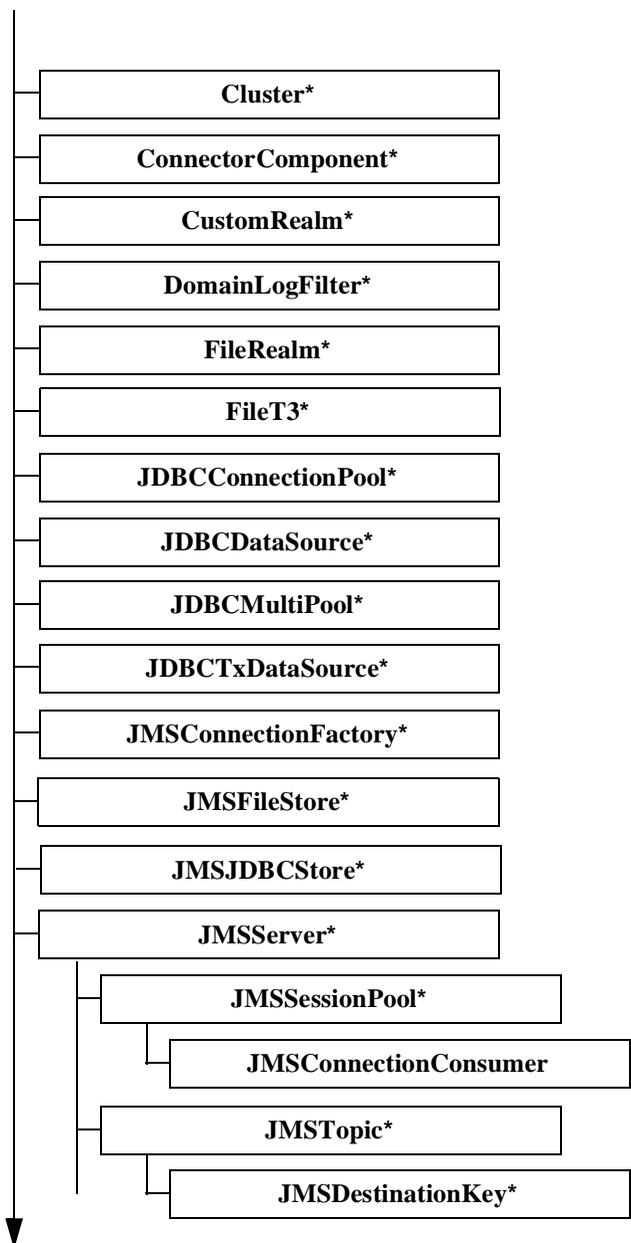
config.xml ファイルは XML 要素群で構成されています。トップレベルの要素は Domain 要素であり、Domain 内のすべての要素は Domain 要素の子になります。子要素の中にさらに子要素がある場合もあります。たとえば、Server 要素には、子要素として SSL、ServerStart、Log、WebServer、および ExecuteQueue があります。

次の図にある要素名の後ろの記号は、Domain 要素内での子要素が発生する可能性を示しています。

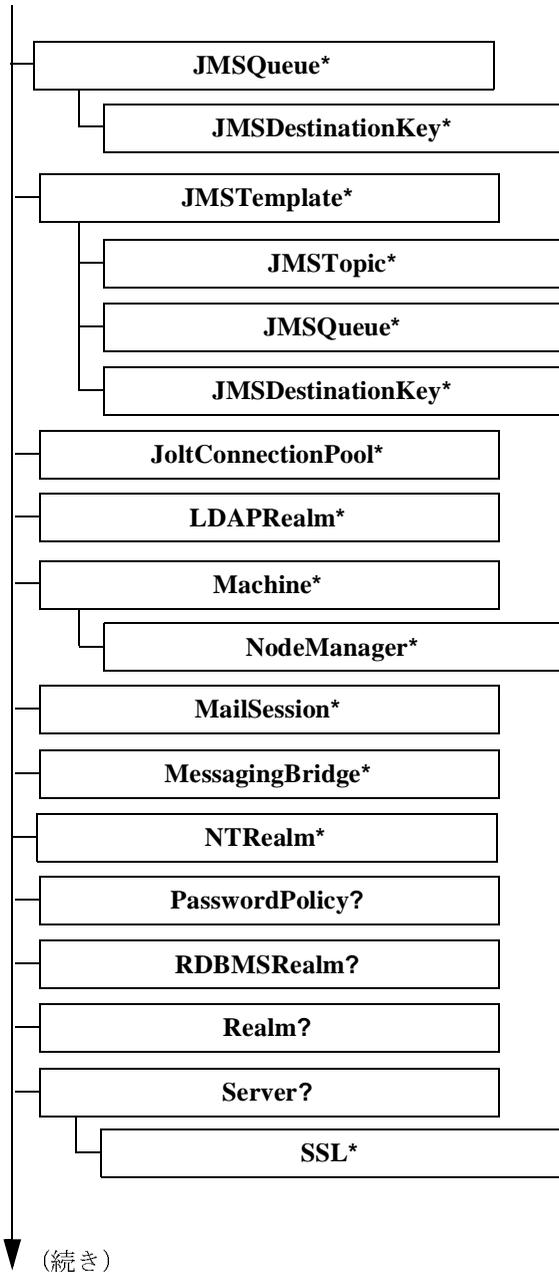
- プラス記号 (+) は、これらの要素が 1 回または複数回発生する可能性があることを示す。
- アスタリスク (*) は、これらの要素がゼロ回以上発生する可能性があることを示す。
- 疑問符 (?) は、これらの要素がゼロ回または 1 回発生する可能性があることを示す。

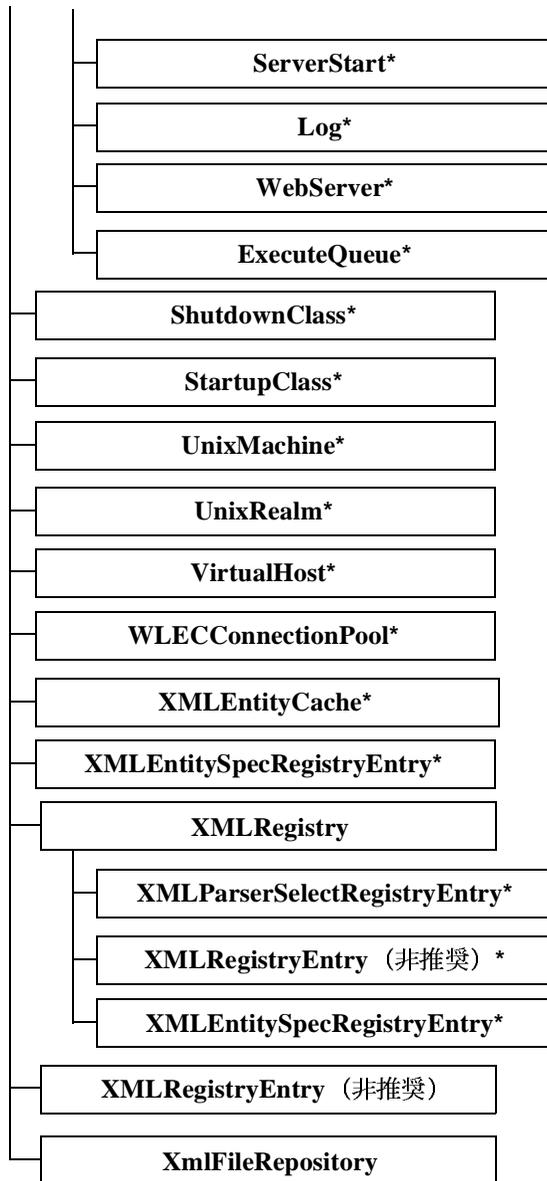
図 3-1 「config.xml」ファイル内の要素の順序





(続き)





要素属性の説明

以降の節では、`config.xml` ファイル内の各要素のコンフィグレーション可能な属性について説明しています。

Administrator

この要素はシステム管理者の問い合わせ先情報を提供します。ドメインには 1 人または複数の管理者が存在します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|---|---|------------------|
| EmailAddress | 管理者の適切な電子メールアドレス。 | userid、
userid@domain または
null
デフォルト値：root | |
| Name | この MBean の名前（必須）。 | String
デフォルト値：
AdministratorMBean | |
| Notes | このコンフィグレーション管理者に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | String
デフォルト値：Null | |
| PhoneNumber | この管理者の電話番号を返す。指定されていない場合には null を返す。 | String
デフォルト値：Null | |
| WriteAuthorized | この管理者がコンフィグレーションに書き込みアクセスを持っているかどうかを示す。 | true または false
デフォルト値：false | |

Application

アプリケーションは、EAR ファイルまたは EAR ディレクトリに格納される J2EE アプリケーションを表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------------|--|---|-------------------------------|
| ApplicationDescriptor | | | |
| Deployed | アプリケーション全体をデプロイまたはアンデプロイする。アプリケーションに対して Deployed を true に設定すること、またはデプロイされていないアプリケーションに対して Deployed を false に設定することはエラーとなる。 | true または false
デフォルト値: true | [デプロイメント アプリケーション デプロイ] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値: ApplicationMBean | [デプロイメント アプリケーション 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |
| Path | 管理サーバのファイルシステムに相対的な、アプリケーションの EAR ファイルをポイントするパス。 | パス名 (絶対パス可) | [デプロイメント アプリケーション パス] |

ApplicationManager

この MBean は Domain 全体にわたってアプリケーションを管理します。これは、Domain の唯一の子としてコンフィグレーションできる AdminServer-only MBean です。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|---------------------|--|---|------------------|
| AutoDeployedEnabled | <p>管理サーバの自動デプロイメント機能を有効にする。この機能によって、特定のディレクトリにあるアプリケーションは、コンフィグレーションされているかどうかに関係なく管理サーバによって自動的にデプロイされる。管理サーバはセッションの間はずっとディレクトリをポーリングするので、自動デプロイ時にサーバが実行中であったとしても、特定ディレクトリにアプリケーション (EAR、JAR、WAR ファイルなど) を配置することによってアプリケーションはデプロイされ、特定ディレクトリからアプリケーションを削除することによってアプリケーションはアンデプロイされる。</p> <p>特定ディレクトリの場所：</p> <pre>(root)\config<domain>\applications</pre> <p>例：</p> <pre>c:\bea61\config\mydomain\applications</pre> <p>この属性はサーバが「開発モード」で実行中の場合にだけ有効である。サーバが「プロダクションモード」の場合には無視される。</p> <p>開発モードでのこの属性のデフォルト値は「true」である。</p> | <p>true または false</p> <p>デフォルト値：
true</p> | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|--|--|------------------|
| AutoUpdateInterval | アプリケーション マネージャ用の自動更新時間間隔。アプリケーション マネージャは、新しいアプリケーションがあるかどうかについて、アプリケーション ディレクトリを定期的にポーリングする。この間隔は、そのチェックから次のチェックまでのミリ秒単位の時間である。直接更新を呼び出すと、強制的にチェックを行うことができる。 | ミリ秒単位の整数
デフォルト値：
3000 | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値：
ApplicationManagerMBean | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |

BridgeDestination

ブリッジの送り先を定義します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション値 |
|-----------------|---|---|-------------------|
| AdapterJNDIName | アダプタの説明を定義し、WebLogic Server JNDI 内にそのアダプタをバインドするために使われる文字列。 | String | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値:
BridgeDestinationMBean | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |
| Properties | 送り先に定義されたプロパティ群。プロパティはセミコロン (「;」) で区切る。 | | |

CachingRealm

この要素は、**CachingRealm** のコンフィグレーションプロパティを表します。これで、**FileRealm** に代替レムを指定できます。これは **RealmMBean** に関連付けられます。この **MBean** が作成されない場合、**FileRealm** だけが使用されます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------------------|---|---|------------------|
| ACLCacheEnable | アクセス制御リスト (ACL) のキャッシングを有効にする。 | true または false
デフォルト値: true | |
| ACLCacheSize | キャッシュする ACL ルックアップの最大数。この属性は最高のルックアップパフォーマンスを実現する適切な数でなければならない。 | 17-65537
デフォルト値: 211 | |
| ACLCacheTTLNegative | 失敗した ACL ルックアップ結果を保持する秒数。TTL は「存続時間 (Time to Live)」を意味する。 | 1-n
n=java.lang.Integer.MAX_VALUE
(単位: 秒)
デフォルト値: 10 | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|--------------------------------|--|---|----------------------|
| ACLCacheTTLPositive | 成功した ACL ルックアップ
結果を保持する秒数。TTL
は「存続時間 (Time to
Live)」を意味する。 | 1- <i>n</i>
<i>n</i> =java.lang.
Integer.MAX_
VALUE.
(単位: 秒)
デフォルト値:
60 | |
| AuthenticationCacheEnable | 認証リクエストのキャッシング
を有効にする。 | true または
false
デフォルト値:
true | |
| AuthenticationCacheSize | キャッシュする認証リクエ
ストの最大数。この属性は最高
のルックアップ パフォーマ
ンスを実現する適切な数でな
ければならない。 | 17-65537
デフォルト値:
211 | |
| AuthenticationCacheTTLNegative | 失敗した認証リクエスト結果
を保持する秒数。TTL は
「存続時間 (Time to Live)」
を意味する。 | 1- <i>n</i>
<i>n</i> =java.lang.
Integer.MAX_
VALUE.
(単位: 秒)
デフォルト値:
10 | |
| AuthenticationCacheTTLPositive | 成功した認証リクエスト結果
を保持する秒数。TTL は
「存続時間 (Time to Live)」
を意味する。 | 1- <i>n</i>
<i>n</i> =java.lang.
Integer.MAX_
VALUE.
(単位: 秒)
デフォルト値:
60 | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|--|---|------------------|
| BasicRealm | <p>キャッシング レalmと共に使用されるセキュリティレalmのクラス名。必須。代わりのセキュリティレalmを使用するには、次の手順に従う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代わりのセキュリティレalmに対して RealmMBean を作成する。例: NTRealm 2. CachingRealm MBean を作成し、BasicRealm 属性を代わりのセキュリティレalmの MBean 名に設定する。 3. CachingRealm MBean をキャッシングレalmに設定する。 | | |
| CacheCaseSensitive | <p>指定されたセキュリティレalmで大文字/小文字を区別するかどうかを定義する。デフォルトで、この属性は有効になっている。大文字/小文字を区別しないセキュリティレalm (Windows NT および LDAP セキュリティレalm など) を使用する場合には、この属性を無効にする。</p> | <p>true または false
デフォルト値:
true</p> | |
| GroupCacheEnable | <p>グループルックアップのキャッシングを有効にする。</p> | <p>true または false
デフォルト値:
true</p> | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション
値 |
|-------------------------|--|--|---------------------------|
| GroupCacheSize | キャッシュするグループ
ルックアップの最大数。この
属性は最高のルックアップ
パフォーマンスを実現する適
切な数でなければならない。 | 17-65537
デフォルト値:
211 | |
| GroupCacheTTLNegative | 失敗したグループルック
アップ結果を保持する秒数。
TTL は「存続時間 (Time to
Live)」を意味する。 | 1- <i>n</i>
<i>n</i> =java.lang.
Integer.MAX_
VALUE.
(単位: 秒)
デフォルト値:
10 | |
| GroupCacheTTLPositive | 成功したグループルック
アップ結果を保持する秒数。
TTL は「存続時間 (Time to
Live)」を意味する。 | 1- <i>n</i>
<i>n</i> =java.lang.
Integer.MAX_
VALUE.
(単位: 秒)
デフォルト値:
60 | |
| GroupMembershipCacheTTL | グループのメンバーを更新す
るまでの、メンバーを保存す
る秒数。TTL は「存続時間
(Time to Live)」を意味する。 | 1- <i>n</i>
<i>n</i> =java.lang.
Integer.MAX_
VALUE.
(単位: 秒)
デフォルト値:
300 | |
| Name | キャッシング レalm 属性用
の MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値:
CachingRealm
MBean | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション
値 |
|----------------------------|---|---|---------------------------|
| Notes | このコンフィグレーション
MBean に関してユーザが提
供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |
| PermissionCacheEnable | パーミッションルックアッ
プのキャッシングを有効にす
る。 | true または
false
デフォルト値:
true | |
| PermissionCacheSize | キャッシュするパーミッショ
ンルックアップの最大数。
この属性は最高のルックアッ
プパフォーマンスを実現す
る適切な数でなければならない。 | 17-65537
デフォルト値:
211 | |
| PermissionCacheTTLNegative | 失敗したパーミッション
ルックアップ結果を保持する
秒数。TTL は「存続時間
(Time to Live)」を意味する。 | 1-n
n=java.lang.
Integer.MAX_
VALUE.
(単位: 秒)
デフォルト値:
10 | |
| PermissionCacheTTLPositive | 成功したパーミッション
ルックアップ結果を保持する
秒数。TTL は「存続時間
(Time to Live)」を意味する。 | 1-n
n=java.lang.
Integer.MAX_
VALUE.
(単位: 秒)
デフォルト値:
60 | |
| UserCacheEnable | ユーザルックアップの
キャッシングを有効にする。 | true または
false
デフォルト値:
true | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション
値 |
|----------------------|---|---|---------------------------|
| UserCacheSize | キャッシュするユーザ ルックアップの最大数。この属性は最高のルックアップ パフォーマンスを実現する適切な数でなければならない。 | 17-65537
デフォルト値:
211 | |
| UserCacheTTLNegative | 失敗したユーザ ルックアップ結果を保持する秒数。TTL は「存続時間 (Time to Live)」を意味する。 | 1- <i>n</i>
<i>n</i> =java.lang.
Integer.MAX_
VALUE.
(単位: 秒)
デフォルト値:
10 | |
| UserCacheTTLPositive | 成功したユーザ ルックアップ結果を保持する秒数。 | 1- <i>n</i>
<i>n</i> =java.lang.
Integer.MAX_
VALUE.
(単位: 秒)
デフォルト値:
60 | |

Cluster

この要素は、ドメイン内のクラスタを表します。コンフィグレーションでは、ゼロまたは1つ以上のクラスタを定義できます。サーバは、クラスタの論理名を使って `ServerMBean.setCluster` を呼び出すことによって、コンフィグレーションされたクラスタに参加します。コンフィグレーションでは、ゼロまたは1つ以上のクラスタを定義できます。クラスタは、論理名によってルックアップできます。クラスタの名前は、その論理クラスタ名を表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------------|--|--|---|
| ClusterAddress | クラスタに接続するためにクライアントが使用するアドレス。
複数の IP アドレスにマップされる 1 つの DNS ホスト名、あるいは、開発やテスト目的の場合は、単一アドレス ホスト名または IP アドレスのカンマ区切りリスト。 | 有効な IP アドレスまたはホスト名
デフォルト値: Null | [クラスタ <i>clustername</i> コンフィグレーション 一般 クラスタ アドレス] |
| DefaultLoadAlgorithm | クラスタ内のインスタンスにリクエストを配布するアルゴリズム。 | round-robin
weight-based
random
デフォルト値: round-robin | [クラスタ <i>clustername</i> コンフィグレーション 一般 デフォルトのロード バランス アルゴリズム] |
| MulticastAddress | クラスタ メンバーが互いに通信するために使用するマルチキャスト アドレス。 | IP マルチキャスト アドレス | [クラスタ <i>clustername</i> コンフィグレーション マルチキャスト マルチキャスト アドレス] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション値 |
|--------------------|---|---------------------------|--|
| MulticastSendDelay | マルチキャストでのメッセージ送信を遅延させるミリ秒数。 | Integer
デフォルト値:
12 | [クラスタ <i>clustername</i> コンフィグレーション マルチキャスト マルチキャスト送信遅延] |
| MulticastTTL | クラスタ マルチキャスト メッセージの送信で許可されるネットワーク ホップの最大数。値が 1 の場合、クラスタは 1 つのサブネットに制限される。TTL は「存続時間 (Time to Live)」を意味する。 | 1 ~ 255
デフォルト値:
1 | [クラスタ <i>clustername</i> コンフィグレーション マルチキャスト マルチキャスト生存時間] |
| Name | MBean の名前 (必須)。
クラスタ名には 256 文字以内の英数字を使用できるが、カンマとスペースは使用できない。 | 文字列。
デフォルト値:
なし | [クラスタ <i>clustername</i> コンフィグレーション 一般 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | [クラスタ <i>clustername</i> メモ] |
| Servers | このクラスタでのメンバーシップを宣言したサーバ。 | リスト
デフォルト値:
Null | [クラスタ <i>clustername</i> サーバ] |

ConnectorComponent

リソースアダプタを定義します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------------------|--|---------------------|-------------------------------|
| Application | | | [デプロイメント コネクタ アプリケーション] |
| AuthenticationMechanisms | 認証メカニズム。コンフィグレーション不可。 | | |
| CapacityIncrement | リソースアダプタコネクタプールのプロパティであり、プール容量の増加単位。コンフィグレーション不可。 | 1-n
デフォルト値:
1 | |
| ClassLoader | クラスローダ。コンフィグレーション不可。 | | |
| ConfigProperties | コンフィグレーションプロパティ。コンフィグレーション不可。 | | |
| ConnectionCleanupFrequency | 接続時間をチェックする頻度。接続は、経過時間を超過するとクリーンアップされる。コンフィグレーション不可。 | デフォルト値:
-1 | |
| ConnectionDurationTime | 接続がアクティブであることが許可される時間。コンフィグレーション不可。 | デフォルト値:
-1 | |
| ConnectionFactoryDescription | 接続ファクトリの説明。コンフィグレーション不可。 | | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------------------|--|---|------------------|
| ConnectionFactoryImpl | リソースアダプタコンポーネントのプロパティのうちの1つ。コンフィグレーション不可。 | | |
| ConnectionFactoryInterface | リソースアダプタコンポーネントのプロパティのうちの1つ。コンフィグレーション不可。 | | |
| ConnectionFactoryName | 接続ファクトリ名。コンフィグレーション不可。 | | |
| ConnectionImpl | リソースアダプタコンポーネントのプロパティのうちの1つ。コンフィグレーション不可。 | | |
| ConnectionInterface | リソースアダプタコンポーネントのプロパティのうちの1つ。コンフィグレーション不可。 | | |
| DelayedBinding | コンフィグレーション不可。 | true または false
デフォルト値: false | |
| DeploymentOrder | デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。

DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。 | 最小値:
MIN_ORDER
最大値:
MAX_ORDER
デフォルト値:
1000 | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|--------------------|---|---------------------------------------|----------------------|
| Description | | | |
| DisplayName | リソース アダプタ コンポーネントの表示名。コンフィグレーション不可。 | | |
| EisType | リソース アダプタ コンポーネントの EIS タイプ。コンフィグレーション不可。 | | |
| InitialCapacity | リソース アダプタ コネクタ プールのプロパティ：接続の初期数。コンフィグレーション不可。 | 0-n
デフォルト値：
1 | |
| JNDIName | ManagedConnectionFactory 参照の JNDI 名。コンフィグレーション不可。 | | |
| LargeIcon | リソース アダプタ コンポーネントの大きいアイコン名。コンフィグレーション不可。 | | |
| LicenseDescription | リソース アダプタ コンポーネントのライセンス説明。コンフィグレーション不可。 | | |
| LicenseRequired | ライセンスが必須であるかどうかを示すフラグ。コンフィグレーション不可。 | true または
false
デフォルト値：
false | |
| LogFileName | ManagedConnectionFactory ログ ファイル。コンフィグレーション不可。 | | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------------------------|---|------------------------------------|-------------------------|
| LoggingEnabled | ManagedConnectionFactory ロガー フラグ。コンフィグレーション不可。 | true または false
デフォルト値：
false | |
| ManagedConnectionFactoryClass | リソース アダプタ コンポーネントのプロパティのうちの 1 つ。コンフィグレーション不可。 | | |
| MapConfigProperties | マップされたコンフィグレーション プロパティ (デフォルトのコンフィグレーション プロパティからオーバーライドされたもの)。コンフィグレーション不可。 | | |
| MaxCapacity | リソース アダプタ コネクタ プールのプロパティ：接続の最大数。コンフィグレーション不可。 | 1-n
デフォルト値：
10 | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値：
なし | [デプロイメント コネクタ 名前] |
| NativeLibDir | ネイティブ ライブラリ ディレクトリ。コンフィグレーション不可。 | | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | Null |
| RALinkRef | リソース アダプタ リンク参照。コンフィグレーション不可。 | | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|-------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------|
| reauthenticationSupport | 再認証がサポートされているかどうかを示すフラグ。コンフィグレーション不可。 | true または
false
デフォルト値：
false | |
| SecurityPermissions | セキュリティ パーミッション。コンフィグレーション不可。 | | |
| SecurityPrincipalMaps | セキュリティ プリンシパル マップ。コンフィグレーション不可。 | | |
| ShrinkingEnabled | プールの縮小を有効にするには true に設定する。コンフィグレーション不可。 | true または
false
デフォルト値：
true | |
| ShrinkPeriodMinutes | コンフィグレーション不可。 | 0-n
デフォルト値：
15 | |
| SmallIcon | リソース アダプタ コンポーネントの小さいアイコン名。コンフィグレーション不可。 | | |
| SpecVersion | リソース アダプタ コンポーネントの仕様のバージョン。コンフィグレーション不可。 | | |
| Targets | | | |
| TransactionSupport | トランザクション サポート。コンフィグレーション不可。 | none、local、
XA | |
| URI | アプリケーション コンポーネントを示している URI (Uniform Resource Identifier) であり、通常は管理サーバ上にある (必須)。 | 有効な文字列 | [デプロイメント コネクタ URI] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|------------|---|-----------------------|----------------------|
| VendorName | リソース アダプタ コンポーネ
ントのベンダ名。コンフィグ
レーション不可。 | | |
| Version | リソース アダプタ コンポーネ
ントのバージョン。コンフィ
グレーション不可。 | | |

CustomRealm

この要素は、カスタム レルムのコンフィグレーションプロパティを保持しています。カスタム レルムは、**RDBMSRealm** の微調整に対して、全面的に顧客が記述したレルムです。カスタム レルムのコンフィグレーション プロパティがどのようになるかを推測できないため、プロパティ リストを含む属性だけを追加しました。カスタム レルムではどのプロパティをリストに入れるかを定義できません。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション値 |
|-------------------|--|---------------------------------------|---------------------------|
| ConfigurationData | カスタム セキュリティ レルム用のコンフィグレーション プロパティのリスト。これらのプロパティはデータベース スキーマである可能性がある。 | | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値:
CustomRealmMBean | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザーが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |
| Password | カスタム セキュリティ レルムのパスワード。パスワードを指定した場合は、WebLogic Server によって暗号化される。 | | |
| RealmClassName | カスタム セキュリティ レルムを実装する Java クラスの名前。このクラスは WebLogic Server の CLASSPATH に入っていないなければならない。 | | [セキュリティ レルム レルム クラス名] |

Domain

WebLogic ドメイン。WebLogic ドメインは、「Domain」という特殊な対象です。通常、これは WebLogic Server のインスタンスと同等です。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------------|--|------------------------------------|------------------|
| Active | このドメインがアクティブかどうか。 | true または false
デフォルト値：
false | |
| LastModificationTime | ドメインが最後に更新された時刻。これは、特定のトランザクション変更に対してユニークになる。 | デフォルト値：
0 | |
| Name | MBean の名前（必須）。
256 文字以内の英数字を指定できるが、カンマやスペースは指定できない。 | 文字列。
デフォルト値：
mydomain | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |
| RootDirectory | 管理用サーバがインストールされる最上位ディレクトリ。 | 指定されていない。 | |

DomainLogFilter

この要素は、ドメイン ログ ファイルに記録されるログ メッセージを限定するためのフィルタを表します。メッセージは、フィルタを通過するために指定されたすべての基準を通過する必要があります。必要に応じて、この MBean の複数のインスタンスを定義できます。複数のインスタンスが存在する場合、メッセージは少なくとも 1 つのフィルタを通過しなければドメイン ログ ファイルに記録されません。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|---------------|---|---|------------------|
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値:
DomainLogFilterMBean | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関して
ユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |
| SeverityLevel | このフィルタを通過するメッセージの重要度の最低レベル。指定した重要度とそれよりも高い重要度のメッセージが通過する。
昇順の重要度 <ul style="list-style-type: none"> ■ 64 (INFO) ■ 32 (WARNING) ■ 16 (ERROR) ■ 8 (NOTICE) ■ 4 (CRITICAL) ■ 2 (ALERT) ■ 1 (EMERGENCY) | 64, 32, 16, 8, 4, 2, 1
デフォルト値:
16 | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|----------------|-------------------------------------|-----------------------|------------------|
| SubsystemNames | 何も指定しない場合、すべてのサブシステムからのメッセージが通過する。 | | |
| UserIds | 何も指定しない場合、すべてのユーザ ID からのメッセージが通過する。 | | |

EJBComponent

エンタープライズ **JavaBean** (**EJB**) は、クライアントとデータベースの間のビジネス トランザクションを実行します。コンフィグレーション ファイルにあるこの要素で、**EJB** に影響を与える設定を変更できます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|---|---|-----------------------------|
| Application | このコンポーネントが一部になっているアプリケーションの名前。これは決して null にはならない。 | | [デプロイメント アプリケーション 名前] |
| DeploymentOrder | <p>デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。この属性は特に EJB で役に立つ。EJB が最初にデプロイされるかどうかは、別の EJB によって決まる。</p> <p>DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。</p> | <p>最小値：
MIN_ORDER</p> <p>最大値：
MAX_ORDER</p> <p>デフォルト値：
1000</p> | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション値 |
|---------------------------|---|------------------------------|---|
| ExtraRmicOptions | サーバサイド生成中に RMIC に渡される追加のオプション。この属性のデフォルト値は null である必要がある。EJB コンポーネントに対して ExtraRmicOption のインスタンスが何も指定されない場合、Server.ExtraRmicOptions からのデフォルトが使用される。 | デフォルト値 : Null | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
コンパイラ
追加 Rmic オプ
ション] |
| JavaCompiler | EJB をコンパイルするために使用する「sj」や「javac」などの Java コンパイラへのパス。EJBComponent に対して Java コンパイラが何も指定されない場合、Server.JavaCompiler からのデフォルトが使用される。 | パス名 (絶対パス可)
デフォルト値 : Null | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
コンパイラ
Java コンパイ
ラ] |
| JavaCompilerPostClassPath | Java コードをコンパイルするときに Java コンパイラ クラスパスに追加するオプション。 | パス名 (絶対パス可)
デフォルト値 : Null | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
コンパイラ
クラスパスの
後ろに追加] |
| JavaCompilerPreClassPath | Java コードをコンパイルするときに Java コンパイラ クラスパスの先頭に追加するオプション。 | パス名 (絶対パス可)
デフォルト値 : Null | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
コンパイラ
クラスパスの
前に追加] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------------------|---|---|-------------------------|
| KeepGenerated | EJBC が生成済みのソース ファイルを保持すべき場合は true を返し、EJBC がコンパイル後にソース ファイルを削除すべき場合は false を返す。 | true または false
デフォルト値：
true | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値：
なし | [デプロイメント EJB 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |
| Targets | このデプロイメントがデプロイされる対象。 | | |
| TmpPath | EJBC が生成済みのファイルを格納する一時ディレクトリ。 | パス名 (絶対パス可)
デフォルト値：
tmp_ejb | |
| URI | アプリケーション コンポーネントを示している URI (Uniform Resource Identifier) であり、通常は管理サーバ上にある (必須)。 | 有効な文字列 | [デプロイメント EJB URI] |
| VerboseEJBDeploymentEnabled | true の場合、その EJB の verbose デプロイメントが有効になり、スタック トレース付きのエラー メッセージを出力する。 | true または false
デフォルト値：
false | |

EJBContainer

EJB コンテナ全体の設定を指定します。これらの設定は、EJBComponentMBean および Server MBean 内にも存在します。優先順位は以下のとおりです。

1. この特定の EJBComponentMBean
2. EJBContainerMBean
3. Server MBean

したがって、2 つ以上の要素で属性が指定された場合、最も優先順位の高い要素内の属性の設定が有効になります。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|---------------------------|---|--------|--------|
| ExtraRmicOptions | サーバサイド生成中に <code>rmic</code> に渡される追加のオプション。
この <code>EJBComponent</code> でこの属性の値が指定されない場合、デフォルト値は <code>Server</code> 要素のこの属性から取得される。 | String | Null |
| JavaCompiler | <code>EJB</code> をコンパイルするために使用する「 <code>sj</code> 」や「 <code>javac</code> 」などの <code>Java</code> コンパイラへのパス。
この <code>EJBComponent</code> で <code>JavaCompiler</code> が指定されない場合、デフォルト値は <code>EJBContainer</code> 要素から、次に <code>Server</code> 要素から取得される。 | String | Null |
| JavaCompilerPostClassPath | <code>Java</code> コードのコンパイル時に <code>Java</code> コンパイラのクラスパスに付加されるオプション。 | String | Null |
| JavaCompilerPreClassPath | <code>Java</code> コードのコンパイル時に <code>Java</code> コンパイラのクラスパスの前に付加されるオプション。 | String | Null |

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|-----------------------------|---|------------------------------|----------------|
| KeepGenerated | EJBContainer が生成済みのソース ファイルを保持すべき場合は true 、コンパイル後にソース ファイルを削除すべき場合は false 。 | true または false | true |
| TmpPath | EJBContainer が生成済みのファイルを格納する一時ディレクトリ。 | 有効なディレクトリ名 | tmp_ejb |
| VerboseEJBDeploymentEnabled | この値のステータスを取得する。 true の場合は EJB の冗長機能が有効である。有効でない場合は false を返す。 | true または false | false |

ExecuteQueue

この MBean は、実行キューとそれに関連付けられたスレッドプールをコンフィグレーションするために使います。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------|---|--------------------------|------------------|
| Name | デフォルト実行キューの名前。 | | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | String | |
| ThreadCount | このキューに割り当てられたスレッド数を返す。 | Integer
デフォルト値:
15 | |

FileRealm

この要素は、FileRealm のコンフィグレーション プロパティを保持します。この MBean は RealmMBean に関連付けられます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------|---|----------------------------------|------------------------------|
| MaxACLs | FileRealm がサポートする (正の) ACL の最大数。最大値には必ずしも従わなくてよいが、最大値に達すると警告が表示される。 | 1-10000
デフォルト値: 1000 | [セキュリティ ファイルレーム 最大 ACL] |
| MaxGroups | FileRealm がサポートするグループの最大数。 | デフォルト値: 1000 | [セキュリティ ファイルレーム 最大グループ数] |
| MaxUsers | FileRealm がサポートするユーザの最大数。 | デフォルト値: 1000 | [セキュリティ ファイルレーム 最大ユーザ数] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値: FileRealmMBean | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |

FileT3

File T3 のコンフィグレーション エントリです。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|--|---|---------------------------|
| DeploymentOrder | デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。

DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。 | 最小値：
MIN_ORDER

最大値：
MAX_ORDER

デフォルト値：
1000 | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String

デフォルト値：
なし | [サービス
FileT3 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列

デフォルト値：
Null | |
| Path | File T3 のパス。 | パス名 (絶対パス可) | [サービス
FileT3 パス] |
| Targets | このデプロイメントがデプロイされる対象。 | | |

JDBCConnectionPool

この要素は、JDBC 接続プールを定義します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|-------------------|---|---|---|
| ACLName | <p>この接続プールへのアクセスを制御するために使う ACL を設定する。この ACL で利用できるパーミッションは <code>reserve</code> と <code>admin</code> である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「<code>reserve</code>」ではこの接続プールからの論理接続を取得できる。 ■ 「<code>admin</code>」では、<code>reset</code>、<code>shrink</code>、<code>shutdown</code>、<code>disable</code>、<code>enable</code> など、この接続プールに対する他のすべての処理ができる。ACL がないと、(ユーザが他の WebLogic Server セキュリティ制御を通過している場合に) どのようなユーザにもアクセスがオープンになる。 | | |
| CapacityIncrement | <p>プール容量の増加単位。サービスリクエストに提供するための利用可能な物理接続が他にないとき、プールはこの数の物理データベース接続を追加作成して、それらをプールに追加する。プールは <code>MaxCapacity</code> で設定された物理接続の最大数を超えない。</p> | <p>0 ~ n
デフォルト値:
1</p> | <p>[サービス
JDBC 接続
プール 増加
容量]</p> |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------------|--|---|------------------|
| ConnLeakProfilingEnabled | <p>このプロパティによって JDBC 接続リーク プロファイルが有効になる。接続リークは、プールからの接続が <code>close()</code> の呼び出しで明示的にクローズされていないときに発生する。</p> <p>接続リーク プロファイルがアクティブの場合、プールは接続オブジェクトがプールから割り当てられ、クライアントに与えられたときにスタックトレースを格納する。接続リークが検出されたとき（接続オブジェクトのガベージコレクションが行われたとき）に、このスタックトレースが報告される。</p> <p>注意： この機能はリソースを余計に使用し、接続プール処理を遅くする可能性があるため、プロダクション環境では使用しないほうがよい。</p> | true または false
デフォルト値：
false | |
| DeploymentOrder | <p>デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。</p> <p>DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。</p> | 最小値：
MIN_ORDER
最大値：
MAX_ORDER
デフォルト値：
1000 | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|-------------------|--|------------------------------|------------------------------------|
| DriverName | JDBC ドライバクラス名を含む文字列。これは、この接続プールの WebLogic Server と DMBS の間の物理接続を作成するために使われる、2 層ドライバクラスの完全パッケージ名である。これは、 <code>java.sql.Driver</code> インタフェースを実装するクラスの名前である必要がある。完全パス名については、JDBC ドライバのマニュアルを参照。 | | [サービス JDBC 接続プール ドライバクラス名] |
| InitialCapacity | プールをコンフィグレーションするとき作成する物理データベース接続の数。ここで指定した数だけ接続を作成できない場合、この接続プールの作成は失敗する。これは、プールが利用可能な状態を維持する物理接続の最小数でもある。 | 0 ~ <i>n</i>
デフォルト値:
1 | [サービス JDBC 接続プール 初期容量] |
| LoginDelaySeconds | プール初期作成中、およびプールの有効期間中の両方で、各物理データベース接続を作成するまで遅延する秒数。データベース サーバの中には、切れ間なく続く接続リクエストに対処できないものもある。そのため、このプロパティを使って、データベース サーバが追いつけるように小さな遅延時間を構築する。 | 秒単位の整数
デフォルト値:
0 | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------|--|---|--------------------------------|
| MaxCapacity | この接続プールが含むことのできる物理データベース接続の最大数を設定する。さまざまな JDBC ドライバやデータベース サーバが、可能な物理接続数を制限する傾向がある。 | 1 ~ n
デフォルト値：
1 | [サービス JDBC 接続プール 最大容量] |
| Name | 接続プールの名前 (必須)。 | 256 文字以内の英数字を指定できるが、カンマやスペースは指定できない。
デフォルト値：
Null | [サービス JDBC 接続プール 名前] |
| Notes | 省略可能なユーザ定義情報を入力するためのスペース。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |
| Password | この値は、名前と値のペアで定義されたプロパティ内のパスワードをオーバーライドする。この属性は、物理データベース接続を作成するときに JDBC 2 層 ドライバに渡される。config.xml ファイルに暗号化されて格納され、そのファイルに平文のままパスワードを格納するのを回避できる。 | | |
| Properties | この JDBC ドライバに渡されるプロパティのリスト。 | | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------------|---|---------------------------------|------------------|
| RefreshMinutes | 接続更新の間隔を設定する。すべての未使用の接続は、TestTableName を使ってテストされる。このテストを合格しない接続はクローズされて有効な物理データベース接続を再確立するために再び開かれる。TestTableName が設定されていない場合、テストは実行されない。 | 0 ~ n (単位: 分)
デフォルト値: 0 | |
| ShrinkingEnabled | プールの縮小を有効にするには true に設定する。接続が未使用であることが検出されたときにプールが InitialCapacity の値まで縮小できるかどうかを示す。 | true または false
デフォルト値: true | |
| ShrinkPeriodMinutes | 要求を満たすためにインクリメンタルに増やした接続プールを縮小するまで待機する分数を設定する。縮小が行われるには、ShrinkingEnabled が true である必要がある。 | 1 ~ n (単位: 分)
デフォルト値: 15 | |
| SupportsLocalTransaction | この属性は XA 接続プールにだけ適用され、XA 以外のドライバでは無視される。XA ドライバがグローバルトランザクションを使用しない SQL をサポートしている場合は true である。 | true または false
デフォルト値: false | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------------|---|--|------------------|
| Targets | このデプロイメント用の対象サーバを設定する。 | String
デフォルト値：
[Lweblogic.m
anagement.co
nfiguration.
TargetMBean;
@2c84d9 | |
| TestConnectionsOnRelease | 解放される接続がテストされているかどうかを判断するために使う。true の場合、WebLogic Server は接続プールに戻す前に接続をテストする。プール内のすべての接続が既に使用中であり、クライアントが接続を待っている場合、クライアントの待ち時間は接続がテストされている間だけ少し長くなる。 | true または
false
デフォルト値：
false | |
| TestConnectionsOnReserve | reserve 状態である接続がテストされるかどうかを判断するために使う。true に設定された場合、WebLogic Server はクライアントに渡す前に接続をテストする。テストによって、プールからの接続をクライアントのリクエストに提供する際に少しの遅延が発生するが、(DBMS が利用可能でアクセスできると想定すると) クライアントは有効な接続を受け取ることができる。 | true または
false
デフォルト値：
false | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|---------------|---|---------------------------|--------------------------------------|
| TestTableName | <p>物理データベース接続をテストするときに使われるテーブルの名前を設定する。接続をテストする際に使用されるデフォルト SQL は、"select count" from TestTableName である。TestTableName が存在し、接続を使用するデータベース ユーザがアクセスできる必要がある。ほとんどのデータベース サーバはこの SQL を最適化してテーブルスキャンを回避するが、行がほとんどない、またはまったくないとわかっているテーブルの名前に TestTableName を設定したほうがよい。</p> <p>TestTableName が「SQL」で始まる場合、「SQL」より後の文字列は、接続をテストするリテラルの SQL 文として扱われる。</p> | String
デフォルト値：
Null | |
| URL | <p>JDBC ドライバのマニュアルに記述されている、データベースの URL。この URL は、物理データベース接続を作成するためにドライバに渡される。</p> | | [サービス
JDBC 接続
プール URL] |

JDBCDataSource

データ ソースの属性を定義します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|---|---|-----------------------------------|
| DeploymentOrder | <p>デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。</p> <p>DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。</p> | <p>最小値：
MIN_ORDER</p> <p>最大値：
MAX_ORDER</p> <p>デフォルト値：
1000</p> | |
| JNDIName | データ ソースに関連付ける JNDI 名を設定する。この DataSource がバインドされる JNDI パスを設定する。 | <p>String</p> <p>デフォルト値：
Null</p> | [サービス JDBC データソース JNDI 名] |
| Name | このデータ ソースの名前 (必須)。256 文字以内を指定できるが、カンマやスペースは指定できない。 | <p>英数字文字列</p> <p>デフォルト値：
Null</p> | [サービス JDBC データソース 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | <p>英数字文字列</p> <p>デフォルト値：
Null</p> | |
| PoolName | この DataSource に関連付けられた JDBC 接続プールの名前。DataSource は関連付けられた接続プールから接続を返す。 | <p>String</p> <p>デフォルト値：
Null</p> | [サービス JDBC データソース プール名] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|--|----------------------------------|---|
| RowPrefetchEnabled | 各 ResultSet についてクライアントと WebLogic Server の間で行のプリフェッチを可能にするには true に設定する。外部クライアントが Weblogic Server 経由で JDBC アクセスを行うとき、行のプリフェッチは、1 回のサーバアクセスでサーバからクライアントに複数の行を取り出すのでパフォーマンスが向上する。クライアントと WebLogic Server が同一の JVM 内にある場合は、WebLogic Server はこの設定を無視し、行のプリフェッチを使用しない。 | true または false
デフォルト値 : false | [サービス JDBC データソース 行のプリフェッチを有効化] |
| RowPrefetchSize | 各 ResultSet についてクライアントと WebLogic Server の間でプリフェッチされる行の数。最適の値は、クエリの内容によって異なる。一般に、特定の値までこの数値を増やすと、パフォーマンスが向上する。その特定の値になると、さらに値を増やしてもパフォーマンスの向上はほとんど見られなくなる。100 行を超えてからパフォーマンスが向上することはほとんどない。ほとんどの場合、デフォルト値を使うのが理にかなっている。 | 2-65536
デフォルト値 : 48 | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|---|------------------------------|--|
| StreamChunkSize | <p>各 ResultSet についてクライアントと WebLogic Server の間でプリフェッチされる行の数。</p> <p>最適の値は、クエリの内容によって異なる。一般に、特定の値までこの数値を増やすと、パフォーマンスが向上する。その特定の値になると、さらに値を増やしてもパフォーマンスの向上はほとんど見られなくなる。</p> <p>100 行を超えてからパフォーマンスが向上することはほとんどない。ほとんどの場合、デフォルト値を使うのが理にかなっている。</p> | 1 ~ 65,536
デフォルト値:
256 | [サービス
JDBC データ
ソース スト
リーム チャン
ク サイズ] |
| Targets | このデータソースの対象。 | リスト
デフォルト値:
Null | |

JDBCMultiPool

マルチプールは「プールのプール」であり、接続を提供するために選択されるプールのリストの中から選ぶために、コンフィグレーション可能なアルゴリズム（高可用性またはロードバランシングのいずれか）を使用できます。マルチプールは、複数サーバ コンフィグレーションには適用されません。

| 属性 | 説明 | 指定できる値と
デフォルト値 | Console のナビ
ゲーション |
|---------|--------------------|-------------------|----------------------|
| ACLName | このメタ プールの ACL リスト。 | | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|---------------|---|---|--|
| AlgorithmType | <p>次の 2 つのアルゴリズムのどちらかを選択する。</p> <ul style="list-style-type: none">■ High-Availability (高可用性)■ Load-Balancing (ロード バランシング) <p>「High-Availability」では、接続プールは順序付けされたリストとして設定され、順番に使用される。マルチプールは、接続の問い合わせが来るたびに、リスト内の最初のプールから接続を取得しようとする。有効な接続を取得できない場合、リスト内の次のプールを取得しようとする。この処理は、有効な接続が取得されるまで、またはリストの最後に達するまで繰り返される。リストの最後に達すると例外が発生する。データベースがダウンしていたり、プールが利用できないなどのように、プールで実際の問題がある場合、マルチプールはリスト内の次のプールに移動するだけである。すべての接続がビジー状態の場合、マルチプールは単一のプールであるかのように動作し、例外が発生する。</p> <p>「Load-Balancing」では、マルチプールはメンバー プールに接続リクエストを均等に配布する。</p> | High-Availability
Load-Balancing
デフォルト値：
High-Availability | [サービス JDBC
 マルチプール
ロード バランス
]
および
[サービス JDBC
 マルチプール
High Availability] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|---|---|-----------------------------------|
| DeploymentOrder | <p>デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。</p> <p>DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。</p> | <p>最小値：
MIN_ORDER</p> <p>最大値：
MAX_ORDER</p> <p>デフォルト値：
1000</p> | |
| Name | JDBCMultipool の名前。名前には 256 文字以内の英数字を使用できるが、カンマとスペースは使用できない。 | <p>英数字文字列</p> <p>デフォルト値: Null</p> | [サービス JDBC マルチプール 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | <p>英数字文字列</p> <p>デフォルト値: Null</p> | |
| Pool List | マルチプール内の接続プールのリスト。 | リスト | [サービス JDBC マルチプール プールリスト] |
| Targets | このデプロイメントがデプロイされる対象。 | | |

JDBCTxDataSource

TX データ ソースの属性を定義します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|---|---|------------------|
| DeploymentOrder | <p>デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。</p> <p>DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。</p> | <p>最小値：
MIN_ORDER</p> <p>最大値：
MAX_ORDER</p> <p>デフォルト値：
1000</p> | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|----------------------|---|--------------------------------|--|
| EnableTwoPhaseCommit | <p>トランザクションの 2 フェーズ コミットを有効または無効にできる。EnableTwoPhaseCommit では、XA JDBC 以外のドライバがトランザクションの唯一の参加コンポーネントとして JDBC 接続に参加するように動作するが、JDBC ドライバの 1 つが XA リソースであるように動作しているトランザクションに複数のリソースを参加させると問題を招くことになる。そのような状況ではヒューリスティック エラーが発生するおそれがある。</p> <p>EnableTwoPhaseCommit を true に設定するのは、オプションが何もない場合に限られる（たとえば、特定のデータベースに対して適切な XA ドライバがない場合）。</p> <p>この TxDataSource が XA 接続プールに関連付けられている場合、または分散トランザクションに参加しているリソースが 1 つだけの場合、この設定は無視される。</p> | true または false
デフォルト値：false | [サービス JDBC トランザクション データ ソース 2 フェーズ コミットを有効化] |
| JNDIName | <p>この TxDataSource がバインドされる JNDI パスを設定する。JNDI パスをロックアップするアプリケーションは、この TxDataSource に対応する javax.sql.DataSource インスタンスを取得する。接続の取得にデータソースをロックアップするときに有利なように、DriverManager.getConnection() または Driver.Connect() の旧来の使用方法は使用されなくなっている。</p> | 有効な JNDI 名
デフォルト：Null | [サービス JDBC トランザクション データ ソース JNDI 名] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|---|---------------------------------------|---|
| Name | このデータ ソースの名前。 | String | [サービス JDBC トランザクション データ ソース 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |
| PoolName | この TxDataSource に関連付けられている接続プールを名前を設定できる。この TxDataSource で getConnection() を呼び出すと、関連付けられた接続プールから接続が返る。 | 有効な接続
プール名
デフォルト値:
Null | [サービス JDBC トランザクション データ ソース プール名] |
| RowPrefetchEnabled | 各 ResultSet についてクライアントと WebLogic Server の間で行のプリフェッチを可能にするには true にする。外部クライアントが WebLogic Server 経由で JDBC アクセスを行うと、行のプリフェッチは、1 回のサーバアクセスでサーバからクライアントに複数の行を取り出すのでパフォーマンスが向上する。クライアントと WebLogic Server が同一の JVM 内にある場合は、WebLogic Server はこの設定を無視し、行のプリフェッチを使用しない。 | true または
false
デフォルト値:
false | [サービス JDBC トランザクション データ ソース 行のプリフェッチを有効化] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション
値 |
|-----------------|--|----------------------------|-----------------------|
| RowPrefetchSize | 各 ResultSet についてクライアントと WebLogic Server の間でプリフェッチされる行の数。最適の値は、クエリの内容によって異なる。一般に、特定の値までこの数値を増やすと、パフォーマンスが向上する。その特定の値になると、さらに値を増やしてもパフォーマンスの向上はほとんど見られなくなる。100 行を超えてからパフォーマンスが向上することはほとんどない。ほとんどの場合、デフォルト値を使うのが理にかなっている。 | 2-65536
デフォルト値：
48 | |
| StreamChunkSize | ストリーミングデータ型のデータ チャンク サイズを決定する。
<code>getBinaryStream()</code> への呼び出し結果などのストリーミングデータ型は、必要に応じて WebLogic Server からクライアントに Stream Chunk Size サイズのチャンクでプルされる。 | 1-65,536
デフォルト値：
256 | [ストリーム
チャンク サイズ] |
| Targets | サーバ（またはクラスタ）をこのデータソースの対象として使用するよう
に選択できる。 | リスト
デフォルト：
Null | |

JMSConnectionConsumer

この MBean は、接続コンシューマを定義します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値と
デフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|--|--|------------------|
| Destination | 接続コンシューマの送り先の JNDI 名。 | String | |
| MessagesMaximum | 接続コンシューマが一度に ServerSession のセッションにロードできるメッセージの最大数。 | -1、 n
$n = 1 \sim 2^{63} - 1$
デフォルト値: -1 | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値:
JMSConnectionConsumerMBean | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |
| Selector | 接続コンシューマの定義済みのセレクタ。 | String
デフォルト値: Null | |

JMSConnectionFactory

この要素は、JMS 接続ファクトリを表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------------|---|---|------------------|
| AcknowledgePolicy | <p>接続ファクトリの Acknowledge Policy 属性の値。この属性で JMS 仕様の変更の問題を回避する。</p> <p>次の値が有効である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ All — すべてのメッセージが確認応答される。 ■ Previous — 以前に受信したメッセージが確認応答される。 <p>注意：「All」をデフォルトにすることは、WebLogic Server リリース 6.1 より前の JMS のすべてのバージョンからの変更を表す。以前のデフォルトは「Previous」であった。この機能の詳細については、『WebLogic JMS プログラマーズガイド』の「WebLogic JMS アプリケーションの移行」を参照。</p> | <p>Previous</p> <p>All</p> <p>デフォルト値：
All</p> | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|--|--|--------------------------------------|
| AllowCloseInOnMessage | 接続ファクトリの <code>allowCloseInOnMessage</code> 属性。値を <code>true</code> に設定すると、ハングせずに <code>onMessage()</code> メソッド呼び出しから <code>stop()</code> メソッドと <code>close()</code> メソッドを発行できる。 | <code>true</code> または <code>false</code>
デフォルト値：
<code>false</code> | |
| ClientId | この接続ファクトリを使用する恒久サブスクライバ用クライアント ID。 | <code>String</code>
デフォルト値：
なし | [サービス JMS 接続ファクトリ クライアント ID] |
| DefaultDeliveryMode | 接続ファクトリのデフォルト配信モードを定義する。このファクトリで作成された接続で生成された <code>deliveryMode</code> が <code>null</code> のすべてのメッセージは、この値を受け取る。 | <code>Persistent</code>
<code>Non-Persistent</code>
デフォルト値：
<code>Persistent</code> | |
| DefaultPriority | 接続ファクトリのデフォルト優先順位値を定義する。このファクトリで作成された接続で生成された優先順位 <code>-1</code> のすべてのメッセージは、この値を受け取る。 | <code>0-9</code>
デフォルト値：
<code>4</code> | [サービス JMS 接続ファクトリ デフォルト優先順位] |
| DefaultRedeliveryDelay | ロールバックまたは回復されたメッセージが再配信されるまでの、デフォルト遅延をミリ秒単位で定義する。 | <code>0 ~ n</code>
$n=2^{63}-1$
デフォルト値：
<code>0</code> | [サービス JMS 接続ファクトリ デフォルト再送遅延] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|------------------------|--|---|--|
| DefaultTime to Deliver | メッセージが生成されたときからメッセージが送り先に表示可能になるときまでのデフォルト遅延をミリ秒単位で定義する。 | 0 ~ n
$n=2^{63}-1$
デフォルト値:
0 | |
| DefaultTimeToLive | メッセージが生成されたときからメッセージが送り先に表示可能になるときまでのデフォルト遅延をミリ秒単位で定義する。このファクトリで作成された接続で生成された存続時間値 -1 のすべてのメッセージは、この値を受け取る。 | 0 ~ n
$n=2^{63}-1$
デフォルト値:
0 | [サービス
JMS 接続
ファクトリ
デフォルト生
存時間] |
| DeploymentOrder | デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。

DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。 | 最小値:
MIN_ORDER
最大値:
MAX_ORDER
デフォルト値:
1000 | |
| JNDIName | JMS ConnectionFactory の JNDI 名。これは、JNDI ネームスペース内で接続ファクトリに割り当てられ、ルックアップに使われる名前である。 | String または
null | [サービス
JMS 接続
ファクトリ
JNDI 名] |
| MessagesMaximum | 非同期セッション用に存在し、メッセージリスナにまだ渡されていないメッセージの最大数。-1 に設定すると、制限がなくなる。 | -1, 0 ~ n
$n=2^{31}-1$
デフォルト値:
10 | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|---------------|---|--|-------------------------------|
| Name | MBean と JMSConnectionFactory の名前 (必須)。 | String
デフォルト値：
なし | [サービス JMS 接続ファクトリ 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |
| OverrunPolicy | 接続ファクトリのメッセージ超過時のポリシーの値。マルチキャストメッセージに適用される。未処理メッセージの数が「Messages Maximum」属性の値に達すると、指定したポリシーに基づいてメッセージが廃棄される。
「KeepNew」に設定すると、古いメッセージより新しいメッセージの方が優先されるようになり、必要に応じて最も古いメッセージが破棄される。
「KeepOld」に設定すると、新しいメッセージより古いメッセージの方が優先されるようになり、必要に応じて最も新しいメッセージが破棄される。
メッセージの新旧は、JMSTimestamp の値ではなく、受信の順序によって定義される。 | KeepNew
KeepOld
デフォルト値：
KeepOld | |
| Targets | 潜在的対象のリストを提供する。JMS クライアントが接続を作成すると、このファクトリを使って、これらの対象のうちの 1 つに接続する。 | TargetMBean[]
デフォルト値：
選択された対象はない | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|-------------------------|---|--|------------------|
| TransactionTimeout | 接続ファクトリのトランザクションタイムアウト値 (単位: 秒)。 | 0 ~ n
$n=2^{31}-1$
デフォルト値:
3600 | |
| UserTransactionsEnabled | <p>JTA 対応のセッションが接続ファクトリで作成されるかどうかを示す。「true」に設定された場合、関連付けられているメッセージプロデューサとメッセージコンシューマはトランザクションコンテキストを探すために実行中のスレッドを調べる。ただし、XAConnectionFactoryEnabled 属性が有効になっている場合、(常に true であると考えられるので) UserTransactionsEnabled 属性は無視される。</p> <p>注意： トランザクションセッションは、設定とは無関係に、自身内部のトランザクションのために現在のスレッドのトランザクションコンテキストを無視します。この設定は非トランザクションセッションだけに影響を与えます。</p> | true または
false
デフォルト値:
false | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|----------------------------|--|---------------------------------------|----------------------|
| XAConnectionFactoryEnabled | 接続ファクトリの
XAConnectionFactoryEnabl
ed 属性。true の場合、
ConnectionFactory ではなく
XAConnection Factory が返され
る。 | true または
false
デフォルト値：
false | |

JMSTestCommon

この要素は、実際には config.dtd または config.xml ファイルに入っています。ユーザはこれを変更できません。ただし、他の JMS 要素の属性用の格納場所になっています。この要素の属性は、JMSTestDestination、JMSTestQueue、JMSTestTemplate、および JMSTestTopic という、他の JMS 要素で共通のもので、これらは JMSTestCommon 要素から次に示す属性を継承しています。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|--|--|-------------------------------------|
| BytesMaximum | 送り先に一度に格納できる最大バイト数。-1 の値は、制限がないことを示す。 | -1、または n
$n = 0 \sim 2^{63} - 1$
$\geq \text{BytesThresholdHigh}$
デフォルト値: -1 | [サービス JMS テンプレート 最大バイト] |
| BytesThresholdHigh | bytesThresholdHigh の値。しきい値の条件が存在せず、送り先に格納されているバイト数がこの値を超えた場合、その条件が設定されてログメッセージが生成される。-1 の値はしきい値ログメッセージが無効であることを示す。 | -1、または n
$n = 0 \sim 2^{63} - 1$
$\leq \text{BytesMaximum}$
および
$> \text{BytesThresholdLow}$
デフォルト値: -1 | [サービス JMS テンプレート 最大バイトしきい値] |
| BytesThresholdLow | bytesThresholdLow の値。しきい値の条件が存在し、送り先に格納されているバイト数がこの値を下回った場合、その条件が消去されてログメッセージが生成される。-1 の値はしきい値ログメッセージが無効であることを示す。 | -1、または n
$n = 0 \sim 2^{63} - 1$
$< \text{BytesThresholdHigh}$
デフォルト値: -1 | [サービス JMS テンプレート 最小バイトしきい値] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------------|---|---|---|
| DeliveryModeOverride | <p>送り先に到着するすべてのメッセージに割り当てられる配信モードを、プロデューサによって指定された配信モードとは無関係に定義する。デフォルト値「No-Delivery」に設定すると、オーバーライドがなくなる。</p> <p>デフォルト値「No-Delivery」に設定すると、オーバーライドがなくなる。</p> | <p>Persistent
Non-Persistent
No-Delivery</p> <p>デフォルト値：
No-Delivery</p> | [サービス JMS テンプレート 配信モードのオーバーライド] |
| DestinationKey | <p>最上位から最下位の順に順序付けられた、送り先をソートするための送り先キーの配列。JMSMessageID をベースにしたキーは最後のキーだけになれる。</p> <p>注意： キーに JMSMessageID が定義されていない場合、キーは暗黙的に最後のキーと見なされ、ソート順序は「昇順」(先入れ先出し [FIFO]) に設定される。</p> | <p>JMSDestinationKeyMBean[] 値</p> <p>デフォルト値：なし</p> | |
| ErrorDestination | <p>再配信制限に達したメッセージのエラー送り先用の JMSDestinationMBean。エラー送り先が null の場合、メッセージは削除される。</p> | <p>JMSDestinationMBean[]</p> <p>デフォルト値：Null</p> | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console
のナビ
ゲーション |
|-----------------------|--|---|---|
| MessagesMaximum | 送り先に一度に格納できるメッセージの最大数。-1 に設定すると、制限がなくなる。 | -1 または n
$n = 0 \sim 2^{63} - 1$
$\geq \text{MessagesThresholdHigh}$
デフォルト値: -1 | [サービス
 JMS
テンプレート 最大
メッセージ] |
| MessagesThresholdHigh | 送り先に格納されるメッセージ数に基づいてログメッセージをトリガする上限しきい値。
-1 の値はしきい値ログメッセージが無効であることを示す。 | -1 または n
$n = 0 \sim 2^{63} - 1$
$\leq \text{MessagesMaximum}$
$> \text{MessagesThresholdLow}$
デフォルト値: -1 | [サービス
 JMS
テンプレート 最大
メッセージ
しきい値] |
| MessagesThresholdLow | しきい値の条件が存在し、送り先に格納されているメッセージ数がこの値を下回った場合、その条件が消去されてログメッセージが生成される。
-1 の値はしきい値ログメッセージが無効であることを示す。 | -1 または n
$n = 0 \sim 2^{63} - 1$
$< \text{MessagesThresholdHigh}$ | [サービス
 JMS
テンプレート 最小
メッセージ
しきい値] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値: なし | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |
| PriorityOverride | メッセージプロデューサによって指定された優先順位とは無関係に、送り先に到着するすべてのメッセージに割り当てられた優先順位。デフォルト値 -1 に設定すると、オーバーライドがなくなる。 | -1 または n
$n = 0 \sim 9$
デフォルト値: -1 | [サービス
 JMS
テンプレート 優先
順位オーバ
ライド] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console
のナビ
ゲーション |
|-------------------------|--|---|-------------------------|
| RedeliveryDelayOverride | コンシューマや接続ファクトリによって指定された再配信遅延とは無関係に、ロールバックメッセージや回復されたメッセージが再配信されるまでの遅延をミリ秒単位で定義する。デフォルト値 -1 に設定すると、オーバーライドがなくなる。 | -1 または n
$n = 0 \sim 2^{63} - 1$
デフォルト値: -1 | |
| RedeliveryLimit | メッセージがエラー送り先に配置されるまでのメッセージの再配信試行回数。この制限に達し、エラー送り先がコンフィグレーションされていない場合、またはエラー送り先の割り当て数を超過した場合、メッセージは削除される。

-1 に設定すると、制限がなくなる。 | -1 または n
$n = 0 \sim 2^{31} - 1$
デフォルト値: -1 | |
| TimeToDeliverOverride | プロデューサや接続ファクトリによって指定された配信予定時間とは無関係に、生成されたメッセージがターゲット送り先で表示可能になるまでの、ミリ秒単位の遅延。デフォルト値 -1 に設定すると、オーバーライドがなくなる。配信予定時間の値の実装の詳細については、『WebLogic JMS プログラマーズ ガイド』を参照。 | -1 以上の長精度整数 \geq
デフォルト値: -1 | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console
のナビ
ゲーション |
|--------------------|--|---|---|
| TimeToLiveOverride | プロデューサによって指定された存続時間とは無関係に、送り先に到着するすべてのメッセージに割り当てられる存続時間。デフォルト値 -1 に設定すると、オーバーライドがなくなる。 | -1 または n
$n = 0 \sim 2^{63} - 1$
デフォルト値: -1 | [サービス
 JMS
テンプレート 生存時間
オーバーライド] |

JMSDestination

この要素は、実際には「config.dtd」または「config.xml」のファイルに入っていません。ユーザはこれを変更できません。ただし、他の JMS 要素の属性用の格納場所になっています。この要素は、キューまたはトピックである、JMS 送り先を表します。JMSDestination は JMSDestCommon から属性を継承しています。JMSQueue 要素と JMSTopic 要素は JMSDestination から属性を継承します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|--------------|---|--------------------------|---------|
| JNDIName | 送り先の JNDI 名。この値は、JNDI ネームスペース内の送り先をルックアップする際に使用する名前である。指定されていない場合、送り先名は JNDI ネームスペース経由では通知されない。 | String | Null |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String | なし |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列 | Null |
| StoreEnabled | <p>JMS サーバで指定されたバッキングストアが送り先で使用されるかどうかを指定する文字列。</p> <p>この値によって次の場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ バッキングストアが定義されない場合の true — コンフィグレーションは起動に失敗する。 ■ false — 送り先は永続的メッセージをサポートしない (メッセージは非永続になる)。 ■ default — 指定されている場合、送り先はバッキングストアを使用する。 | true
false
default | default |

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|----------|--|--------------------|--------|
| Template | 送り先が派生されるテンプレート。この属性を指定しない場合、送り先用の属性を送り先の一部として指定する必要がある。

注意： デフォルト値に設定された属性は実行時にテンプレートから送り先値を継承する。 | JMSTemplateMBean[] | なし |

JMSDestinationKey

この要素は送り先をソートするために使うキーを表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|-----------|---|---|--|
| Direction | このキーをソートする方向。JMSMessageID に「Ascending」を選ぶと、先入れ先出し (FIFO) ソート順になる (送り先のデフォルト)。後入れ先出し (LIFO) ソート順を使うには、値を「Descending」に設定する。 | Ascending
Descending
デフォルト値:
Ascending | [サービス
JMS 送り先
キー ソート
順] |
| KeyType | このキーの所定のプロパティタイプ。 | Boolean
Byte
Short
Int
Long
Float
Double
String
デフォルト値:
String | [サービス
JMS 送り先
キー キー タ
イプ] |
| Name | MBean とキーの名前 (必須)。 | String
デフォルト値:
なし | [サービス
JMS 送り先
キー 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関して
ユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|----------|---|-------------------------|---|
| Property | <p>このキーのプロパティ名。この値はソートするメッセージプロパティ名を示す。ソートできるメッセージヘッダフィールド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ JMSCorrelationID ■ JMSDeliveryTime ■ JMSExpiration ■ JMSMessageID ■ JMSPriority ■ JMSRedelivered ■ JMSTimestamp ■ JMSType <p>メッセージヘッダフィールドキーが無視するのは、メッセージプロパティよりもキータイプと参照メッセージヘッダフィールドである。パフォーマンスを向上させるには、メッセージプロパティよりもメッセージヘッダフィールドをソートキーに使用するほうがよい。</p> | String
デフォルト値：
なし | [サービス
JMS 送り先
キー プロパ
ティ] |

JMSFileStore

この要素は、JMS ファイルベースのバックング ストアを表します。これは **JMSStoreMBean** を拡張したものです。ストアは単一の JMS サーバだけに関連付けられている可能性があります。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|-----------|---|--------|--------|
| Directory | ファイルベースのバックング ストアが存在するディレクトリ。 | String | なし |
| Name | MBean と ファイル ストア の名前。この名前は、ストア ファイル の名前のプレフィックスとして使う。 | String | なし |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列 | Null |

JMSJDBCStore

この要素は、JMS JDBC ベースのバッキング ストアを表します。これは JMSStore MBean を拡張したものです。ストアは単一の JMS サーバだけに関連付けられている可能性があります。ストアは単一の JMS サーバだけに関連付けられている可能性があります。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|----------------|---|---------------------------|--------|
| ConnectionPool | このバッキング ストア用の JDBC 接続プール。 | JDBCConnectionPoolMBean[] | なし |
| Name | MBean とストアの名前。 | String | なし |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列 | Null |
| PrefixName | このバッキング ストア内の JMS テーブルのプレフィックス名。ユニークなプレフィックスを指定すると、同一データベース内に複数のストアが存在できる。

この文字列のフォーマット次のとおりである。

[schema.[catalog.]]prefix

注意： 破損する可能性があるので、2 つの JMS ストアで同じデータベース テーブルは使用できません。 | String | なし |

JMSQueue

この要素は、JMS キューを表します。BytesMaximum、BytesThesholdLow、DeliveryModeOverride、Destinations、ErrorDestination、JNDIName、MessagesMaximum、MessagesThresholdHigh、MessagesThresholdLow、RedeliveryDelayOverride、StoreEnabled、Template、および TimeToLiveOverride といった、継承された要素属性については、3-65 ページの「JMSDestCommon」を参照してください。

JMSServer

この要素は、JMS サーバを表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|--|---|-------------------------------|
| BytesMaximum | JMS サーバ内に一度に格納できる最大バイト数。-1 に設定すると、制限がなくなる。 | 指定できる値 :-1 または n
$n=0 \sim 2^{63}-1$
\leq Bytes Threshold High
デフォルト値 : -1 | [サービス JMS サーバ 最大バイト数] |
| BytesThresholdHigh | JMS サーバに格納されるバイト数をベースにしたログメッセージをトリガする上限しきい値。-1 の値はしきい値ログメッセージが無効であることを示す。 | 指定できる値 :-1 または n
$n=0 \sim 2^{63}-1$
\leq Bytes Maximum
$>$ Bytes Threshold Low
デフォルト値 : -1 | |
| BytesThresholdLow | しきい値の条件が存在し、JMS サーバに格納されているバイト数がこの値を下回った場合、その条件が消去されてログメッセージが生成される。-1 の値はしきい値ログメッセージが無効であることを示す。 | 指定できる値 :-1 または n
$n=0 \sim 2^{63}-1$
$<$ Bytes Threshold High
デフォルト値 : -1 | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------------|---|---|--------------------------------|
| DeploymentOrder | <p>デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。</p> <p>DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。</p> | <p>最小値：
MIN_ORDER</p> <p>最大値：MAX_ORDER</p> <p>デフォルト値：1000</p> | |
| Destinations | JMS サーバの対象となる送り先の配列。 | JMSDestinationMBean[]
デフォルト値：なし | |
| MessagesMaximum | JMS サーバ内に一度に格納できる最大メッセージ数。-1 に設定すると、制限がなくなる。 | <p>指定できる値：-1 または n</p> <p>$n = 0 \sim 2^{63} - 1$</p> <p>\geq Messages Threshold High</p> <p>デフォルト値：-1</p> | [サービス JMS サーバ 最大メッセージ] |
| MessagesThresholdHigh | <p>MessagesThresholdHigh の値。しきい値の条件が存在せず、JMS サーバに格納されているメッセージ数がこの値を超えた場合、その条件が設定されてログメッセージが生成される。-1 の値はしきい値ログメッセージが無効であることを示す。</p> | <p>-1 または n</p> <p>$n = 0 \sim 2^{63} - 1$</p> <p>\leq Messages Maximum</p> <p>$>$ Messages Threshold Low</p> <p>デフォルト値：-1</p> | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------------|--|--|----------------------------|
| MessagesThresholdLow | MessagesThresholdLow の値。しきい値の条件が存在し、JMS サーバに格納されているメッセージ数がこの値を下回った場合、その条件が消去されてログメッセージが生成される。-1 の値はしきい値ログメッセージが無効であることを示す。 | -1 または n
$n = 0 \sim 2^{63} - 1$
< Messages Threshold High
デフォルト値: -1 | |
| Name | MBean と JMS サーバの名前。 | String
デフォルト値: なし | [サービス JMS サーバ 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |
| SessionPools | JMS サーバ用に定義されたセッション プールの配列。 | JMSSessionPoolMBean[]
デフォルト値: なし | |
| Store | JMS サーバの既存のバッキングストア用 MBean。永続的ストアは、1 つの JMS サーバによってのみ使用される。
ストアが何も設定されていない場合、JMS サーバは永続的メッセージまたは恒久サブスクライバをサポートできない。 | JMSStoreMBean または null
デフォルト値: Null | [サービス JMS サーバ ストア] |
| Targets | 潜在的対象のリストを提供する。現在、1 つの JMS サーバが 1 つの対象の最大値を持つことができる。 | TargetMBean[]
デフォルト値: 選択された対象はない | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------------|---|--|-----------------------------------|
| TemporaryTemplate | この JMS サーバにすべての一時送り先を作成するための既存の一時テンプレート用 MBean。一時送り先の属性は、このテンプレートから派生する。JMS サーバの一時的なテンプレートが定義されていない場合、一時送り先は JMS サーバには作成できない。 | JMSTemplateMBean[] または null
デフォルト値 : Null | [サービス JMS サーバ 一時的なテンプレート] |

JMSSessionPool

この MBean は、JMS セッション プールを表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|---------------------|--|---------------------------------------|--------|
| AcknowledgeMode | セッション プール内の非トランザクションセッションで使用される確認応答モード。
トランザクションセッションでは、セッションがコミットされたときにメッセージが自動的に確認応答され、このフィールドは無視される。 | Auto
クライアント
Dups-Ok
なし | Auto |
| ConnectionConsumers | セッション プール用の接続コンシューマの配列。 | JMSConnectionConsumerMBean[] | なし |
| ConnectionFactory | セッション プールで使用される接続ファクトリの JNDI 名。 | String | Null |
| ListenerClass | SessionPool のリスナ クラス。 | String | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String | なし |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列 | Null |
| SessionsMaximum | SessionPool の最大セッション数。この値はセッション プールにおける同時セッション数である。
-1 の値は、最大値がないことを示す。
この属性は動的である。 | -1 または n
$n = 1 \sim 2^{63} - 1$ | -1 |
| Transacted | セッション プールがトランザクションセッションを作成するかどうか。 | true または false | false |

JMSStore

この要素は、実際には「config.dtd」または「config.xml」のファイルに入っていません。ユーザはこれを変更できません。ただし、他の JMS 要素の属性用の格納場所になっています。この要素は JMS バックエンド ストアを表します。JMS バックエンド ストアは永続的データを格納するための物理的なリポジトリです。JMSFileStore 要素と JMSJDBCStore 要素は JMSStoreMBean によって異なります。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|-----------|---|------------------|--------|
| JMSServer | このストア用の JMS サーバ。 | JMSServerMBean[] | なし |
| Name | MBean と JMSStore の名前。 | String | なし |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列 | Null |

JMSTemplate

JMS テンプレートのリストを表します。BytesMaximum、BytesThesholdLow、DeliveryModeOverride、Destinations、ErrorDestination、JNDIName、MessagesMaximum、MessagesThresholdHigh、MessagesThresholdLow、RedeliveryDelayOverride、StoreEnabled、Template、および TimeToLiveOverride といった、継承された要素属性については、JMSTemplateCommon 要素を参照してください。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|--------------|--|----------------------------------|--------|
| Destinations | このテンプレートに依存する送り先に対する JMSTemplateCommonBean 値の配列。 | JMSTemplateCommonBean
MBean[] | なし |

JMSTopic

JMS 送り先のタイプです。この MBean は、JMSDestCommon の BytesMaximum、BytesThesholdLow、DeliveryModeOverride、Destinations、ErrorDestination、JNDIName、MessagesMaximum、MessagesThresholdHigh、MessagesThresholdLow、RedeliveryDelayOverride、StoreEnabled、Template、および TimeToLiveOverride といった属性からも継承しています。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|------------------|---|---------------|--------|
| MulticastAddress | 送り先によって使用されるマルチキャスト アドレス。マルチキャスト コンシューマにメッセージを送信するための整形形式の IP アドレス。 | 整形形式の IP アドレス | |
| MulticastPort | 送り先のマルチキャスト ポート。この値は、マルチキャスト コンシューマにメッセージを送信するために使用される IP ポートである。 | 1-65535 | 6001 |
| MulticastTTL | マルチキャスト メッセージの送信で許可されるネットワーク ホップ数。この値は、マルチキャストで使用する「存続時間」値であり、メッセージがコンシューマにたどり着くまでに通過できるルータの数を指定する。
1 の値はメッセージがルータを経由せず、1 つのサブネットに制限されることを示す。
この値は JMSExpirationTime の値には依存しない。
この属性は動的なコンフィグレーションができない。 | 0 ~ 255 | 1 |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String | なし |

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|-------|---|--------|--------|
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列 | Null |

JoltConnectionPool

この要素は、Jolt 接続プールを定義します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|---------------------|---|---|--------------------------------|
| ApplicationPassword | | | |
| DeploymentOrder | <p>デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。</p> <p>DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。</p> | <p>最小値：
MIN_ORDER</p> <p>最大値：
MAX_ORDER</p> <p>デフォルト値：
1000</p> | |
| FailoverAddresses | フェイルオーバー JSL アドレスのリスト。 | | [サービス Jolt フェイルオーバーアドレス] |
| MaximumPoolSize | | デフォルト値：
1 | |
| MinimumPoolSize | JCP 接続の初期数。 | デフォルト値：
0 | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値：
なし | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|---|---------------------------------------|------------------------------------|
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |
| PrimaryAddresses | プライマリ JSL アドレスのリスト。 | | [サービス Jolt プライマリアドレス] |
| RecvTimeout | | デフォルト値：
0 | |
| SecurityContextEnabled | | true または
false
デフォルト値：
false | [サービス Jolt セキュリティコンテキストを有効化] |
| Targets | このデプロイメントがデプロイされている対象。 | | |
| UserName | | | |
| UserPassword | ユーザ名のユーザのパスワード。 | | |
| UserRole | | | |

JTA

この要素は、JTA コンフィグレーション属性へのアクセスを提供します。ここで定義される属性は、ドメイン レベルの JTA コンフィグレーションに適用されます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------------------|--|-----------------------------------|---|
| AbandonTimeoutSeconds | トランザクション破棄タイムアウトの秒数。 | 秒単位の整数
デフォルト値：
86400 | [サービス JTA トランザクションを保持する最長時間] |
| BeforeCompletionIterationLimit | 登録されたオブジェクトの中で、トランザクションマネージャが beforeCompletion 同期化コールバックを実行するサイクルの最大数。 | Integer
デフォルト値：
10 | [サービス JTA beforeCompletion の反復上限] |
| ForgetHeuristics | トランザクションマネージャがトランザクションのヒューリスティックな終了に対して自動的に XAResource 無視処理を実行するかどうかを示す。 | true または false
デフォルト値：
true | [サービス JTA ヒューリスティックを無視] |
| MaxTransactions | サーバで許可される同時進行トランザクションの最大数。 | Integer
デフォルト値：
10000 | [サービス JTA 最大トランザクション数] |
| MaxUniqueNameStatistics | 保持する統計の対象となるユニークなトランザクション名の最大数。 | Integer
デフォルト値：
1000 | [サービス JTA ユニーク名の最大数] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|----------------|--|---------------------------|----------------------------------|
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値：
なし | |
| Notes | このコンフィグレーション
MBean に関してユーザが提供
する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |
| TimeoutSeconds | トランザクション タイムアウト
の秒数。 | Integer
デフォルト値：
30 | [サービス
JTA タイム
アウト秒数] |

LDAPRealm

この MBean は、LDAPRealm のコンフィグレーション プロパティを保持します。これは CachingRealmMBean に関連付けられます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | Console のナビゲーション |
|---------------|--|----------------------------|------------------|
| AuthProtocol | LDAP サーバの認証に使用する認証のタイプを定義する。次のいずれかに設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 認証なしの場合は None ■ パスワード認証の場合は Simple ■ 証明書認証の場合は CRAM-MD5 | none
simple
CRAM-MD5 | デフォルト値：
なし |
| Credential | Principal 属性に定義された LDAP ユーザを認証するパスワード。このパスワードは自動的に暗号化される。 | デフォルト値：
Null | |
| GroupDN | GroupNameAttribute 属性と組み合わせたときに、LDAP ディレクトリ内のグループをユニークに識別する属性のリスト。

この属性を指定するときには次のフォーマットを使用する。
ou=Group, u=acme.com | | |
| GroupsContext | LDAP ディレクトリにグループメンバーシップを記録する方法を指定する。各グループ エントリが 1 ユーザを含む場合は true に設定する。1つのグループ エントリが各グループメンバーの属性を含む場合は false に設定する。 | true または
false | デフォルト値：
true |

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|--|---------------|------------------------------------|
| GroupNameAttribute | LDAP ディレクトリ内のグループの名前。通常は共通名。 | デフォルト値：
cn | |
| GroupUsernameAttribute | グループ エントリ内でグループ メンバーを格納する属性の名前に対してこのプロパティを設定する。 | | [メンバ] |
| LdapProvider | LDAP ディレクトリ サーバを実装するクラスの名前。この属性で、Sun Microsystems 以外から提供された LDAP ディレクトリ サーバを使用できる。WebLogic Server は次の LDAP ディレクトリ サーバをサポートする。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Open LDAP ■ Netscape iPlanet ■ Microsoft Site Server ■ Novell NDS | | [com.sun.jndi.ldap.LdapCtxFactory] |
| LDAPURL | LDAP サーバの場所。URL を、LDAP サーバが実行されているコンピュータの名前と LDAP サーバがリスンしているポートの番号に変更する。SSL プロトコルを使用して WebLogic Server を LDAP サーバと接続する場合は、URL に LDAP サーバの SSL ポートを指定する。 | | [ldap://ldapserver:389] |
| Name | LDAP セキュリティ レalm属性用の MBean の名前 (必須)。 | String | LDAPRealmMBean |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列 | Null |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | Console のナビゲーション |
|----------------|--|----------------|--------------------------|
| Principal | WebLogic Server が LDAP サーバとの接続に使用する LDAP ユーザの識別名 (Distinguished Name: DN)。このユーザは LDAP ユーザおよびグループをリストできなければならない。 | | Null |
| RealmClassName | LDAP セキュリティレルムを実装する Java クラスの名前。このクラスは WebLogic Server の CLASSPATH に入っていないなければならない。 | | [セキュリティ レルム レルムクラス名] |
| SSLEnable | LDAP サーバと WebLogic Server との通信を保護するために SSL プロトコルを使用できるようにする。次のガイドラインに留意する。 <ul style="list-style-type: none">■ LDAP サーバが SSL プロトコルを使用するようにコンフィグレーションされていない場合は、この属性を無効化する。■ UserAuthentication 属性を external に設定した場合は、このフィールドを有効化しなければならない。 | true または false | false |

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|--|---------------------------|------------------|
| UserAuthentication | <p>ユーザに通信の権限を許可するか、拒否するかの方法を決定する。この属性を次のいずれかの値に設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Bind – LDAP セキュリティ レalm が LDAP サーバからパスワードなどのユーザ データを取得し、WebLogic Server でそのパスワードをチェックする。 ■ External – LDAP セキュリティ レalm が、WebLogic Server クライアントから提供されたユーザ名とパスワードで LDAP サーバをバインドすることでユーザを認証する。External に設定した場合は、SSL プロトコルを使用しなければならない。 ■ Local – LDAP セキュリティ レalm が、LDAP ディレクトリ内の UserPassword プロパティをロックアップし、WebLogic Server 内のパスワード群に UserPassword 値があるかどうかをチェックすることでユーザを認証する。 | bind
external
local | bind |
| UserDN | <p>UserNameAttribute 属性内の属性と組み合わせたときに LDAP ディレクトリ内のユーザをユニークに識別する属性のリスト。</p> <p>この属性を指定するときには次のフォーマットを使用する。
 <code>ou=Barb.Klock, u=acme.com</code></p> | | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | Console のナビゲーション |
|-----------------------|--|--------|------------------|
| UserNameAttribute | LDAP ディレクトリ用のユーザのログイン名。この属性の値には LDAP ディレクトリ内のユーザの普通の名前を使用できるが、一般にはユーザ ID などの短縮した文字列を使用する。 | | |
| UserPasswordAttribute | userAuthenticationProperty が「local」に設定された場合、このプロパティは LDAP ユーザ オブジェクトのどのプロパティにユーザのパスワードが含まれるのかを見つけるために使われる。 | | [userpassword] |

Log

ログ ファイルの機能を定義します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|--------------|--|--|--|
| FileCount | | デフォルト値:
7 | |
| FileMinSize | | デフォルト値:
500 | [サーバ
<i>servername</i>
ログ ロー
テーション
最小ファイル
サイズ] |
| FileName | ログ ファイル名。ファイルパスが絶対パスではない場合、パスはサーバが稼働しているマシン上のルートディレクトリを基準にした相対パスであると見なされる。 | パス名とファイル名
デフォルト値:
/config/domainname/logs/weblogic.log | [サーバ
<i>servername</i>
ログ 一般
<i>logfile</i>] |
| FileTimeSpan | | デフォルト値:
24 | [サーバ
<i>servername</i>
ログ ロー
テーション
ファイル ロー
テーション間
隔] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値:
なし | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------------|---|---|---|
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |
| NumberOfFilesLimited | | true または false
デフォルト値:
false | [サーバ <i>servername</i> ログ ローテーション ファイル数の制限] |
| RotationType | このログ ファイルのローテーションタイプ。 | bySize、byTime、または none
デフォルト値:
none | [サーバ <i>servername</i> ログ ローテーション ローテーションタイプ] |

Machine

この MBean はサーバが起動されるマシンを表します。サーバは `ServerMBean.setMachine()` を呼び出すことで、マシンにバインドされます。一般的に 1 つの `MachineMBean` が 1 つの物理的なマシンを表し、1 つの物理的なマシンが 1 つの `MachineMBean` を表しますが、複数の `MachineMBean` で表す 1 つのマルチホーム マシンを持つことも可能です。唯一の制限事項は、それぞれの `MachineMBean` がオーバーラップしないアドレスでコンフィグレーションされることです。

1 つのコンフィグレーションには、論理名でルックアップされる 1 つまたは複数の `MachineMBean` がある可能性があります。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|------------|--|--------|--------|
| Addresses | マシンが認知されるアドレス。 | | |
| Name | MBean の名前。 | String | なし |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列 | Null |
| StartdPort | startd がこのマシンで稼働するようにコンフィグレーションされたポート番号。 | | |

MailSession

MailSession リソース マネージャ接続ファクトリ用の MBean です。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|-----------------|---|---------------------------------------|-------------------------------|
| DeploymentOrder | <p>デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。</p> <p>DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。</p> | デフォルト値:
1000 | |
| JNDIName | | | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値:
MailSessionMBean | [サービス
メール 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |
| Properties | | | [サービス
メール プロ
パティ] |
| Targets | このデプロイメントがデプロイされる対象。 | | |

MessagingBridge

この MBean は、メッセージングブリッジを定義します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|---------------------------------|---|--|-----------|
| AsyncDisabled | | true または
false | false |
| DeploymentOrder | <p>デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。</p> <p>DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。</p> | 最小値：
MIN_ORDER
最大値：
MAX_ORDER | 1000 |
| DurabilityDisabled | | true または
false | false |
| ForwardingPolicy | | Automatic
Manual
Scheduled | Automatic |
| MaximumIdleTime
Milliseconds | | | 60 |
| Name | MBean の名前。 | String | なし |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列 | Null |
| QOSDegradationAllowed | | true または
false | false |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|-----------------------------------|----|---|--------------|
| QualityOfService | | Exactly-once
Atmost-once
Duplicate-okay | Exactly-once |
| ReconnectDelayIncrement | | | 10000 |
| ReconnectDelayInitialMilliseconds | | | 50000 |
| ReconnectDelayMaximumMilliseconds | | | 500000 |
| ScheduleTime | | | |
| Selector | | | |
| SourceDestination | | | |
| TargetDestination | | | |
| Targets | | | |
| TransactionTimeoutSeconds | | | 30 |

NodeManager

この MBean はマシンに関連付けられた NodeManager を表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲー
ション |
|---------------------|--|--|----------------------|
| Certificate | | デフォルト値：
config/mydom
ain/sslrsa.c
rt | |
| CertificatePassword | | デフォルト値：
password | |
| CertificateType | | デフォルト値：
RSA | |
| ListenAddress | | デフォルト値：
localhost | |
| ListenPort | | デフォルト値：
5555 | |
| Logs | | | |
| Name | MBean の名前（必須）。 | String
デフォルト値：
なし | |
| Notes | このコンフィグレーション
MBean に関してユーザが提供
する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | Null |
| TrustedCertsFile | | デフォルト値：
config/mydom
ain/trusted.
crt | |

NTRealm

この MBean は、NT レルムのコンフィグレーションプロパティを保持します。
この MBean は、CachingRealmMBean に関連付けられます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|----------------|--|--------|--------------------|
| Name | WindowsNT SecurityRealm 属性用の MBean の名前（必須）。 | String | NTRealmMBean |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列 | Null |
| PrimaryDomain | ドメイン用にユーザとグループが定義された Windows NT Primary Domain Controller のホストおよびポート番号。ホストとポート番号を複数入力する場合は、カンマで区切る。ローカルコンピュータ（WebLogic Server が稼働する場所）が Primary Domain Controller である場合、プロパティをピリオド（「.」）に設定できる。 | | Null |
| RealmClassName | WindowsNT セキュリティレルムを実装する Java クラスの名前。この属性は読み込み専用である。 | | [セキュリティレルムレルムクラス名] |

PasswordPolicy

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|--------------------|---|--------------------------------------|--|
| LockoutCacheSize | 試行しなかったログインと試行した無効なログインのキャッシュ サイズを指定する。 | 1-99999
バイト単位
デフォルト値:
5 | [セキュリティ
 パスワード
 ロックアウ
ト キャッシュ
サイズ] |
| LockoutDuration | LockoutRestDuration 属性で指定された時間内に無効なログインが一定回数以上繰り返されたためにユーザ アカウントがロックされてから、ユーザ アカウントにアクセスできるようになるまでの時間 (単位:分)。ユーザ アカウントのロックを解除するには、PasswordPolicy に unlockuser パーミッションが必要である。 | 0-999999
(単位:分)
デフォルト値:
30 | [セキュリティ
 パスワード
 ロックアウ
ト 遅延] |
| LockoutEnabled | WebLogic Server が無効なログイン試行を追跡し、適切なアクションを取るかどうかを制御する。 | true または
false
デフォルト値:
true | [セキュリティ
 パスワード
 ロックアウ
ト 有効化] |
| LockoutGCThreshold | 現在の無効なログイン試行の数がこの属性と同じかそれよりも多い場合、WebLogic Server は期限切れとなったレコードをキャッシュから削除する。この属性の値が小さければ小さいほど、WebLogic Server は WebLogic Server のパフォーマンスに影響を与えるキャッシュをより頻繁に消去する。属性は状況に応じて設定される。 | 0-99999
デフォルト値:
400 | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|-----------------------|--|---|---------------------------------------|
| LockoutResetDuration | <p>ユーザのアカウントをロックするために無効なログイン試行を発生させる必要のある時間数（単位：分）。</p> <p>Lockout Threshold 属性に定義された無効なログインの試行回数が、このフィールドに定義された時間内に行われた場合、アカウントはロックされる。たとえば、このフィールドの値が5分で、6分間に3回ログインが失敗した場合、アカウントはロックされない。しかし、5分以内に5回の無効なログインが繰り返された場合、アカウントはロックされる。</p> | 1 ~ 99,999 (分)
デフォルト値：
5 | [セキュリティ
 パスワード
 ロックアウトリセット遅延] |
| LockoutThreshold | <p>アカウントがロックされるまでユーザが試行できる失敗ログインの数。この回数を超えてログインを試みると、(ユーザ名/パスワードの組み合わせが正しい場合でも)セキュリティ例外が発生して、アカウントがロックアウトされる。その場合、システム管理者が明示的にロックを解除するか、またはロックアウト遅延時間が終了するまで、アカウントはロックされたままとなる。ただし、LockoutThreshold 属性の値をカウントするために、無効なログインが Lockout Reset Duration 属性で定義された時間内に繰り返す必要があることに注意する。</p> | 1 ~ 99,999 (試行回数)
デフォルト値：
5 | [セキュリティ
 パスワード
 ロックアウトしきい値] |
| MinimumPasswordLength | ドメインのパスワードの最小文字数。パスワードは8文字以上でなければならない。 | Integer ≥ 8 (文字)
デフォルト値：
8 | [セキュリティ
 パスワード
 最小パスワード文字数] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|-------|---|--|--------|
| Name | パスワードポリシー属性用の MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値:
PasswordPolicy
MBean | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |

RDBMSRealm

この MBean は、RDBMS レルムのコンフィグレーションプロパティを保持します。この MBean は、CachingRealmMBean に関連付けられます。RDBMSRealm の MBean はハードコート化されており、製品の一部となっています。RDBMSRealm の残りの部分は、ユーザが自由に変更できるサンプルです。ただし、それらはこの MBean のコンフィグレーションパラメータの中に存在しなければなりません。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|------------------|--|---|--------|
| DatabaseDriver | RDBMS セキュリティレルムで使用されるデータベースドライバ用の Java クラス名。 | デフォルト値：
COM.cloudscape
.core.JDBCDriver | |
| DatabasePassword | データベースにログインするために使われるパスワード。パスワードは自動的に暗号化される。 | | |
| DatabaseURL | データベースの場所。URL を、データベースが実行されているコンピュータの名前とデータベースがリスンしているポートの番号に変更する。 | デフォルト値：
jdbc:cloudscape | |
| DatabaseUserName | データベースにログインするために使われるユーザ名を指定する。 | | |
| Name | RDBMS セキュリティレルム用の MBean の名前（必須）。 | String
デフォルト値：
RDBMSRealmMBean | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：Null | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|------------------|--|--|-----------------------------|
| RealmClassName | RDBMS セキュリティ レalmを実装する Java クラスの名前。このクラスは WebLogic Server の CLASSPATH に入っていないなければならない。 | デフォルト値：
examples.security.rdbmsrealm.RDBMSRealm | [セキュリティ レalm レalm クラス名] |
| SchemaProperties | データベースを取り扱うスキーマ プロパティを指定する。 | | |

Realm

この MBean は、SecurityMBean のレルム プロパティを表します。これは次のものを含んでいます。

- 必須 FileRealm 用のコンフィグレーション パラメータ。
- 省略可能 CachingRealm 用のコンフィグレーション パラメータ。
- ユーザ、グループ、ACL、およびパーミッションを管理するメソッド。

RealmMBean は ConfigurationMBean を拡張したものです。FileRealm 以外のレルムが使用されている場合、そのレルムを CachingRealmMBean にアタッチし、CachingRealmMBean を RealmMBean にアタッチすることで指定されます。null 以外の場合、代替レルムが使われ、null の場合、FileRealm だけが使われます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|------------------|--|------------------------|----------------------------|
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値: なし | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |
| ResultsBatchSize | users/groups/acls を返すためにバッチサイズ (rpc ごとの users/groups/acls の数) を指定する。この目的は user/group/acl ごとに 1 つの rpc を持つこと、または、メモリを使いすぎる 1 つの非常に大きな rpc を持つことを避けることである。 | 0 ~ n
デフォルト値: 200 | [セキュリティ 詳細設定 結果バッチサイズ] |

Security

この MBean は、ドメイン全体のセキュリティ プロパティを表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|---|---|----------------------------|
| AuditProviderClassName | 監査プロバイダを実装する Java クラスの名前。監査プロバイダは <code>weblogic.security.audit.AuditProvider</code> インタフェースの実装である。 | デフォルト値: Null | [セキュリティ 一般 監査プロバイダクラス] |
| GuestDisabled | <code>guest</code> ログインが WebLogic Server のリソースとサービスをアクセスするのに使えるかどうかを設定する。 | <code>true</code> または <code>false</code>
デフォルト値: <code>true</code> | [セキュリティ 一般 ゲスト不可] |
| Name | セキュリティ プロパティ用の MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値: SecurityMBean | |
| Notes | SecurityMBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |
| PasswordPolicy | | | |
| Realm | | | |
| SystemUser | システム ユーザの名前。この属性は必ず指定する。 | String
デフォルト値: system | |

Server

このクラスは、WebLogic Server を表します。WebLogic Server は、J2EE アプリケーションのコンテナである Java プロセスです。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|--|---------------------------|--|
| AdministrationPort | | 有効な管理ポート
デフォルト値:
0 | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
一般 管理
ポート] |
| Cluster | このサーバが所属するクラスタ。 | | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
クラスタ ク
ラスタ] |
| ClusterRuntime | このコンフィグレーション MBean から開始されたクラスタに関する実行時情報が格納されている MBean を返す。そのようなクラスタが存在しない場合は null を返す。 | | [サーバ
<i>servername</i>] |
| ClusterWeight | このサーバのクラスタにおける重み（パーセント）を設定する。 | Integer
デフォルト値:
100 | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
クラスタ ク
ラスタの重み] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|-----------------------|----------------------------------|--|--|
| DefaultIOPPassword | デフォルト IOP ユーザのパスワード。 | デフォルト値:
guest | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
プロトコル
デフォルト
IOP パスワード] |
| DefaultIOPUser | デフォルト IOP ユーザ。 | デフォルト値:
guest | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
プロトコル
デフォルト
IOP ユーザ] |
| DefaultProtocol | 何も指定されていないときに接続に使用されるプロトコル。 | t3、t3s、http、
https、または
iiop
デフォルト値:
t3 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
プロトコル
デフォルト
プロトコル] |
| DefaultSecureProtocol | 何も指定されていないときにセキュアな接続に使用されるプロトコル。 | t3s または https
デフォルト値:
t3s | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
プロトコル
デフォルト
セキュア
プロトコル] |
| DefaultTGIOPPassword | | デフォルト値:
guest | [サーバ
servername] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|---------------------|---|--------------------------------------|--|
| DefaultTGIOPUser | | デフォルト値:
guest | [サーバ
<i>servername</i>] |
| DomainLogFilter | | デフォルト値:
なし | [サーバ
<i>servername</i>
ログ ドメイン ドメイン
ログ フィルタ] |
| EnabledForDomainLog | | true または
false
デフォルト値:
true | [サーバ
<i>servername</i>
ログ ドメイン ドメイン
ログファイル
にログを書き
込む] |
| ExpectedToRun | ドメインを開始するとき
このサーバを実行するかど
うかを指定する。 | true または
false
デフォルト値:
true | [サーバ
<i>servername</i>] |
| ExtraRmicOptions | サーバサイド生成中に
RMIC に渡される追加のオ
プション。 | | [サーバ
<i>servername</i>] |
| HelpPageURL | | デフォルト値:
/docs/admin/
help | [サーバ
<i>servername</i>] |
| HttpdEnabled | | true または
false
デフォルト値:
true | [サーバ
<i>servername</i>] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|----------------------------------|--|--------------------------------|--|
| IIOPEnabled | IIOPEnabled サポートを有効にするかどうかを設定する。 | true または false
デフォルト値: true | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
プロトコル
IIOPEnabled の有効化] |
| IdleIIOPEnabledConnectionTimeout | サーバにクローズされるまで IIOPEnabled 接続がアイドル状態で待機可能な最長時間 (秒単位) を指定する。この属性は、オープンされた接続が多すぎるためにサーバのデッドロックが発生するのを防ぐのに役立つ。 | 最小値: 0
デフォルト値: 60 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
プロトコル
IIOPEnabled の有効化] |
| InstrumentStackTraceEnabled | true に設定すると、例外メッセージにサーバサイドのスタックトレースが含まれる。 | true または false
デフォルト値: true | [サーバ
servername
スタック
トレースのログ
出力] |
| InterfaceAddress | | | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
クラスタ イ
ンターフェイ
スアドレス] |
| JavaCompiler | | デフォルト値:
javac | [サーバ
servername] |
| JavaCompilerPostClassPath | | | [サーバ
servername] |
| JavaCompilerPreClassPath | | | [サーバ
servername] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------------------------|--|---------------------------------|--|
| JDBCLogFileName | | | [サーバ <i>servername</i>] |
| JDBCLoggingEnabled | Java Database Connectivity (JDBC) ログイングをオンまたはオフにする。WebLogic Server が発行している JDBC 文の種類を知るには非常に有用である。ログファイル <i>jdbcxxxx.log</i> は通常、 <i>weblogic.Root</i> ディレクトリに置かれる (このディレクトリに書き込みパーミッションがあることを確認すること)。 | true または false
デフォルト値: false | [サーバ <i>servername</i>] |
| JMSDefaultConnectionFactoriesEnabled | | true または false
デフォルト値: true | [サーバ <i>servername</i> サービス JMS デフォルト JMS 接続ファクトリを有効化] |
| JMSThreadPoolSize | | デフォルト値: 15 | [サーバ <i>servername</i> サービス JMS JMS スレッドプールサイズ] |
| JNDITransportableObjectFactoryList | | | [サーバ <i>servername</i>] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|----------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|--|
| ListenAddress | | | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
一般 リス
ン
アドレス] |
| ListenDelaySecs | | デフォルト値:
0 | [サーバ
<i>servername</i>] |
| ListenPort | サーバのリスン ポート。 | デフォルト値:
7001 | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
一般 リス
ン
ポート] |
| LoginTimeout | サーバのログイン タイムアウト。 | ミリ秒単位。
デフォルト値:
1000 | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
チューニング
 ログイン
タイムアウト] |
| LoginTimeoutMillis | ログインが失敗するまでの待ち時間。0 の場合は無効になる。 | デフォルト値:
5000 | [サーバ
<i>servername</i>] |
| LogRemoteExceptionsEnabled | リモート例外がログに報告されるかどうかを設定する。 | true または
false
デフォルト値:
false | [サーバ
<i>servername</i>] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------------------|--|-----------------------------------|---|
| Machine | このサーバが実行されるマシン。サーバが既に実行されている場合、別のマシンに移される。既にこのサーバが実行されているマシンと同じマシンを指定した場合、これはノーオペレーション命令となる。 | | [サーバ <i>servername</i> コンフィグ レーション 一般 マシン] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値:
なし | [サーバ <i>servername</i> コンフィグ レーション 一般 名前] |
| NativeIOEnabled | ネイティブ I/O を有効にすべきかどうかを設定する。 | true または false
デフォルト値:
true | [サーバ <i>servername</i> コンフィグ レーション チューニング ネイティブ IO を有効化] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | [サーバ <i>servername</i> メモ] |
| PreferredSecondaryGroup | サーバのセカンダリのレプリケーショングループ。 | | [サーバ <i>servername</i> コンフィグ レーション クラスタ セカンダリ プリファレンス グループ] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|--|---------------------------------------|--|
| ReplicationGroup | サーバのレプリケーショングループ。 | | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
クラスター
レプリケーシ
ョングループ] |
| ReverseDNSAllowed | カーネルが DNS のリバースルックアップの実行を許可されているかどうかを返す。 | true または
false
デフォルト値:
false | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
チューニング
 許可された
リバース DNS] |
| RootDirectory | このサーバの WebLogic のルート ディレクトリ。 | | [サーバ
servername] |
| StdoutDebugEnabled | サーバの動作の詳細表示を許可する。
StdoutDebugEnabled が true、StdoutEnabled が true、かつ
StdoutSeverityLevel が 64 である場合、通常 weblogic.log に入るメッセージはすべて、 WebLogic Server を起動した画面に表示される。 | true または
false
デフォルト値:
false | [サーバ
servername
ログ 一般
Stdout ヘデバツ
グ情報出力] |
| StdoutEnabled | ログ メッセージが標準出力ストリームに記録されるかどうかを決定する。
StdoutSeverityLevel および
StdoutDebugEnabled をオーバーライドする。 | true または
false
デフォルト値:
true | [サーバ
servername
ログ 一般
Stdout ヘログ出
力] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------------------|---|---|---|
| StdoutSeverityLevel | <p>標準出力デバイス ストリームにロギングすべきメッセージの重要度の最低レベル。指定した重要度より高い重要度が設定されたメッセージが通過する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 64 (INFO) ■ 32 (WARNING) ■ 16 (ERROR) ■ 8 (NOTICE) ■ 4 (CRITICAL) ■ 2 (ALERT) ■ 1 (EMERGENCY) <p>注意： 数値の低い方が重要度は高くなる。
StdoutDebugEnableded および StdoutEnabled も参照。</p> | <p>64、32、16、8、4、2、1
デフォルト値：16</p> | <p>[サーバ <i>servername</i> ログ 一般 Stdout 重大度しきい値]</p> |
| TGIOPEnabled | | <p>true または false
デフォルト値：true</p> | <p>[サーバ <i>servername</i>]</p> |
| ThreadPoolPercentSocketReaders | <p>ソケット リーダーとして使用できる実行スレッドのパーセンテージ (1 ~ 99)。</p> | <p>1 ~ 99 のパーセント単位の値。
デフォルト値：33</p> | <p>[サーバ <i>servername</i> コンフィグレーション チューニング ソケットリーダー]</p> |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------------------|---|---------------------------------------|---|
| TransactionLogFilePrefix | | デフォルト値：
/ | [サーバ
servername] |
| TunnelingClientPingSecs | HTTP トンネリング クライアントがまだ応答しているかどうかを ping する間隔 (単位: 秒)。 | (単位: 秒)
デフォルト値：
45 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
チューニング
 トンネリン
グ クライアン
ト Ping] |
| TunnelingClientTimeoutSecs | 見つからない HTTP トンネリング クライアントを応答なしとみなしてからの間隔 (単位: 秒)。 | (単位: 秒) デ
フォルト値: 40 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
チューニング
 トンネリン
グ クライアン
ト タイムアウ
ト] |
| TunnelingEnabled | HTTP を介したトンネリングを有効にする。 | true または
false
デフォルト値：
false | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
チューニング
 トンネリン
グを有効化] |
| ValidProtocols | このカーネルでサポートされるプロトコルの集合。結果は文字列対文字列のマップで表される。キーはプロトコル名、値はプロトコルの説明。セキュアプロトコルと非セキュアプロトコルの両方が含まれる。 | | [サーバ
servername] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------------------|---|---------------------------------|---|
| VerboseEJBDeploymentEnabled | | true または false
デフォルト値: false | [サーバ <i>servername</i>] |
| WorkspaceShowUserKeysOnly | ユーザが挿入したアイテムを WebLogic コンソールで表示するかどうかを設定する。 | true または false
デフォルト値: false | [サーバ <i>servername</i> コンフィグレーション チューニング ワークスペース ユーザのキーのみを表示] |
| XMLEntityCache | | | [サーバ <i>servername</i>] |
| XMLRegistry | サーバの XML レジストリを返す。 | | [サーバ <i>servername</i> サービス XML XML レジストリ] |
| ZACEnabled | Zero Admin Client (ZAC) 機能を有効にするかどうかを設定する。 | true または false
デフォルト値: true | [サーバ <i>servername</i>] |
| ZACPublishRoot | WebLogic の ZAC パッケージのルート (格納) ディレクトリ。 | デフォルト値: exports | [サーバ <i>servername</i>] |

ServerStart

この要素は、リモートマシン上のサーバを起動するために必要な属性をコンフィグレーションするために使います。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------|---|------------------------|---|
| Arguments | | | [サーバ <i>servername</i> コンフィグレーション リモートスタート 引数] |
| ClassPath | | | [サーバ <i>servername</i> コンフィグレーション リモートスタート クラスパス] |
| DebugFlags | | | [サーバ <i>servername</i> コンフィグレーション 起動 デバッグフラグ] |
| Name | | | |
| Notes | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値: なし | |
| OutputFile | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値と
デフォルト値 | Console のナビ
ゲーション |
|--------------------|----|-------------------|---|
| SecurityPolicyFile | | | [サーバ
<i>servername</i> コ
ンフィグレーション リモート ス
タート セキュリ
ティポリシー ファ
イル] |

ShutdownClass

ClassDeploymentMBean を拡張したものです。

| 属性 | 説明 | 指定できる値と
デフォルト値 | Console のナビ
ゲーション |
|-----------|--|--------------------------|-------------------------------|
| Auguments | | | [デプロイメント
 起動と停止 引
数] |
| ClassName | | | |
| Name | MBean の名前。 | String
デフォルト値: な
し | [デプロイメント
 起動と停止 引
数] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean
に関してユーザが提供する省略可能
な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |
| Targets | このデプロイメントがデプロイされ
る対象を返す。 | | |

SNMPAgent

SNMP Agent Configuration を表す要素です。SNMP Agent MBean は、SNMP Agent Configuration のシングルトンであり、他のどのようなコンフィギュレーションにも属しません。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|--|---|--|
| CommunityPrefix | <p>この文字列は <code>SNMPCommunityName</code> の形式で使用する。これは SNMP マネージャとの通信を認証するテキストパスワードとして機能する。SNMP マネージャによって送信されたコミュニティプレフィックスは、この属性でコンフィギュレーションされた値に一致する必要がある。一致しない場合、SNMP エージェントは要求者にエラーを返す。</p> <p>SNMP マネージャは、次の 3 つの形式のうちの 1 つを使って WebLogic Server SNMP エージェントにコミュニティ名文字列を送信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <code>community_prefix@server_name</code>
- エージェントは指定された管理対象サーバにだけデータを返す。 ■ <code>community_prefix@domain_name</code>
- エージェントはドメイン内のすべてのサーバにデータを返す。 ■ <code>community_prefix</code>
- エージェントは管理サーバ用のデータだけを取り出す。 | <p>String</p> <p>デフォルト値：
public</p> | <p>[サービス
SNMP コミュニティプレフィックス]</p> |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------|--|---|---------------------------|
| DebugLevel | <p>0 から 3 までの整数値。ゼロ (0) の場合、デバッグ メッセージは生成されない。ゼロよりも大きな場合、重要度の数値が高くなるにつれ、より詳細なデバッグ メッセージが生成される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 0 = デバッグなし ■ 1 = 致命的 ■ 2 = 重要 ■ 3 = 重要ではない | <p>0、1、2、3
デフォルト値：0</p> | [サービス SNMP デバッグレベル] |
| Enabled | <p>true の場合、SNMP Service が有効になる。デフォルトは false である。SNMP Service は SNMP エージェント機能を提供し、管理サーバの一部である。エージェントはドメインのすべての WebLogic Server リソースをモニタする。このリリースでは、コンフィグレーションの変更が有効になるように、管理サーバを再起動する必要がある。</p> | <p>true または false
デフォルト値：
false</p> | [サービス SNMP 有効化] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|---------------------------------|---|-------------------------------------|---------------------------------|
| MIBDataRefreshInterval | SNMP エージェントは、SNMP マネージャからのリクエストにตอบสนองして WebLogic Server 属性の現在の値を取得する GET は行わない。その代わりに、すべての属性値のキャッシュを保持して、このキャッシュから属性値を取得することによって、マネージャのリクエストにตอบสนองする。MIBDataRefreshInterval は、SNMP エージェントがキャッシュの完全な更新を行う秒単位の間隔である。更新を行うときに、WebLogic Server SNMP MIB に表記された WebLogic Server 属性すべてに対して GET を行う。 | 30 ~ 65,535 (単位: 秒)
デフォルト値: 120 | [サービス SNMP MIB データの更新間隔] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |
| ServerStatusCheckIntervalFactor | ゼロよりも大きな整数値。SNMP エージェントは、この数値に MIBDataRefreshInterval を乗算して、ドメイン内の管理対象サーバの起動と終了をチェックする頻度を決定する。エージェントは MIB キャッシュからこの値を取得する。ServerStatusCheckIntervalFactor が 1 の場合、WebLogic Server SNMP エージェントは、MIBDataRefreshInterval で定義された間隔で管理対象サーバが起動するか終了するかをチェックする。 | 1 ~ 65,535 の整数 (単位: 秒)
デフォルト値: 1 | [サービス SNMP サーバ状態チェック間隔係数] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------|---|-------------------------------|----------------------------------|
| SNMPPort | WebLogic Server SNMP エージェントが SNMP マネージャから入ってくるリクエストをリスンするポート。 | 1 ~ 65,535 の整数
デフォルト値: 161 | [サービス
SNMP SNMP
ポート] |

SNMPAttributeChange

このクラスは、MBean 属性の変更トラップを受信する設定を記述します。
SNMPAttributeChangeMBean は SNMPTrapSourceMBean を拡張したものです。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|--------------------|---|-----------------|---|
| AttributeMBeanName | | String または null | [サービス SNMP トラップ SNMP 属性の変更 MBean 属性名] |
| AttributeMBeanType | | String または null | [サービス SNMP トラップ SNMP 属性の変更 MBean 属性タイプ] |
| AttributeName | | String または null | [サービス SNMP トラップ SNMP 属性の変更 属性名] |
| EnabledServers | トラップを作成できる WebLogic Server のリスト。サーバが指定されていない場合、トラップは生成されない。config.xml でこの属性を指定する構文は次のとおりである。
ServersEnabled="Server1, Server2" | 有効にするサーバの名前。 | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|-------|--|---------------------------|--|
| Name | MBean の名前 (必須)。 | | [サービス
SNMP ト
ラップ
SNMP 属性の
変更 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション
MBean に関してユーザが提供
する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |

SNMPCounterMonitor

このクラスは、カウンタベースのモニタの基準を記述しています。この基準が満たされたときにトラップが生成されます。SNMPCounterMonitorMBean は SNMPJMXMonitorMBean を拡張したものです。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|---|------------------------|---|
| EnabledServers | トラップを作成できる WebLogic Server のリスト。サーバが指定されていない場合、トラップは生成されない。config.xml でこの属性を指定する構文は次のとおりである。
ServersEnabled="Server1, Server2" | | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP カウンタ モニタ 有効なサーバ] |
| Modulus | Modulus 値。カウンタが最大値まで循環できる場合、modulus を指定する必要がある。modulus は、カウンタがゼロにリセットされる値である。 | 0 ~ n の整数
デフォルト値: 0 | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP カウンタ モニタ 係数] |
| MonitoredAttributeName | JMX Monitor がモニタする属性の名前。 | String または null | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP カウンタ モニタ モニタする属性名] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|---|---------------------------|--|
| MonitoredMBeanName | JMX Monitor を設定する MBean の名前。 | String または null | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP カウンタ モニタする MBean 名] |
| MonitoredMBeanType | JMX Monitor を設定する MBean のタイプ。 | String または null | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP カウンタ モニタする MBean タイプ] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP カウンタ モニタする MBean 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |
| Offset | オフセット値。比較レベルに達したカウンタ値によってしきい値がトリガされるときはいつも、その比較レベルはオフセット値分だけ増加する。 | 0 ~ n の整数
デフォルト値:
0 | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP カウンタ オフセット] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|-------------------------------|--------------------------------------|--|
| PollingInterval | モニタ時間間隔 (単位: 秒)。 | 10 ~ 65,535 の整数 (単位: 秒)
デフォルト値: 0 | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP カウンタ モニタ ポーリング 間隔] |
| Threshold | 属性のしきい値。この値に到達すると、トラップが生成される。 | 0 ~ n の整数
デフォルト値: 0 | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP カウンタ モニタ しきい値] |

SNMPGaugeMonitor

このクラスは、ゲージベースのモニタの基準を記述しています。この基準が満たされたときにトラップが生成されます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|---|-----------------|--|
| EnabledServers | トラップを作成できる WebLogic Server のリスト。サーバが指定されていない場合、トラップは生成されない。config.xml でこの属性を指定する構文は次のとおりである。ServersEnabled="Server1, Server2" | | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP ゲージモニタ 有効なサーバ] |
| MonitoredAttributeName | JMX Monitor がモニタする属性の名前。 | String または null | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP ゲージモニタ モニタする属性名] |
| MonitoredMBeanName | JMX Monitor を設定する MBean の名前。 | String または null | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP ゲージモニタ モニタする MBean 名] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|---|---------------------------|--|
| MonitoredMBeanType | JMX Monitor を設定する MBean のタイプ。 | String または null | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP ゲージモニタ モニタする MBean タイプ] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP ゲージモニタ 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値:
Null | |
| PollingInterval | | デフォルト値:
0 | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP ゲージモニタ ポーリング間隔] |
| ThresholdHigh | 高しきい値。
属性のしきい値。この値に到達すると、トラップが生成される。 | デフォルト値:
0 | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP ゲージモニタ 最大しきい値] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビ
ゲーション |
|--------------|---|-----------------------|---|
| ThresholdLow | 低しきい値。
属性のしきい値。この値に到達すると、トラップが生成される。 | デフォルト値：
0 | [サービス
SNMP ト
ラップ モニ
タ SNMP
ゲージ モニタ
 最小しきい
値] |

SNMPLogFilter

この要素は、サーバログファイルに記録されるログメッセージを限定するためのフィルタを表します。メッセージは、トラップを生成するためにフィルタとして指定された基準を通過する必要があります。必要に応じて、この要素の複数のインスタンスを定義できます。複数のインスタンスが存在する場合、メッセージは少なくとも1つのフィルタを通過しなければサーバログファイルに記録されません。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|------------------|---|------------------------|---|
| EnabledServers | | | |
| MessageIds | このフィルタを通過するメッセージが生成されるメッセージ ID または ID 範囲のリスト。ID を何も指定しない場合、すべての ID からのメッセージが通過する。 | サンプル値は、20、50 ~ 100、300 | [サービス SNMP トラップ SNMP ログフィルタ メッセージ ID] |
| MessageSubstring | 通過するメッセージが含む必要のある部分文字列。部分文字列を何も指定しない場合、すべてのメッセージが通過する。 | String | [サービス SNMP トラップ SNMP ログフィルタ メッセージサブ文字列] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | | [サービス SNMP トラップ SNMP ログフィルタ 名前] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------|---|-----------------------------------|--|
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |
| SeverityLevel | このフィルタを通過するメッセージの重要度の最低レベル。指定した重要度とそれよりも高い重要度のメッセージが通過する。
昇順の重要度 <ul style="list-style-type: none"> ■ 64 (INFO) ■ 32 (WARNING) ■ 16 (ERROR) ■ 8 (NOTICE) ■ 4 (CRITICAL) ■ 2 (ALERT) ■ 1 (EMERGENCY) | 64、32、16、8、4、2、1
デフォルト値：
16 | [サービス SNMP トラップ SNMP ログフィルタ 重大度] |
| SubsystemNames | このフィルタを通過するメッセージが生成されるサブシステムのリスト。何も指定しない場合、すべてのサブシステムからのメッセージが通過する。 | String | [サービス SNMP トラップ SNMP ログフィルタ サブシステム名] |
| UserIds | このフィルタを通過するメッセージを生成するユーザのリスト。何も指定しない場合、すべてのユーザ ID からのメッセージが通過する。 | String | [サービス SNMP トラップ SNMP ログフィルタ ユーザ ID] |

SNMPProxy

現在のものによってプロキシされる SNMP エージェントを表す要素です。

| 属性 | 説明 | 指定できる値と
デフォルト値 | Console のナビ
ゲーション |
|-----------|---|-------------------------------------|--|
| Community | プロキシされたエージェントのすべてのリクエストに引き渡される SNMP コミュニティ。これは省略可能である。デフォルトで、この Master SNMP エージェントへの受信 SNMP リクエストに含まれたコミュニティと同じである。 | 有効な String または null
デフォルト値: なし | [サービス
SNMP SNMP プ
ロキシ コミュニ
ティ] |
| oidRoot | プロキシされたエージェントが応答するルート OID。これは必須である。 | 有効な OID または
null | [サービス
SNMP SNMP プ
ロキシ Oid ルー
ト] |
| Port | プロキシされたエージェントが SNMP リクエストをリスンするポート。これは必須である。 | 0-65535
デフォルト値: 0 | [サービス
SNMP SNMP プ
ロキシ ポート] |
| Timeout | プロキシされたエージェントに対するリクエストがタイムアウトする間隔 (単位: ミリ秒)。 | 0-n milliseconds
デフォルト値:
5000 | [サービス
SNMP SNMP プ
ロキシ タイムア
ウト] |

SNMPStringMonitor

文字列ベースのモニタの基準を記述しています。この基準が満たされたときにトランプが生成されます。SNMPStringMonitor は SNMPJMXMonitor を拡張したものです。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|------------------------------|-----------------|--|
| EnabledServers | | | [サービス SNMP トランプ モニタ SNMP 文字列モニタ 有効なサーバ] |
| MonitoredAttributeName | JMX Monitor がモニタする属性の名前。 | String または null | [サービス SNMP トランプ モニタ SNMP 文字列モニタ モニタする属性名] |
| MonitoredMBeanName | JMX Monitor を設定する MBean の名前。 | String または null | [サービス SNMP トランプ モニタ SNMP 文字列モニタ モニタする MBean 名] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|---|-------------------------------------|--|
| MonitoredMBeanType | JMX Monitor を設定する MBean のタイプ。 | String または null | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP 文字列モニタ モニタする MBean タイプ] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP 文字列モニタ 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値 :
Null | |
| NotifyDiffer | true の場合、文字列が一致しないときにトラップを送信する。 | true または false
デフォルト値 : | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP 文字列モニタ 違うときに通知する] |
| NotifyMatch | | true または false
デフォルト値 :
false | [サービス SNMP トラップ モニタ SNMP 文字列モニタ 一致するときに通知する] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|--|
| PollingInterval | | デフォルト値:
0 | [サービス
SNMP ト
ラップ モニ
タ SNMP 文
字列モニタ
ポーリング間
隔] |
| StringToCompare | 指定された要素属性の値に比較される文字列。 | String または
null | [サービス
SNMP ト
ラップ モニ
タ SNMP 文
字列モニタ
比較する文字
列] |

SNMPTrapDestination

この要素は SNMP トラップが送信できるすべての送り先を保持します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値 | デフォルト値 |
|-----------|--|--|-------------------------------------|
| Community | SNMP トラップ コミュニティ名。対象の SNMP マネージャにトラップ通知を送信するパスワードとして機能する。 | 有効な String または null
デフォルト値：
public | [サービス SNMP トラップの送り先 コミュニティ] |
| Host | WebLogic Server SNMP エージェントによって送信される SNMP トラップ通知の対象になる SNMP マネージャのマシンのホスト名または IP アドレスを含む文字列。 | 有効なホスト名または null
デフォルト値：
localhost | [サービス SNMP トラップの送り先 ホスト] |
| Name | この送り先にユーザが指定した名前。 | String
デフォルト値：なし | [サービス SNMP トラップの送り先 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：Null | |
| Port | 対象の SNMP マネージャに SNMP トラップ通知を送信するために使われるポート。 | 1-65535
デフォルト値：162 | [サービス SNMP トラップの送り先 ポート] |

SSL

この要素は、クライアント用のセキュア ソケット レイヤ (SSL) のコンフィグレーションを表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------------|---|--|--|
| CertAuthenticator | <p>weblogic.security.acl.CertAuthenticator クラスを実装する Java クラスの名前を指定する。クラスは WebLogic Server ユーザへのクライアントのデジタル証明書をマップする。weblogic.security.acl.CertAuthenticator クラスは、クライアントによって提示されたデジタル証明書を検証した後で、WebLogic Server が呼び出す authenticate() メソッドを備えている。</p> | | [サーバ servername コンフィグレーション SSL 認可済み認証機関] |
| CertificateCacheSize | <p>トークンによって使用されていない証明書の数。</p> | <p>1-java.lang.Integer.MAX_VALUE
デフォルト値: 3</p> | [サーバ servername コンフィグレーション SSL 認可キャッシュサイズ] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|---------------------------|---|---|--|
| Ciphersuites | 特定の WebLogic Server で使用される暗号スイートを指定する。 | SSL_NULL_WITH_NULL_NULL
SSL_RSA_EXPORT_WITH_RC4_40_MD5
SSL_RSA_WITH_NULL_SHA
SSL_RSA_EXPORT_WITH_RC4_40_MD5
SSL_RSA_WITH_RC4_128_MD5
SSL_RSA_WITH_RC4_128_SHA
SSL_RSA_EXPORT_WITH_DES_40_CBC_SHA
SSL_RSA_WITH_DES_CBC_SHA
SSL_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
SSL_DH_anon_EXPORT_WITH_RC4_40_MD5
SSL_DH_anon_WITH_RC4_128_MD5
SSL_DH_anon_EXPORT_WITH_DES_40_CBC_SHA
SSL_DH_anon_WITH_DES_CBC_SHA
SSL_DH_anon_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
デフォルト値：
SSL_RSA_EXPORT_WITH_RC4_40_MD5 | |
| ClientCertificateEnforced | クライアントが、信頼された認証局から WebLogic Server にデジタル証明書を提示する必要があるかどうかを定義する。 | true または false
デフォルト値 : false | [サーバ <i>servername</i> コンフィグレーション SSL クライアント認証を強制する] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------------|--|--|---|
| Enabled | 特定の WebLogic Server で SSL プロトコルの使用を有効にする。 | true または false
デフォルト値 : false | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL 有効化] |
| ExportKeyLifespan | WebLogic Server がドメスティック サーバとエクスポータブルクライアントとの間で、新規のキーを生成する前に、エクスポータブルキーを使用できる回数を指定する。新規のキーを生成する前にキーを使用する回数が少ないほど、WebLogic Server のセキュリティが高くなる。 | 1-java.lang.Integer.MAX_
VALUE
デフォルト値 : キーを 500 回使用する。 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL キーの
有効期間をエ
クスポート] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|----------------|--|--|---|
| HandlerEnabled | <p>WebLogic Server が、次のいずれかの理由でクライアント認証に失敗した SSL 接続を拒否するかどうかを指定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 必要なクライアントデジタル証明書が用意されていないかった。 ■ クライアントがデジタル証明書を提出しなかった。 ■ クライアントからのデジタル証明書の発行元が、Trusted CA Filename 属性に指定された認証局ではない。 <p>SSL ハンドラのデフォルト設定では、WebLogic Server から別の WebLogic Server へ SSL 接続できる。たとえば、WebLogic Server の EJB は別の Web サーバの HTTPS ストリームをオープンできる。</p> <p>HandlerEnabled 属性が有効にされると、WebLogic Server は SSL 接続でクライアントとして機能する。</p> | <p>true または false</p> <p>デフォルト値 : true</p> | <p>[サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL ハンド
ラを有効化]</p> |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------------------|---|---------------------------------|---|
| HostnameVerificationIgnored | WebLogic Server が別の WebLogic Server のクライアントとして機能するとき、インストールされた HostnameVerifier を無効にする。 | true または false
デフォルト値: false | |
| HostnameVerifier | Hostname Verifier インタフェースを実装する Java クラスの名前。 | | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL ホスト
名の検証] |
| KeyEncrypted | WebLogic Server 用のプライベートキーをパスワードで暗号化するかどうかを指定する。

<ul style="list-style-type: none"> ■ この属性が true に設定される場合、キーを使用するためにプライベートキーからパスワードを提供するように要求される。 ■ この属性が false に設定される場合、プライベートキーは暗号化されず、パスワードを提供せずに使用できる。 | true または false
デフォルト値: false | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL 暗号化
キーを使用] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|---|---|---|
| ListenPort | WebLogic Server が SSL 接続リクエストをリスンする専用ポート。 | 1-java.lang.Integer.MAX_VALUE
デフォルト値：7002 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL リスン
ポート] |
| LoginTimeoutMillis | WebLogic Server が SSL 接続のタイムアウトまで待機するミリ秒数。SSL 接続は、通常の接続よりも時間がかかる。クライアントがインターネット経由で接続する場合は、ネットワーク レイテンシに対応するためにデフォルト値を大きくする。0 の値は属性を無効にする。 | 1-java.lang.Integer.MAX_VALUE, in milliseconds.
デフォルト値：25000 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL ログイ
ンタイムアウ
ト ミリ秒] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値：SSLMBean | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：Null | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------------------|--|---|---|
| ServerCertificateChainFileName | WebLogic Server によって信頼された認証局の順序付されたリストを含む絶対パスとファイルの名前。PEM ファイル拡張子は、ファイルを読み込むのに使用するメソッドを示す。WebLogic Server 用のデジタル証明書はこのファイルに格納してはならないことに注意する。 | パス名
デフォルト値:
server-certchain.pem

注意: SSL 認証局ファイルには絶対パスは使用できない。
weblogic.RootDirectory への相対パス名、または WebLogic Server を起動したデフォルトのディレクトリを使用する必要がある。 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL サーバ
認証チェーン
ファイル] |
| ServerCertificateFileName | WebLogic Server 用のデジタル証明書の絶対パスと名前。ファイル拡張子 (.DER または .PEM) は、ファイルの内容を読み取るのに使用するべきメソッドを示す。 | パス名
デフォルト値:
server-cert.der

注意: SSL 認証局ファイルには絶対パスは使用できない。
weblogic.RootDirectory への相対パス名、または WebLogic Server を起動したデフォルトのディレクトリを使用する必要がある。 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL サーバ
認証ファイル
名] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------------|---|--|--|
| ServerKeyFileName | WebLogic Server 用のプライベート キーの絶対パスと名前。ファイル拡張子 (.PEM) は、ファイルを読み込むのに使用するメソッドを示す。 | パス名
デフォルト値：
server-key.der

注意： SSL 認証局ファイルには絶対パスは使用できない。
weblogic.RootDirectory への相対パス名、または WebLogic Server を起動したデフォルトのディレクトリを使用する必要がある。 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL サーバ
キー ファイル
名] |
| TrustedCAFileName | WebLogic Server によって信頼された認証局のデジタル証明書を格納するファイルの名前。この属性で指定したファイルには、証明書用の 1 つまたは複数のデジタル証明書が格納される。ファイル拡張子 (.DER または .PEM) によって、WebLogic Server がファイルの内容を読み込む方法が決まる。 | String
デフォルト値：
trusted-ca.pem

注意： SSL 認証局ファイルには絶対パスは使用できない。
weblogic.RootDirectory への相対パス名、または WebLogic Server を起動したデフォルトのディレクトリを使用する必要がある。 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL 信頼性
のある CA ファ
イル名] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|---------|--|---------------------------------|---|
| UseJava | ネイティブ Java ライブラリの使用を有効にする。WebLogic Server は SSL プロトコルの pure-Java 実装を提供する。Solaris、Windows NT、および IBM AIX プラットフォームでは、SSL 処理によって、ネイティブ ライブラリがパフォーマンスを向上させる。 | true または false
デフォルト値 : true | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
SSL Java を
使用] |

StartupClass

`ClassDeploymentMBean` を拡張したものです。サーバを起動するときに起動の失敗が致命的である場合、`true` または `false` を返します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|--|---|-----------------------------|
| Arguments | | | [デプロイメント 起動と停止 引数] |
| ClassName | | | |
| DeploymentOrder | <p>デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。</p> <p><code>DeploymentOrder</code> 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。</p> | デフォルト値：
1000 | [デプロイメント 起動と停止 デプロイ順] |
| FailureIsFatal | | <p><code>true</code> または <code>false</code></p> <p>デフォルト値：
<code>false</code></p> | |
| Name | | | [デプロイメント 起動と停止 名前] |
| Notes | | | |
| Targets | | | |

UnixMachine

この要素は UNIX オペレーティング システムを稼働するマシンを表します。これは、UNIX プラットフォーム固有のプロパティを備えた MachineMBean を拡張したものです。

Administration Console を使用してマシンのコンフィグレーションと管理を行うための属性を設定する方法の詳細については、「Unix マシン」を参照してください。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|--|---|------------------|
| Addresses | マシンが認知されるアドレス。 | | |
| Name | MBean の名前。 | String
デフォルト値：
なし | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
NULL | |
| PostBindGID | このマシンで実行するサーバの UNIX GID は、特権を持つすべての起動アクションが行われた後に実行する。 | Unix GID または Null
デフォルト値：
NULL | |
| PostBindGIDEnabled | この属性で、バインド後の GID を有効化または無効化できる。 | ブール
True = 選択
False = 未選択
デフォルト値：
未選択 | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|--------------------|--|---|------------------|
| PostBindUID | このマシンで実行するサーバの UNIX UID は、特権を持つすべての起動アクションが行われた後に実行する。 | Unix UID または Null
デフォルト値 : NULL | |
| PostBindUIDEnabled | この属性で、バインド後の UID を有効または無効にできる。 | ブール
True = 選択
False = 未選択
デフォルト値 : 未選択 | |
| StartdPort | startd がこのマシンで稼働するようにコンフィグレーションされたポート番号。 | | |

UnixRealm

この MBean は、UnixRealm のコンフィグレーション プロパティを保持します。これは CachingRealmMBean に関連付けられます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------|--|---|------------------|
| AuthProgram | <p>UNIX セキュリティ レalm でユーザの認証に使用するプログラムの名前。ほとんどの場合、プログラムの名前は <code>wlauth</code> である。認証プログラムは、<code>setuid root</code> を実行する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ プログラム名が <code>wlauth</code> で、<code>CLASSPATH</code> 内にあるとき、明示的にこの属性を設定する必要はなく、このプロパティは空白のままよい。 ■ プログラム名が <code>wlauth</code> とは異なる場合、または、WebLogic Server の <code>CLASSPATH</code> がない場合、このプロパティを指定する。 | <p>デフォルト値：
<code>wlauth</code></p> | |
| Name | <p>UNIX セキュリティ レalm 属性用の MBean の名前 (必須)。</p> | <p>String
デフォルト値：
<code>UnixRealmMBean</code></p> | |
| Notes | <p>このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。</p> | <p>英数字文字列
デフォルト値：
Null</p> | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|----------------|--|-----------------------|-------------------------------|
| RealmClassName | UNIX セキュリティ レalm を実装する Java クラスの名前。この属性は読み込み専用である。 | | [セキュリティ レalm レalm クラス名] |

VirtualHost

この MBean は、WebLogic Server 内の仮想 Web サーバのコンフィグレーションを表します。サーバは、仮想ホストをサポートするために複数の Web サーバを定義する場合があります。

注意： この要素は、仮想ホストを表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナ
ビゲーション |
|-------------------|----|---------------------------------------|---|
| Charsets | | | |
| ClusteringEnabled | | true または
false
デフォルト値：
false | |
| DefaultServerName | | | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
HTTP デフォ
ルト サーバ名] |
| DefaultWebApp | | | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
HTTP デフォ
ルト Web アプ
リケーション] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|---------------------|--|---|---|
| DeploymentOrder | デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。

DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。 | 最小値：
MIN_ORDER

最大値：
MAX_ORDER

デフォルト値：
1000 | |
| HttpsKeepAliveSecs | | (単位: 秒)

デフォルト値：
60 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
HTTP
HTTPS 持続時
間] |
| KeepAliveEnabled | HTTP キープアライブが有効であるかどうかを返す。 | true または
false

デフォルト値：
true | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
HTTP Keep
Alive を有効化
] |
| KeepAliveSecs | | デフォルト値：
30 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
HTTP 持続時
間] |
| LogFileBufferKBytes | HTTP リクエストのログバッファサイズを設定する。 | デフォルト値：
8 | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|-----------------------|--------------------------------|--|---|
| LogFileFlushSecs | ログ ファイルをフラッシュする周期 (秒数)。 | Integer
デフォルト値:
60 | [サーバ
servername
ログ HTTP
 更新間隔] |
| LogFileFormat | HTTP ログ ファイルのフォーマット (共通または拡張)。 | common、
extended
デフォルト値:
common | [サービス 仮想ホスト ログ
ファイル
フォーマット] |
| LogFileName | HTTP リクエスト ログ ファイル。 | デフォルト値:
access.log | [サービス 仮想ホスト ログ
ファイル名] |
| LoggingEnabled | | true または
false
デフォルト値:
true | |
| LogRotationPeriodMins | | デフォルト値:
1440 | |
| LogRotationTimeBegin | | | |
| LogRotationType | ログ ファイルをローテーションさせる方法。 | size または date
デフォルト値:
size | [サーバ
servername
ログ ロー
テーション
ローテーション
タイプ] |
| MaxLogFileSizeKBytes | | デフォルト値:
0 | [サーバ
servername
ログ HTTP
 最大ログ
ファイル サイズ] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|-------------------------|--|--------------------------------------|--|
| MaxPostSize | | デフォルト値：
-1 | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
HTTP 最大
Post サイズ] |
| MaxPostTimeSecs | | デフォルト値：
-1 | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
HTTP 最大
POST 時間] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値：
Null | |
| Notes | このコンフィグレーション
MBean に関してユーザが提供
する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |
| PostTimeoutSecs | サーブレットリクエストの
HTTP POST データの読み取り
タイムアウト (単位: 秒)。 | Integer
デフォルト値：
0 | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
HTTP POST
タイムアウト
秒] |
| SendServerHeaderEnabled | true の場合、WebLogic Server
のバージョン情報が HTTP の
「Server」ヘッダに付加される。 | true または
false
デフォルト値：
true | |
| Targets | このデプロイメントがデプロ
イされる対象。 | | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|-------------------|--------------------------------|---------------------------------------|---|
| <hr/> URLResource | | | |
| VirtualHostNames | この Web サーバが代わりにリクエストを処理するホスト名。 | | [サービス 仮想ホスト 仮想ホスト名] |
| WAPEnabled | | true または
false
デフォルト値:
false | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
HTTP WAP
有効化] |

WebAppComponent

Component 要素と WebDeployment 要素を拡張したものです。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|--|--|---|
| Application | このコンポーネントが一部になっているアプリケーション。これは決して <code>null</code> にはならない。 | | |
| AuthRealmName | | デフォルト値:
<code>weblogic</code> | [デプロイメント Web アプリケーション <code>applicationname</code> コンフィグレーション その他 認証レルム名] |
| DeploymentOrder | デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。

DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。 | 最小値:
MIN_ORDER

最大値:
MAX_ORDER

デフォルト値:
<code>1000</code> | [デプロイメント Web アプリケーション <code>applicationname</code> コンフィグレーション 一般 デプロイ順] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------------|---|---------------------------------|--|
| IndexDirectoryEnabled | 適切なインデックス ファイルが見つからない場合、HTML ディレクトリ リストを自動的に生成するかどうかを返す。 | true または false
デフォルト値: false | [デプロイメント Web アプリケーション applicationname コンフィグレーション ファイル インデックス ディレクトリ] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値: なし | [デプロイメント Web アプリケーション applicationname コンフィグレーション 一般 名前] |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | [デプロイメント Web アプリケーション メモ] |
| PreferWebInfClasses | このフラグを true に設定すると、システム CLASSPATH 内のクラスより WEB-INF 内のクラスが先にロードされる。 | true または false
デフォルト値: false | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------------------------|---|---------------------------------|---|
| ServletExtensionCaseSensitive | | true または false
デフォルト値: false | [デプロイメント Web アプリケーション applicationname コンフィグレーション ファイル 大文字 / 小文字を区別する] |
| ServletReloadCheckSecs | | デフォルト値: 1 | [デプロイメント Web アプリケーション applicationname コンフィグレーション ファイル 再ロード間隔 (秒)] |
| SessionMonitoringEnabled | true の場合、実行時 MBean が作成される。false の場合は作成されない。 | | |
| SingleThreadedServletPoolSize | | デフォルト値: 5 | [デプロイメント Web アプリケーション applicationname コンフィグレーション その他 シングルスレッドサーブレットプール サイズ] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|---------------|---|-----------------------|---|
| Targets | このデプロイメントがデプロイされる対象。 | | |
| URI | アプリケーション コンポーネントを示している URI (Uniform Resource Identifier) であり、通常は管理サーバ上にある (必須)。 | 有効な文字列 | [デプロイメント Web アプリケーション applicationname コンフィグレーション 一般 path] |
| WebDescriptor | | | |
| WebServers | | | |

WebServer

この要素は、WebLogic Server 内の仮想 Web サーバのコンフィグレーションを表します。サーバは、仮想ホストをサポートするために複数の Web サーバを定義する場合があります。

注意： この要素は、仮想ホストを表します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------|
| Charsets | インターネットと Java 文字セット名の間ユーザ定義マッピング。 | | |
| ClusteringEnabled | HTTP クラスタリングを有効にする。 | true または false
デフォルト値：
false | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------------|--|---------------|--|
| DefaultServerName | <p>この属性で、HTTP デフォルトサーバ名を設定できる。したがって、任意の HTTP リクエスト / 応答用にサーバ名を指定できる。指定しない場合は、HTTP ヘッダ内で渡されるホスト名が使用される。ヘッダ内にホスト名がなければ、デフォルトでシステム名が使用される。この機能は特に、WebLogic Server に送られる HTTP リクエストを変更する可能性のあるプロキシサーバを使用している場合に有用である。ヘッダが変更されていたり、設定されていなかったりする場合、クライアントはプロキシではなく、実際の WebLogicServer インスタンスに転送される。</p> | 有効なサーバ名 | [サーバ <i>servername</i> コンフィグレーション HTTP デフォルトサーバ名] |
| DefaultWebApp | | | [サーバ <i>servername</i> コンフィグレーション HTTP デフォルト Web アプリケーション] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|---------------------|--|---|--|
| DeploymentOrder | デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。

DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。 | 最小値：
MIN_ORDER

最大値：
MAX_ORDER

デフォルト値：
1000 | |
| HttpsKeepAliveSecs | リクエストのタイムアウトまで HTTPS キープアライブを保持する秒数。 | デフォルト値：
60 | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
HTTP
HTTPS 持続時間] |
| KeepAliveEnabled | | true または
false

デフォルト値：
true | [サーバ
servername
コンフィグ
レーション
HTTP Keep
Alive を有効化] |
| KeepAliveSecs | リクエストのタイムアウトまで HTTP キープアライブを保持する秒数。 | デフォルト値：
30 | |
| LogFileBufferKBytes | | デフォルト値：
8 | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|-----------------------|--------------------------------|---|---|
| LogFileFlushSecs | ログ ファイルをフラッシュする周期 (秒数)。 | デフォルト値:
60 | [サーバ
servername
ログ HTTP
 更新間隔] |
| LogFileFormat | HTTP ログ ファイルのフォーマット (共通または拡張)。 | common または
extended
デフォルト値:
common | |
| LogFileName | HTTP リクエストのログ ファイル。 | デフォルト値:
access.log | |
| LoggingEnabled | | true または
false
デフォルト値:
true | |
| LogRotationPeriodMins | | デフォルト値:
1440 | |
| LogRotationTimeBegin | | | |
| LogRotationType | ログ ファイルをローテーションする方法。 | size、date
デフォルト値:
size | [サーバ
servername
ログ HTTP
 ローテーションタイプ] |
| MaxLogFileSizeKBytes | | デフォルト値:
0 | [サーバ
servername
ログ HTTP
 最大ログ
ファイルサイズ] |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビゲーション |
|-------------------------|---|--------------------------------------|--|
| MaxPostSize | | デフォルト値：
-1 | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
HTTP 最大
Post サイズ] |
| MaxPostTimeSecs | | デフォルト値：
-1 | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
HTTP 最大
POST 時間] |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値：
なし | |
| Notes | このコンフィグレーション
MBean に関してユーザが提供
する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |
| PostTimeoutSecs | サーブレットリクエストの
HTTP POST データの読み取り
タイムアウト (単位: 秒)。 | デフォルト値：
0 | [サーバ
<i>servername</i>
コンフィグ
レーション
HTTP POST
タイムアウト
秒] |
| SendServerHeaderEnabled | | true または
false
デフォルト値：
true | |
| Targets | このデプロイメントがデプロ
イされる対象を返す。 | | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビ
ゲーション |
|-------------|----|---------------------------------------|----------------------|
| URLResource | | | |
| WAPEnabled | | true または
false
デフォルト値：
false | |

WLECConnectionPool

この MBean は、WLEC 接続プールを定義します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console の
ナビゲー
ション |
|-----------------------------------|--|---|---------------------------------|
| ApplicationPassword | WebLogic エンタープライズ アプリケーションのパスワード。この属性は、WLE ドメインのセキュリティ レベルが APP_PW、USER_AUTH、ACL、または MANDATORY_ACL の場合に指定する。 | | |
| CertificateAuthentication Enabled | 証明書に基づく認証を有効にするには true に設定する。 | true または false
デフォルト値 : false | |
| DeploymentOrder | デプロイメントに使用する順序。順序付けは同一クラス内の他のデプロイ可能なユニットだけと比較される。デプロイメント順の値が低いものが、高いものより先にデプロイする。

DeploymentOrder 値が同じときは、デプロイメント順に規則はない。クラスタの間のデプロイメント順に規則はない。 | 最小値 : MIN_ORDER
最大値 : MAX_ORDER
デフォルト値 : 1000 | |
| FailoverAddresses | [プライマリ アドレス] フィールドに定義されているアドレスを使って接続を確立できない場合に使用される IIOP リスナ/ハンドラのアドレスのリスト。アドレスとアドレスの区切りにはセミコロンを使用する。 | | [サービス WLEC フェイルオーバー アドレス] |
| MaximumEncryptionLevel | ■ 9 | 0、40、56、128
デフォルト値 : 40 | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|--|--|----------------------------|
| MaximumPoolSize | WebLogic Server が起動したときに、WLEC 接続プールから開始できる IIOP 接続の最大数。 | デフォルト値：
1 | [サービス WLEC 最大プールサイズ] |
| MinimumEncryptionLevel | WLE ドメインと WebLogic Server との間で使用される SSL の最小暗号化レベル。最小暗号化レベルが満たされない場合、WLE ドメインと WebLogic Server との SSL 接続は失敗する。

<ul style="list-style-type: none"> ■ ゼロ (0) は、データを署名するが暗号化しないことを示す。 ■ 40、56、および 128 は暗号キーの長さ (ビット単位) を指定する。 | デフォルト値：
40 | |
| MinimumPoolSize | WebLogic Server が起動したときに、WLEC 接続プールに追加する IIOP 接続の数。 | デフォルト値：
1 | [サービス WLEC 最小プールサイズ] |
| Name | WLEC 接続プールの MBean 名 (必須)。 | String
デフォルト値：
WLECConnectionPoolMBean | |
| Notes | WLECConnectionPoolMBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値：
Null | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|---|--------------------------------|------------------------------|
| PrimaryAddresses | <p>WLEC 接続プールと WLE ドメインとの接続を確立するために使用する IIOP リスナ/ハンドラのアドレスのリスト。
各アドレスのフォーマットは、
//hostname:port。</p> <p>アドレスは、UBBCONFIG ファイルに定義されている ISL アドレスと一致しなければならない。アドレスとアドレスの区切りにはカンマを使用する。
例：//main1.com:1024,
//main2.com:1044</p> <p>SSL プロトコルを使用するよう WLEC 接続プールをコンフィグレーションするには、IIOP リスナ/ハンドラのアドレスに corbalocs プレフィックスを付ける。
例：corbalocs://hostname:port</p> | | [サービス WLEC プライマリ アドレス] |
| SecurityContextEnabled | WebLogic Server ユーザから WLE ドメインへのセキュリティ コンテキストの引き渡しを有効にする。 | true または false
デフォルト値：false | |
| Targets | このデプロイメントがデプロイされる対象。 | | |
| UserName | BEA Tuxedo CORBA アプリケーションのユーザ名。この属性が必要であるかどうかは CORBA アプリケーションのセキュリティ レベルによって異なる。この属性は、BEA Tuxedo ドメインのセキュリティ レベルが USER_AUTH、ACL、または MANDATORY_ACL の場合にのみ指定する。 | | |
| UserPassword | UserName 属性に定義したユーザのパスワード。この属性は、UserName 属性を定義する場合にのみ指定する。 | | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console の
ナビゲー
ション |
|-----------|--|-----------------------|--------------------------|
| UserRole | WebLogic Enterprise のユーザ ロール。
この属性は、WebLogic Enterprise ドメ
インのセキュリティ レベルが APP_PW、
USER_AUTH、ACL、または
MANDATORY_ACL の場合に指定する。 | | |
| WLEDomain | WLEC 接続プールの接続先 WLE ドメ
インの名前。WLEC 接続プールは、WLE
ドメインにつき 1 つしか定義できない。
ドメイン名は、WLE ドメインの
UBBCONFIG ファイルの RESOURCES セ
クションの domainid パラメータに一致
しなければならない。 | | |

XMLEntityCache

WebLogic Server をコンフィグレーションして、URL などの HTTP インタフェースをサポートする外部リポジトリから外部エンティティを取り出し、キャッシュするために使います。WebLogic Server のコンフィグレーションで、メモリやディスクにある外部エンティティをキャッシュし、有効期限が過ぎたと判断するまでエンティティをキャッシュ内にどの程度の期間とどめるかを指定できます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------------|--|--|---|
| CacheDiskSize | 永続的ディスク キャッシュのサイズ (単位: MB)。 | ゼロ (0) からコンピュータの最大ディスク サイズまで
デフォルト値: 5 | [サーバ
servername
サービス XML
 キャッシュ ディ
スク サイズ] |
| CacheLocation | 永続的エンティティ ファイルを含むディレクトリのパス名。相対パス名を指定した場合、メイン WebLogic Server インストールディレクトリに対して相対的になる。 | パス名
デフォルト値:
xmlcache | |
| CacheMemorySize | キャッシュ メモリのサイズ (単位: KB)。 | ゼロ (0) からコンピュータの最大メモリ サイズまで
デフォルト値: 500 | [サーバ
servername
サービス XML
 キャッシュ メモ
リ サイズ] |

| 属性 | 説明 | 指定できる値
とデフォルト
値 | Console のナビ
ゲーション |
|----------------------|--|--|--|
| CacheTimeoutInterval | 外部エンティティが WebLogic Server によってキャッシュされた後、キャッシュ内で陳腐化するまでの秒数。 | Integer
デフォルト値：
120 | [サーバ
servername
サービス XML
 キャッシュタイ
ムアウト間隔] |
| Name | エンティティ キャッシュの名前。 | String
デフォルト値：
XMLCacheMbe
an | |
| Notes | この要素についてユーザが定義する省略可能なコメント。 | String
デフォルト値：
なし | |

XMLEntitySpecRegistryEntry

XML レジストリのエントリです。XML レジストリ エントリは、特定の XML ドキュメント タイプに関連付けられるコンフィグレーション情報です。このインタフェースでアクセスされるエントリは、リモート エンティティ参照用のローカルインスタンスを指定するために使われます。

この種のレジストリ エントリでは、ドキュメント タイプは次のいずれかまたは両方によって識別されます。

- パブリック ID (
 - 「-//Sun Microsystems, Inc.//DTD Enterprise JavaBeans 2.0//EN」など
- システム ID (
 - 「http://java.sun.com/j2ee/dtds/ejb-jar_2_0.dtd」など

注意: このコンフィグレーション情報は、SAX EntityResolver を設定するために WebLogic JAXP 実装で使用されます。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション値 |
|----------------------|--|---|-------------------|
| CacheTimeoutInterval | 外部エンティティが WebLogic Server によってキャッシュされた後、キャッシュ内で陳腐化するまでの秒数。 | Integer
デフォルト値:
-1
(グローバルキャッシュ設定に従う) | |
| EntityURI | Web 上またはレジストリ内に格納された外部エンティティの URL、あるいは管理サーバのエンティティ ファイルのコピーのパス名。 | String
デフォルト値:
なし | |

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------|---|--|------------------|
| Name | 外部エンティティをコンフィグレーションするためのレジストリ エントリの内部名。 | String
デフォルト値：
なし | |
| Notes | この要素についてユーザが定義する省略可能なコメント。 | String
デフォルト値：
なし | |
| PublicId | 外部エンティティを識別するために使用するパブリック ID。 | String
デフォルト値：
なし | |
| SystemId | 外部エンティティを識別するために使用するシステム ID。 | String
デフォルト値：
なし | |
| WhenToCache | WebLogic Server が外部エンティティを URL で参照する際、外部エンティティが XML ドキュメントで最初に参照されたとき、WebLogic Server が起動したとき、またはグローバル キャッシュ設定を使用するときのいずれにするかを指定する。 | cache-on-reference、
cache-at-initialization、
defer-to-registry-setting
デフォルト値：
defer-to-registry-setting | |

XmlFileRepository

Repository 要素を拡張したものです。Repository 要素はすべてのコンフィグレーションリポジトリによって実装されたインタフェースとして定義されます。リポジトリとは、ファイルシステムやデータベースなどのように、バックエンドタイプにコンフィグレーションをアクセスし、格納する方法がわかっている要素です。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-----------|--|------------------------|------------------|
| Directory | Domain Configuration (.dom) ファイルのあるディレクトリ。 | 既存のディレクトリ | |
| Domains | | | |
| Name | MBean の名前 (必須)。 | String
デフォルト値: なし | |
| Notes | このコンフィグレーション MBean に関してユーザが提供する省略可能な情報。 | 英数字文字列
デフォルト値: Null | |

XMLParserSelectRegistryEntry

XML レジストリのエン트리です。XML レジストリ エントリは、特定の XML ドキュメント タイプに関連付けられるコンフィグレーション情報です。このインタフェースでアクセスされるエントリは、WebLogic Server 用のデフォルトパーサまたは変換ファクトリ、あるいは特定のドキュメント タイプ用のパーサを指定するために使われます。

ドキュメント タイプは、以下の 1 つまたは複数によって識別されます。

- パブリック ID (
 - 「-//Sun Microsystems, Inc.//DTD Enterprise JavaBeans 2.0//EN」など
- システム ID (
 - 「http://java.sun.com/j2ee/dtds/ejb-jar_2_0.dtd」など
- ドキュメントルート タグ名 (「ejb-jar」など)

注意： このコンフィグレーション情報は、適切なパーサと変換ファクトリを選択するために WebLogic JAXP 実装で使用します。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|--|---------------------|---|
| DocumentBuilderFactory | この XML ドキュメントタイプに DOM スタイルの解析を行う DocumentBuilderFactory 実装クラス。 | String
デフォルト値：なし | [サービス XML レジストリ Document Builder ファクトリ] |
| Name | パーサとトランスフォーマをコンフィグレーションするためのレジストリ エントリの内部名。 | String
デフォルト値：なし | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション値 |
|--------------------|--|-------------------------|-------------------------------------|
| Notes | この要素についてユーザが定義する省略可能なコメント。 | String
デフォルト値：
なし | |
| ParserClassName | 注意： この属性は使用しない。
非推奨。 | | |
| PublicId | パーサがコンフィグレーションされる XML ドキュメントタイプのパブリック ID。 | String
デフォルト値：
なし | |
| RootElementTag | パーサがコンフィグレーションされる XML ドキュメントタイプのルート要素名。 | String
デフォルト値：
なし | |
| SaxParserFactory | この XML ドキュメントタイプに SAX スタイルの解析を行う SaxParserFactory 実装クラス。 | String
デフォルト値：
なし | [サービス XML レジストリ SAX パーサファクトリ] |
| SystemId | パーサがコンフィグレーションされる XML ドキュメントタイプのシステム ID。 | String
デフォルト値：
なし | |
| TransformerFactory | WebLogic Server では使用されない。 | | |

XMLRegistry

WebLogic Server、特定のドキュメントタイプで使われるパーサ、および特定のドキュメントタイプ用の外部エンティティ解決のためのデフォルトパーサとトランスフォーマをコンフィグレーションするために使います。

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------------|--|--|---|
| DocumentBuilderFactory | <p>この属性で、サーバのデフォルトのドキュメントビルダファクトリを設定できる。</p> <p>この属性は、ドキュメントの解析に DOM を使用するすべてのサーバアプリケーションのデフォルトのファクトリを決定する。特定の文書型定義 (DTD) に関してデフォルトのファクトリをオーバーライドするには、XML Registry Entries 要素で Parser Name Class 属性を使用する。</p> | <p>String</p> <p>デフォルト値:
weblogic.apache.xerces.jsp.DocumentBuilderFactoryImpl</p> | [サービス XML レジストリ Document Builder ファクトリ] |
| Name | XML レジストリの名前。 | <p>String</p> <p>デフォルト値:
なし</p> | |
| Notes | この要素についてユーザが定義する省略可能なコメント。 | <p>String</p> <p>デフォルト値:
なし</p> | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値とデフォルト値 | Console のナビゲーション値 |
|--------------------|---|---|-------------------------------------|
| SaxParserFactory | <p>この属性で、サーバのデフォルトの SAX パーサ ファクトリを設定できる。</p> <p>この属性は、ドキュメントの解析に SAX を使用するすべてのサーバアプリケーションのデフォルトのファクトリを決定する。</p> <p>特定の文書型定義 (DTD) に関してデフォルトのファクトリをオーバーライドする、またはカスタム作成の SAX パーサを使用するには、XML Registry Entries 要素で Parser Name Class 属性を使用する。</p> | String
デフォルト値:
weblogic.apa
che.xerces.j
axp.SAXParse
rFactoryImpl | [サービス XML レジストリ SAX パーサファクトリ] |
| TransformerFactory | XML ドキュメントの変換に JAXP インタフェースを実装する TransformerFactory クラス。 | String
weblogic.apa
che.xalan.pr
ocessor.Tran
sformerFacto
ryImpl | |
| WhenToCache | WebLogic Server が外部エンティティを URL で参照する際、外部エンティティが XML ドキュメントで最初に参照されたとき、または WebLogic Server が起動したときのいずれにするかを指定する。 | cache-on-refere
nce、
cache-at-initia
lization
デフォルト値:
cache-on-ref
erence | |

XMLRegistryEntry (非推奨)

注意： この要素は `config.xml` ファイルで指定しないでください。 `config.xml` ファイルの `XMLRegistryEntry` 要素は非推奨になりました。つまり、**WebLogic Server** バージョン 6.1 ではサポートされますが、将来のバージョンではサポートされません。

`XMLRegistryEntry` 要素は次の 2 つの要素に置き換えられました。

- `XMLEntityCacheRegistryEntry`
- `XMLParserSelectRegistryEntry`

| 属性 | 説明 | 指定できる値
デフォルト値 | Console のナビゲーション |
|-------------------------------------|---|--------------------------------|---|
| <code>DocumentBuilderFactory</code> | この XML ドキュメントタイプに DOM スタイルの解析を行う <code>DocumentBuilderFactory</code> 実装クラス。 | q | [サービス XML レジストリ <code>DocumentBuilder</code> ファクトリ] |
| <code>EntityPath</code> | 管理サーバのエンティティファイルのコピーのパス名。 | パス名
デフォルト値：
なし | |
| <code>Name</code> | XML レジストリ エントリの名前。 | String
デフォルト値：
なし | |
| <code>Notes</code> | この要素についてユーザが定義する省略可能なコメント。 | String
デフォルト値：
なし | |
| <code>ParserClassName</code> | この XML ドキュメントタイプを解析する、生成されたカスタム パーサのクラス名。 | String
デフォルト値：
なし | |

3 config.xml の要素と属性

| 属性 | 説明 | 指定できる値
デフォルト値 | Console のナビゲーション |
|------------------|--|-------------------------|---|
| PublicId | パーサまたは外部エンティティがコンフィグレーションされる XML ドキュメントタイプのパブリック ID。 | String
デフォルト値：
なし | |
| RootElementTag | パーサまたは外部エンティティがコンフィグレーションされる XML ドキュメントタイプのルート要素名。 | String
デフォルト値：
なし | |
| SaxParserFactory | この XML ドキュメントタイプに SAX スタイルの解析を行う SaxParserFactory 実装クラス。 | String
デフォルト値：
なし | [サービス]
:[XML レジストリ] :[SAX パーサ ファクトリ] |
| SystemId | パーサまたは外部エンティティがコンフィグレーションされる XML ドキュメントタイプのシステム ID。 | String
デフォルト値：
なし | |

索引

A

- AbandonTimeoutSeconds 属性
 - JTA 要素 3-88
- AcknowledgePolicy 属性
 - JMSConnectionFactory 要素 3-59
- AcknowledgeMode 属性
 - JMSSessionPool 要素 3-81
- ACLCacheEnable 属性
 - CachingRealm 要素 3-15
- ACLCacheSize 属性
 - CachingRealm 要素 3-15
- ACLCacheTTLNegative 属性
 - CachingRealm 要素 3-15
- ACLCacheTTLPositive 属性
 - CachingRealm 要素 3-16
- ACLName 属性
 - JDBCConnectionPool 要素 3-41
 - JDBCMultiPool 要素 3-51
- Active 属性
 - Domain 要素 3-30
- AdapterJNDIName 属性
 - BridgeDestination 要素 3-14
- Addresses 属性
 - Machine 要素 3-97
 - UnixMachine 要素 3-153
- AdministrationPort 属性
 - Server 要素 3-110
- Administrator 要素
 - DTD 2-4
- AllowCloseInOnMessage 属性
 - JMSConnectionFactory 要素 3-60
- Application 属性
 - ConnectorComponent 要素 3-23
 - EJBComponent 要素 3-33
 - WebAppComponent 要素 3-162
- Application 要素
 - 属性 3-11
- ApplicationDescriptor 属性
 - Application 要素 3-11
- ApplicationManager 要素
 - DTD 2-5
- ApplicationPassword 属性
 - JoltConnectionPool 要素 3-86
 - WLECCConnectionPool 要素 3-172
- Application 要素
 - 属性 3-11
- Arguments 属性
 - ServerStart 要素 3-121
 - ShutdownClass 要素 3-123
- AsyncDisabled 属性
 - MessagingBridge 要素 3-99
- AttributeMBeanName 属性
 - SNMPAttributeChange 要素 3-128
- AttributeMBeanType 属性
 - SNMPAttributeChange 要素 3-128
- AttributeName 属性
 - SNMPAttributeChange 要素 3-128
- AuditProviderClassName 属性
 - Security 要素 3-109
- AuthenticationCacheEnable 属性
 - CachingRealm 要素 3-16
- AuthenticationCacheSize 属性
 - CachingRealm 要素 3-16
- AuthenticationCacheTTLNegative 属性
 - CachingRealm 要素 3-16
- AuthenticationCacheTTLPositive 属性
 - CachingRealm 要素 3-16
- AuthenticationMechanism 属性
 - ConnectorComponent 要素 3-23
- AuthProgram 属性
 - UnixRealm 要素 3-155
- AuthProtocol 属性
 - LPADRealm 要素 3-90
- DTD 2-4

AuthRealmName 属性
 WebAppComponent 要素 3-162
AutoDeployedEnabled 属性
 ApplicationManager 要素 3-12
AutoUpdateInterval 属性
 ApplicationManager 要素 3-13

B

BasicRealm 属性
 CachingRealm 要素 3-17
BeforeCompletionIterationLimit 属性
 JTA 要素 3-88
BridgeDestination 要素
 DTD 2-5
BytesMaximum 属性
 JMSTDestCommon 要素 3-65
 JMSServer 要素 3-77
BytesThresholdHigh 属性
 JMSTDestCommon 要素 3-65
 JMSServer 要素 3-77
BytesThresholdLow 属性
 JMSTDestCommon 要素 3-65
 JMSServer 要素 3-77

C

CacheCaseSensitive 属性
 CachingRealm 要素 3-17
CacheDiskSize 属性
 XMLEntityCache 要素 3-176
CacheLocation 属性
 XMLEntityCache 要素 3-176
CacheMemorySize 属性
 XMLCacheEntity 要素 3-176
CacheTimeoutInterval 属性
 XMLEntityCache 要素 3-177
 XMLEntitySpecRegistryEntry 要素
 3-178
CachingRealm 要素
 DTD 2-5
 属性 3-15
CapacityIncrement 属性

ConnectorComponent 要素 3-23
JDBCConnectionPool 要素 3-41
CertAuthenticator 属性
 SSL 要素 3-143
Certificate 属性
 NodeManager 要素 3-101
CertificateAuthenticationEnabled 属性
 WLECConnectionPool 要素 3-172
CertificateCacheSize 属性
 SSL 要素 3-143
CertificatePassword 属性
 NodeManager 要素 3-101
CertificateType 属性
 NodeManager 要素 3-101
Charsets 属性
 VirtualHost 要素 3-157
 WebServer 要素 3-166
Ciphersuites 属性
 SSL 要素 3-144
ClassLoader 属性
 ConnectorComponent 要素 3-23
ClassName 属性
 ShutdownClass 要素 3-123
 StartupClass 要素 3-152
ClassPath 属性
 ServerStart 要素 3-121
ClientCertificateEnforced 属性
 SSL 要素 3-144
ClientId 属性
 JMSTConnectionFactory 要素 3-60
Cluster 属性
 Server 要素 3-110
Cluster 要素
 DTD 2-6
 属性 3-21
ClusterAddress 属性
 Cluster 要素 3-21
ClusteringEnabled 属性
 VirtualHost 要素 3-157
 WebServer 要素 3-166
ClusterRuntime 属性
 Server 要素 3-110

ClusterWeight 属性
 Server 要素 3-110

Community 属性
 SNMPProxy 要素 3-138
 SNMPTrapDestination 要素 3-142

CommunityPrefix 属性
 SNMPAgent 3-124

ConfigProperties 属性
 ConnectorComponent 要素 3-23

ConfigurationData 属性
 CustomRealm 要素 3-29

ConnectionCleanupFrequency 属性
 ConnectorComponent 要素 3-23

ConnectionConsumers 属性
 JMSSessionPool 要素 3-81

ConnectionDurationTime 属性
 ConnectorComponent 要素 3-23

ConnectionFactory 属性
 JMSSessionPool 要素 3-81

ConnectionFactoryDescription 属性
 ConnectorComponent 要素 3-23

ConnectionFactoryImpl 属性
 ConnectorComponent 要素 3-24

ConnectionFactoryInterface 属性
 ConnectorComponent 要素 3-24

ConnectionFactoryName 属性
 ConnectorComponent 要素 3-24

ConnectionImpl 属性
 ConnectorComponent 要素 3-24

ConnectionInterface 属性
 ConnectorComponent 要素 3-24

ConnectionPool 属性
 JMSJDBCStore 要素 3-75

ConnectorComponent 要素
 DTD 2-6
 属性 3-23

ConnLeakProfilingEnabled 属性
 JDBCConnectionPool 要素 3-42

Credential 属性
 LPADRealm 要素 3-90

CustomRealm 要素
 DTD 2-7

属性 3-29

D

DatabaseDriver 属性
 RDBMSRealm 要素 3-106

DatabasePassword 属性
 RDBMSRealm 要素 3-106

DatabaseURL 属性
 RDBMSRealm 要素 3-106

DatabaseUserName 属性
 RDBMSRealm 要素 3-106

DebugFlags 属性
 ServerStart 要素 3-121

DebugLevel 属性
 SNMPAgent 3-125

DefaultDeliveryMode 属性
 JMSConnectionFactory 要素 3-60

DefaultIIOPPassword 属性
 Server 要素 3-111

DefaultIIOPUser 属性
 Server 要素 3-111

DefaultLoadAlgorithm 属性
 Cluster 要素 3-21

DefaultPriority 属性
 JMSConnectionFactory 要素 3-60

DefaultProtocol 属性
 Server 要素 3-111

DefaultRedeliveryDelay 属性
 JMSConnectionFactory 要素 3-60

DefaultSecureProtocol 属性
 Server 要素 3-111

DefaultServerName 属性
 VirtualHost 要素 3-157
 WebServer 要素 3-167

DefaultTGIOPPassword 属性
 Server 要素 3-111

DefaultTGIOPUser 属性
 Server 要素 3-112

DefaultTimeToDeliver 属性
 JMSConnectionFactory 要素 3-61

DefaultTimeToLive 属性
 JMSConnectionFactory 要素 3-61

DefaultWebApp 属性
 VirtualHost 要素 3-157
 WebServer 要素 3-167

DelayedBinding 属性
 ConnectorComponent 要素 3-24

DeliveryMode 属性
 JMSTDestCommon 要素 3-66

Deployed 属性
 Application 要素 3-11

DeploymentOrder 属性
 ConnectorComponent 要素 3-24
 EJBComponent 要素 3-33
 FileT3 要素 3-40
 JDBCConnectionPool 要素 3-42
 JDBCDataSource 要素 3-48
 JDBCMultiPool 要素 3-53
 JDBCTxDataSource 要素 3-54
 JMSConnectionFactory 要素 3-61
 JMSServer 要素 3-78
 JoltConnectionPool 要素 3-86
 MailSession 要素 3-98
 MessagingBridge 要素 3-99
 StartupClass 要素 3-152
 VirtualHost 要素 3-158
 WebAppComponent 要素 3-162
 WebServer 要素 3-168
 WLECCConnectionPool 3-172

Description 属性
 ConnectorComponent 要素 3-25

Destination 属性
 JMSConnectionConsumer 要素 3-58

DestinationKey 属性
 JMSTDestCommon 要素 3-66

Destinations 属性
 JMSServer 要素 3-78
 JMSTemplate 要素 3-83

Direction 属性
 JMSTDestinationKey 要素 3-72

Directory 属性
 JMSFileStore 要素 3-74
 XmlFileRepository 要素 3-180

DisplayName 属性
 ConnectorComponent 要素 3-25

DocumentBuilderFactory 属性
 XMLParserSelectRegistryEntry 要素 3-181
 XMLRegistry 要素 3-183
 XMLRegistryEntry 要素 3-185

Domain 属性
 XmlFileRepository 要素 3-180

Domain 要素
 DTD 2-1
 属性 3-30

DomainLogFilter 属性
 Server 要素 3-112

DomainLogFilter 要素
 DTD 2-7
 属性 3-31

DriverName 属性
 JDBCConnectionPool 要素 3-43

DurabilityDisabled 属性
 MessagingBridge 要素 3-99

E

EisType 属性
 ConnectorComponent 要素 3-25

EJBComponent 要素
 DTD 2-4
 属性 3-33

EJBContainer 要素
 属性 3-36

EmailAddress 属性
 Administrator 要素 3-10

Enabled 属性
 SNMPAgent 3-125
 SSL 要素 3-145

EnabledForDomainLog 属性
 Server 要素 3-112

EnabledServer 属性
 SNMPCounterMonitor 要素 3-130

EnabledServers 属性
 SNMPAttributeChange 要素 3-128
 SNMPGuageMonitor 要素 3-133
 SNMPLogFilter 要素 3-136

SNMPStringMonitor 要素 3-139
EnableTwoPhaseCommit 属性
JDBCTxDataSource 要素 3-55
EntityPath 属性
XMLRegistryEntry 要素 3-185
EntityURI 属性
XMLEntitySpecRegistryEntry 要素
3-178
ErrorDestination 属性
JMSDestCommon 要素 3-66
ExecuteQueue 要素
DTD 2-17
属性 3-38
ExpectedToRun 属性
Server 要素 3-112
ExportKeyLifespan 属性
SSL 要素 3-145
ExtraRmicOptions 属性
EJBComponent 要素 3-34
Server 要素 3-112

F

FailoverAddresses 属性
JoltConnectionPool 要素 3-86
WLECConnectionPool 要素 3-172
FailureIsFatal 属性
StartupClass 要素 3-152
FileCount 属性
Log 要素 3-95
FileMinSize 属性
Log 要素 3-95
FileName 属性
Log 要素 3-95
FileRealm 要素
DTD 2-7
属性 3-39
FileT3 要素
DTD 2-7
属性 3-40
FileTimeSpan 属性
Log 要素 3-95
ForgetHeuristics 属性

JTA 要素 3-88
ForwardingPolicy 属性
MessagingBridge 要素 3-99

G

GroupCacheEnable 属性
CachingRealm 要素 3-17
GroupCacheSize 属性
CachingRealm 要素 3-18
GroupCacheTTLNegative 属性
CachingRealm 要素 3-18
GroupCacheTTLPositive 属性
CachingRealm 要素 3-18
GroupDN 属性
LPADRealm 要素 3-90
GroupIsContext 属性
LDAPRealm 要素 3-90
GroupMembershipCacheTTL 属性
CachingRealm 要素 3-18
GroupNameAttribute 属性
LPADRealm 要素 3-91
GroupUsernameAttribute 属性
LPADRealm 要素 3-91
GuestDisabled 属性
Security 要素 3-109

H

HandlerEnabled 属性
SSL 要素 3-146
HelpPageURL 属性
Server 要素 3-112
Host 属性
SNMPTrapDestination 要素 3-142
HostnameVerificationIgnored 属性
SSL 要素 3-147
HostnameVerifier 属性
SSL 要素 3-147
HttpdEnabled 属性
Server 要素 3-112
HttpsKeepAliveSecs 属性
VirtualHost 要素 3-158

WebServer 要素 3-168

I

IdleIIOPConnectionTimeout 属性

Server 要素 3-113

IIOPEnabled 属性

Server 要素 3-113

IndexDirectoryEnabled 属性

WebAppComponent 要素 3-163

InitialCapacity 属性

ConnectorComponent 要素 3-25

JDBCConnectionPool 要素 3-43

InstrumentStackTraceEnabled 属性

Server 要素 3-113

InterfaceAddress 属性

Server 要素 3-113

J

JavaCompiler 属性

EJBComponent 要素 3-34

Server 要素 3-113

JavaCompilerPostClassPath attribute

Server 要素 3-113

JavaCompilerPostClassPath 属性

EJBComponent 要素 3-34

JavaCompilerPreClassPath 属性

EJBComponent 要素 3-34

Server 要素 3-113

JDBC

メタプール

プール リスト 3-53

JDBCConnectionPool 要素

DTD 2-7

属性 3-41

JDBCDataSource 要素

DTD 2-8

属性 3-48

JDBCLogFileFileName 属性

Server 要素 3-114

JDBCLoggingEnabled 属性

Server 要素 3-114

JDBCMultiPool 要素

DTD 2-8

JDBCTxDataSource 要素

DTD 2-8

属性 3-54

JMSConnectionConsumer 要素

DTD 2-10

属性 3-58

JMSConnectionFactory 要素

DTD 2-9

属性 3-59

JMSDefaultConnectionFactoriesEnabled 属性

Server 要素 3-114

JMSDestCommon 要素

属性 3-65

JMSDestination 要素

属性 3-70

JMSDestinationKey 要素

DTD 2-11

属性 3-72

JMSFileStore 要素

DTD 2-9

属性 3-74

JMSJDBCStore 要素

DTD 2-9

属性 3-75

JMSQueue 要素

DTD 2-11

属性 3-76

JMSServer 属性

JMSStore 要素 3-82

JMSServer 要素

DTD 2-9

属性 3-77

JMSSessionPool 要素

DTD 2-10

属性 3-81

JMSStore 要素

属性 3-82

JMSTemplate 要素

DTD 2-11

属性 3-83
JMSThreadPoolSize 属性
 Server 要素 3-114
JMSTopic 要素
 DTD 2-10
 属性 3-84
JNDIName 属性
 JDBCDataSource 要素 3-48
 JDBCTxDataSource 要素 3-55
 JMSConnectionFactory 要素 3-61
 JMSDestination 要素 3-70
 MailSession 要素 3-98
JndiName 属性
 ConnectorComponent 要素 3-25
JNDITransportableObjectFactoryList 属性
 Server 要素 3-114
JoltConnectionPool 要素
 DTD 2-12
 属性 3-86
JTA 要素
 DTD 2-2
 属性 3-88

K

KeepAliveEnabled 属性
 VirtualHost 要素 3-158
 WebServer 要素 3-168
KeepAliveSecs 属性
 VirtualHost 要素 3-158
 WebServer 要素 3-168
KeepGenerated 属性
 EJBComponent 要素 3-35
KeyEncrypted 属性
 SSL 要素 3-147
KeyType 属性
 JMSDestinationKey 要素 3-72

L

LargeIcon 属性
 ConnectorComponent 要素 3-25
LastModificationTime 属性

Domain 要素 3-30
LdapProvider 属性
 LPADRealm 要素 3-91
LDAPRealm 要素
 DTD 2-12
 属性 3-90
LDAPURL 属性
 LPADRealm 要素 3-91
LicenseDescription 属性
 ConnectorComponent 要素 3-25
LicenseRequired 属性
 ConnectorComponent 要素 3-25
ListenAddress 属性
 NodeManager 要素 3-101
 Server 要素 3-115
ListenDelaySecs 属性
 Server 要素 3-115
ListenerClass 属性
 JMSSessionPool 要素 3-81
ListenPort 属性
 NodeManager 要素 3-101
 Server 要素 3-115
 SSL 要素 3-148
LockoutCacheSize 属性
 PasswordPolicy 要素 3-103
LockoutDuration 属性
 PasswordPolicy 要素 3-103
LockoutEnabled 属性
 PasswordPolicy 要素 3-103
LockoutGCThreshold 属性
 PasswordPolicy 要素 3-103
LockoutResetDuration 属性
 PasswordPolicy 要素 3-104
LockoutThreshold 属性
 PasswordPolicy 要素 3-104
Log 要素
 DTD 2-1
 属性 3-95
LogFileBufferKBytes 属性
 VirtualHost 要素 3-158
 WebServer 要素 3-168
LogFileFlushSecs 属性

- VirtualHost 要素 3-159
- WebServer 要素 3-169
- LogFileFormat 属性
 - VirtualHost 要素 3-159
 - WebServer 要素 3-169
- LogFileName 属性
 - ConnectorComponent 要素 3-25
 - VirtualHost 要素 3-159
 - WebServer 要素 3-169
- LoggingEnabled 属性
 - ConnectorComponent 要素 3-26
 - VirtualHost 要素 3-159
 - WebServer 要素 3-169
- LoginDelaySeconds 属性
 - JDBCConnectionPool 要素 3-43
- LoginTimeout 属性
 - Server 要素 3-115
- LoginTimeoutMillis 属性
 - Server 要素 3-115
- LoginTimeoutMillisSSL 属性
 - SSL 要素 3-148
- LogRemoteExceptionsEnabled 属性
 - Server 要素 3-115
- LogRotationPeriodMins 属性
 - VirtualHost 要素 3-159
 - WebServer 要素 3-169
- LogRotationTimeBegin 属性
 - VirtualHost 要素 3-159
 - WebServer 要素 3-169
- LogRotationType 属性
 - VirtualHost 要素 3-159
 - WebServer 要素 3-169
- Logs 属性
 - NodeManager 要素 3-101

M

- Machine 属性
 - Server 要素 3-116
- Machine 要素
 - DTD 2-13
 - 属性 3-97
- MailSession 要素
 - DTD 2-13
 - 属性 3-98
- ManagedConnectionFactoryClass 属性
 - ConnectorComponent 要素 3-26
- MapConfigProperties 属性
 - ConnectorComponent 要素 3-26
- MaxACLs 属性
 - FileRealm 要素 3-39
- MaxCapacity 属性
 - ConnectorComponent 要素 3-26
 - JDBCConnectionPool 要素 3-44
- MaxGroups 属性
 - FileRealm 要素 3-39
- MaximumEncryptionLevel 属性
 - WLECCConnectionPool 要素 3-172
- MaximumPoolSize 属性
 - JoltConnectionPool 要素 3-86
 - WLECCConnectionPool 要素 3-173
- MaxLogFileSizeKBytes 属性
 - VirtualHost 要素 3-159
 - WebServer 要素 3-169
- MaxPostSize 属性
 - VirtualHost 要素 3-160
 - WebServer 要素 3-170
- MaxPostTimeSecs 属性
 - VirtualHost 要素 3-160
 - WebServer 要素 3-170
- MaxTransactions 属性
 - JTA 要素 3-88
- MaxUniqueNameStatistics 属性
 - JTA 要素 3-88
- MaxUsers 属性
 - FileRealm 要素 3-39
- MessageIds 属性
 - SNMPLogFilter 要素 3-136
- MessagesMaximum 属性
 - JMSConnectionConsumer 要素 3-58
 - JMSConnectionFactory 要素 3-61
 - JMSDestCommon 要素 3-67
 - JMSServer 要素 3-78
- MessagesThresholdHigh 属性
 - JMSDestCommon 要素 3-67

JMSServer 要素 3-78
MessagesThresholdLow 属性
 JMSTopic 要素 3-84
 JMSServer 要素 3-79
MessageSubstring 属性
 SNMPLogFilter 要素 3-136
MessagingBridge 要素
 DTD 2-13
 属性 3-99
MIBDataRefreshInterval 属性
 SNMPAgent 要素 3-126
MinimumEncryptionLevel 属性
 WLECConnectionPool 要素 3-173
MinimumPasswordLength 属性
 PasswordPolicy 要素 3-104
MinimumPoolSize 属性
 JoltConnectionPool 要素 3-86
 WLECConnectionPool 要素 3-173
Modulus 属性
 SNMPCounterMonitor 要素 3-130
MonitoredAttributeName 属性
 SNMPCounterMonitor 要素 3-130
 SNMPGaugeMonitor 要素 3-133
 SNMPStringMonitor 要素 3-139
MonitoredMBeanName 属性
 SNMPCounterMonitor 要素 3-131
 SNMPStringMonitor 要素 3-139
MonitoredMBeanType 属性
 SNMPCounterMonitor 要素 3-131
 SNMPGaugeMonitor 要素 3-134
 SNMPStringMonitor 要素 3-140
MonitoredMBeanName 属性
 SNMPGaugeMonitor 要素 3-133
MulticastAddress 属性
 Cluster 要素 3-21
 JMSTopic 要素 3-84
MulticastPort 属性
 JMSTopic 要素 3-84
MulticastSendDelay 属性
 Cluster 要素 3-22
MulticastTTL 属性
 Cluster 要素 3-22

JMSTopic 要素 3-84

N

Name 属性
 Administrator 要素 3-10
 Application 要素 3-11
 ApplicationManager 要素 3-13
 BridgeDestination 要素 3-14
 CachingRealm 要素 3-18
 Cluster 要素 3-22
 ConnectorComponent 要素 3-26
 CustomRealm 要素 3-29
 Domain 要素 3-30
 DomainLogFilter 要素 3-31
 EJBComponent 要素 3-35
 ExecuteQueue 要素 3-38
 FileRealm 要素 3-39
 FileT3 要素 3-40
 JDBCConnectionPool 要素 3-44
 JDBCDataSource 要素 3-48
 JDBCMultiPool 要素 3-53
 JDBCTxDataSource 要素 3-56
 JMSSessionConsumer 要素 3-58
 JMSSessionFactory 要素 3-62
 JMSTopic 要素 3-70
 JMSTopicKey 要素 3-72
 JMSTopicStore 要素 3-74
 JMSSessionStore 要素 3-75
 JMSSession 要素 3-79
 JMSSessionPool 要素 3-81
 JMSSession 要素 3-82
 JMSTopic 要素 3-67, 3-84
 JoltConnectionPool 要素 3-86
 JTA 要素 3-89
 Log 要素 3-95
 LPADRealm 要素 3-91
 Machine 要素 3-97
 MailSession 要素 3-98
 MessagingBridge 要素 3-99
 NodeManager 要素 3-101
 NTRealm 要素 3-102
 PasswordPolicy 要素 3-105

RDBMSRealm 要素 3-106
Realm 要素 3-108
Security 要素 3-109
Server 要素 3-116
ServerStart 要素 3-121
ShutdownClass 要素 3-123
SNMPAgent 要素 3-126
SNMPAttributeChange 要素 3-129
SNMPCounterMonitor 要素 3-131
SNMPGuageMonitor 要素 3-134
SNMPLogFilter 要素 3-136
SNMPStringMonitor 要素 3-140
SNMPTrapDestination 要素 3-142
SSL 要素 3-148
StartupClass 要素 3-152
UnixMachine 要素 3-153
UnixRealm 要素 3-155
VirtualHost 要素 3-160
WebAppComponent 要素 3-163
WebServer 要素 3-170
WLECConnectionPool 要素 3-173
XMLEntityCache 要素 3-177
XMLEntitySpecRegistryEntry 要素
3-179
XmlFileRepository 要素 3-180
XMLParserSelectRegistryEntry 要素
3-181
XMLRegistry 要素 3-183
XMLRegistryEntry 要素 3-185
NativeIOEnabled attribute
Server 要素 3-116
NativeLibDir 属性
ConnectorComponent 要素 3-26
NodeManager 要素
DTD 2-13
属性 3-101
Notes 属性
Administrator 要素 3-10
Application 要素 3-11
ApplicationManager 要素 3-13
BridgeDestination 要素 3-14
CachingRealm 要素 3-19
Cluster 要素 3-22
ConnectorComponent 要素 3-26
CustomRealm 要素 3-29
Domain 要素 3-30
DomainLogFilter 要素 3-31
EJBComponent 要素 3-35
ExecuteQueue 要素 3-38
FileRealm 要素 3-39
FileT3 要素 3-40
JDBCConnectionPool 要素 3-44
JDBCDataSource 要素 3-48
JDBCMultiPool 要素 3-53
JDBCTxDataSource 要素 3-56
JMSConnectionConsumer 要素 3-58
JMSConnectionFactory 要素 3-62
JMSDestination 要素 3-70
JMSDestinationKey 要素 3-72
JMSFileStore 要素 3-74
JMSJDBCStore 要素 3-75
JMSServer 要素 3-79
JMSSessionPool 要素 3-81
JMSSStore 要素 3-82
JMSTopic 要素 3-67, 3-85
JoltConnectionPool 要素 3-87
JTA 要素 3-89
Log 要素 3-96
LPADRealm 要素 3-91
Machine 要素 3-97
MailSession 要素 3-98
MessagingBridge 要素 3-99
NodeManager 要素 3-101
NTRealm 要素 3-102
PasswordPolicy 要素 3-105
RDBMSRealm 要素 3-106
Realm 要素 3-108
Security 要素 3-109
Server 要素 3-116
ServerStart 要素 3-121
ShutdownClass 要素 3-123
SNMPAgent 要素 3-126
SNMPAttributeChange 3-129
SNMPCounterMonitor 要素 3-131

- SNMPGaugeMonitor 要素 3-134
- SNMPLogFilter 要素 3-137
- SNMPStringMonitor 要素 3-140
- SNMPTrapDestination 要素 3-142
- SSL 要素 3-148
- StartupClass 要素 3-152
- UnixMachine 要素 3-153
- UnixRealm 要素 3-155
- VirtualHost 要素 3-160
- WebAppComponent 要素 3-163
- WebServer 要素 3-170
- WLECConnectionPool 要素 3-173
- XMLEntityCache 要素 3-177
- XMLEntitySpecRegistryEntry 要素 3-179
- XmlFileRepository 要素 3-180
- XMLParserSelectRegistryEntry 要素 3-182
- XMLRegistry 要素 3-183
- XMLRegistryEntry 要素 3-185
- NotifyDiffer 属性
 - SNMPStringMonitor 要素 3-140
- NotifyMatch 属性
 - SNMPStringMonitor 要素 3-140
- NTRealm 要素
 - DTD 2-14
 - 属性 3-102
- NumberOfFilesLimited 属性
 - Log 要素 3-96

O

- Offset 属性
 - SNMPCounterMonitor 要素 3-131
- oidRoot 属性
 - SNMPProxy 要素 3-138
- OutputFile 属性
 - ServerStart 要素 3-121
- OverrunPolicy 属性
 - JMSConnectionFactory 要素 3-62

P

- ParserClassName 属性
 - XMLParserSelectRegistryEntry 要素 3-182
 - XMLRegistryEntry 要素 3-185
- Password 属性
 - JDBCConnectionPool 要素 3-44
- PasswordPolicy 属性
 - Security 要素 3-109
- PasswordPolicy 要素
 - DTD 2-14
 - 属性 3-103
- Path 属性
 - Application 要素 3-11
 - FileT3 要素 3-40
- PermissionCacheEnable 属性
 - CachingRealm 要素 3-19
- PermissionCacheSize 属性
 - CachingRealm 要素 3-19
- PermissionCacheTTLNegative 属性
 - CachingRealm 要素 3-19
- PermissionCacheTTLPositive 属性
 - CachingRealm 要素 3-19
- Phone number 属性
 - Administrator 要素 3-10
- PollingInterval 属性
 - SNMPCounterMonitor 要素 3-132
 - SNMPGaugeMonitor 要素 3-134
 - SNMPStringMonitor 要素 3-141
- PoolName 属性
 - JDBCDataSource 要素 3-48
 - JDBCTxDataSource 要素 3-56
- Port 属性
 - SNMPProxy 要素 3-138
 - SNMPTrapDestination 要素 3-142
- PostBindGID 属性
 - UnixMachine 要素 3-153
- PostBindGIDEnabled 属性
 - UnixMachine 要素 3-153
- PostBindUID 属性
 - UnixMachine 要素 3-154
- PostBindUIDEnabled 属性

UnixMachine 要素 3-154
PostTimeoutSecs 属性
 VirtualHost 要素 3-160
 WebServer 要素 3-170
PreferredSecondaryGroup 属性
 Server 要素 3-116
PreferWebInfClasses 属性
 WebAppComponent 要素 3-163
PrefixName 属性
 JMSJDBCStore 要素 3-75
PrimaryAddresses 属性
 JoltConnectionPool 要素 3-87
 WLECConnectionPool 要素 3-174
PrimaryDomain 属性
 NTRealm 要素 3-102
Principal 属性
 LPADRealm 要素 3-92
PriorityOverride 属性
 JMSDestCommon 要素 3-67
Properties 属性
 BridgeDestination 要素 3-14
 JDBCConnection Pool 要素 3-44
 MailSession 要素 3-98
Property 属性
 JMSDestinationKey 要素 3-73
PublicId 属性
 XMLEntitySpecRegistryEntry 要素
 3-179
 XMLParserSelectRegistryEntry 要素
 3-182
 XMLRegistryEntry 要素 3-186

Q

QOSDegradationAllowed 属性
 MessagingBridge 要素 3-99
QualityOfService 属性
 MessagingBridge 要素 3-100

R

RALinkRef 属性
 ConnectorComponent 要素 3-26

RDBMSRealm 要素
 DTD 2-14
 属性 3-106
Realm 属性
 Security 要素 3-109
Realm 要素
 DTD 2-14
 属性 3-108
RealmClassName 属性
 CustomRealm 要素 3-29
 LPADRealm 要素 3-92
 NTRealm 要素 3-102
 RDBMSRealm 要素 3-107
 UnixRealm 要素 3-156
reauthenticationSupport 属性
 ConnectorComponent 要素 3-27
ReconnectDelayIncrement 属性
 MessagingBridge 要素 3-100
ReconnectDelayInitialMilliseconds 属性
 MessagingBridge 要素 3-100
ReconnectDelayMaximumMilliseconds 属性
 MessagingBridge 要素 3-100
RecvTimeout 属性
 JoltConnectionPool 要素 3-87
RedeliveryDelayOverride 属性
 JMSDestCommon 要素 3-68
RedeliveryLimit 属性
 JMSDestCommon 要素 3-68
RefreshMinutes 属性
 JDBCConnectionPool 要素 3-45
ReplicationGroup 属性
 Server 要素 3-117
ResultsBatchSize 属性
 Realm 要素 3-108
ReverseDNSAllowed 属性
 Server 要素 3-117
RootDirectory 属性
 Domain 要素 3-30
 Server 要素 3-117
RootElementTag 属性
 XMLParserSelectRegistryEntry 要素
 3-182

XMLRegistryEntry 要素 3-186
RotationType 属性
Log 要素 3-96
RowPrefetchEnabled 属性
JDBCDataSource 要素 3-49
JDBCTxDataSource 要素 3-56
RowPrefetchSize 属性
JDBCDataSource 要素 3-49
JDBCTxDataSource 要素 3-57

S

SaxParserFactory 属性
XMLParserSelectRegistryEntry 要素
3-182
XMLRegistry 要素 3-184
XMLRegistryEntry 要素 3-186
ScheduleTime 属性
MessagingBridge 要素 3-100
SchemaProperties 属性
RDBMSRealm 要素 3-107
Security 要素
DTD 2-1
属性 3-109
SecurityContextEnabled 属性
JoltConnectionPool 要素 3-87
WLECConnectionPool 要素 3-174
SecurityPermissions 属性
ConnectorComponent 要素 3-27
SecurityPolicyFile 属性
ServerStart 要素 3-122
SecurityPrincipalMaps 属性
ConnectorComponent 要素 3-27
Selector 属性
JMSConnectionConsumer 要素 3-58
MessagingBridge 要素 3-100
SendServerHeaderEnabled
VirtualHost 要素 3-160
SendServerHeaderEnabled 属性
WebServer 要素 3-170
Server 要素
DTD 2-14
属性 3-110

ServerCertificateChainFileName 属性
SSL 要素 3-149
ServerCertificateFileName 属性
SSL 要素 3-149
ServerKeyFileName 属性
SSL 要素 3-150
Servers 属性
Cluster 要素 3-22
ServerStart 要素
DTD 2-16
属性 3-121
ServerStatusCheckIntervalFactor 属性
SNMPAgent 要素 3-126
ServletExtensionCaseSensitive 属性
WebAppComponent 要素 3-164
ServletReloadCheckSecs 属性
WebAppComponent 要素 3-164
SessionMonitoringEnabled 属性
WebAppComponent 要素 3-164
SessionPools 属性
JMSServer 要素 3-79
SessionsMaximum 属性
JMSSessionPool 要素 3-81
SeverityLevel 属性
DomainLogFilter 要素 3-31
SNMPLogFilter 要素 3-137
ShrikingEnabled 属性
ConnectorComponent 要素 3-27
ShrinkingEnabled 属性
JDBCConnectionPool 要素 3-45
ShrinkPeriodMinutes 属性
ConnectorComponent 要素 3-27
JDBCConnectionPool 要素 3-45
ShutdownClass 要素
DTD 2-17
属性 3-123
SingleThreadedServletPoolSize 属性
WebAppComponent 要素 3-164
SmallIcon 属性
ConnectorComponent 要素 3-27
SNMPAgent 要素
DTD 2-2

属性 3-124

SNMPAttributeChange 要素
DTD 2-3
属性 3-128

SNMPCounterMonitor 要素 3-130
DTD 2-3

SNMPGaugeMonitor 要素
DTD 2-3

SNMPGaugeMonitor 要素
属性 3-133

SNMPLogFilter 要素
DTD 2-2
属性 3-136

SNMPPort 属性
SNMPAgent 要素 3-127

SNMPProxy 要素
DTD 2-4
属性 3-138

SNMPStringMonitor 要素
DTD 2-3
属性 3-139

SNMPTrapDestination 要素
DTD 2-2
属性 3-142

SourceDestination 属性
MessagingBridge 要素 3-100

SpecVersion 属性
ConnectorComponent 要素 3-27

SSL 要素
DTD 2-16
属性 3-143

SSLEnable 属性
LPADRealm 要素 3-92

StartdPort 属性
Machine 要素 3-97
UnixMachine 要素 3-154

StartupClass 属性
StartupClass 要素 3-152

StartupClass 要素
DTD 2-17
属性 3-152

StdoutDebugEnabled 属性

Server 要素 3-117

StdoutEnabled 属性
Server 要素 3-117

StdoutSeverityLevel 属性
Server 要素 3-118

Store 属性
JMSServer 要素 3-79

StoreEnabled 属性
JMSDestination 要素 3-70

StreamChunkSize 属性
JDBCDataSource 要素 3-50
JDBCTxDataSource 要素 3-57

StringToCompare 属性
SNMPStringMonitor 要素 3-141

SubsystemName 属性
SNMPLogFilter 要素 3-137

SubsystemNames 属性
DomainLogFilter 要素 3-32

SupportsLocalTransactions 属性
JDBCConnectionPool 要素 3-45

SystemId 属性
XMLEntitySpecRegistryEntry 要素
3-179

XMLParserSelectRegistryEntry 要素
3-182

XMLRegistryEntry 要素 3-186

SystemUser 属性
Security 要素 3-109

T

TargetDestination 属性
MessagingBridge 要素 3-100

Targets 属性
ConnectorComponent 要素 3-27
EJBComponent 要素 3-35
FileT3 要素 3-40
JDBCConnectionPool 要素 3-46
JDBCDataSource 要素 3-50
JDBCMultiPool 要素 3-53
JDBCTxDataSource 要素 3-57
JMSConnectionFactory 要素 3-62
JMSServer 要素 3-79

JoltConnectionPool 要素 3-87
MailSession 要素 3-98
MessagingBridge 要素 3-100
ShutdownClass 要素 3-123
StartupClass 要素 3-152
VirtualHost 要素 3-160
WebAppComponent 要素 3-165
WebServer 要素 3-170
WLECConnectionPool 要素 3-174
TemporaryTemplate 属性
 JMSServer 要素 3-80
TestConnectionsOnRelease 属性
 JDBCConnectionPool 要素 3-46
TestConnectionsOnReserve 属性
 JDBCConnectionPool 要素 3-46
TestTableName 属性
 JDBCConnectionPool 要素 3-47
TGIOPEnabled 属性
 Server 要素 3-118
ThreadCount 属性
 ExecuteQueue 要素 3-38
ThreadPoolPercentSocketReaders 属性
 Server 要素 3-118
Threshold 属性
 SNMPCounterMonitor 要素 3-132
ThresholdHigh 属性
 SNMPGaugeMonitor 要素 3-134
ThresholdLow 属性
 SNMPGaugeMonitor 要素 3-135
Timeout 属性
 SNMPProxy 要素 3-138
TimeoutSeconds 属性
 JTA 要素 3-89
TimeToDeliverOverride 属性
 JMSDestCommon 要素 3-68
TimeToLiveOverride 属性
 JMSDestCommon 要素 3-69
TmpPath 属性
 EJBComponent 要素 3-35
Transacted 属性
 JMSSessionPool 要素 3-81
TransactionLogFilePrefix 属性
 Server 要素 3-119
TransactionSupport 属性
 ConnectorComponent 要素 3-27
TransactionTimeout 属性
 JMSSessionFactory 要素 3-63
TransactionTimeoutSeconds 属性
 MessagingBridge 要素 3-100
TransformerFactory 属性
 XMLParserSelectRegistryEntry 要素
 3-182
 XMLRegistry 要素 3-184
TrustedCAFileName 属性
 SSL 要素 3-150
TrustedCertsFile 属性
 NodeManager 要素 3-101
TunnelingClientPingSecs 属性
 Server 要素 3-119
TunnelingClientTimeoutSecs 属性
 Server 要素 3-119
TunnelingEnabled 属性
 Server 要素 3-119

U

UnixMachine 要素
 DTD 2-17
 属性 3-153
UnixRealm 要素
 DTD 2-18
 属性 3-155
URI 属性
 EJBComponent 要素 3-35
 ConnectorComponent 要素 3-27
 WebAppComponent 要素 3-165
URL 属性
 JDBCConnectionPool 要素 3-47
URLResource 属性
 VirtualHost 要素 3-161
 WebServer 要素 3-171
UseJava 属性
 SSL 要素 3-151
UserAuthentication 属性
 LPADRealm 要素 3-93

UserCacheEnable 属性
 CachingRealm 要素 3-19

UserCacheSize 属性
 CachingRealm 要素 3-20

UserCacheTTLNegative 属性
 CachingRealm 要素 3-20

UserCacheTTLPositive 属性
 CachingRealm 要素 3-20

UserDN 属性
 LPADRealm 要素 3-93

UserIds 属性
 DomainLogFilter 要素 3-32
 SNMPLogFilter 要素 3-137

UserName 属性
 JoltConnectionPool 要素 3-87
 WLECConnectionPool 要素 3-174

UserNameAttribute 属性
 LPADRealm 要素 3-94

UserPassword 属性
 JoltConnectionPool 要素 3-87
 WLECConnectionPool 要素 3-174

UserPasswordAttribute 属性
 LPADRealm 要素 3-94

UserRole 属性
 JoltConnectionPool 要素 3-87
 WLECConnectionPool 要素 3-175

UserTransactionsEnabled 属性
 JMSConnectionFactory 要素 3-63

V

ValidProtocols 属性
 Server 要素 3-119

VendorName 属性
 ConnectorComponent 要素 3-28

VerboseEJBDeploymentEnabled 属性
 EJBComponent 要素 3-35
 Server 要素 3-120

Version 属性
 ConnectorComponent 要素 3-28

VirtualHost 要素
 DTD 2-18
 属性 3-157

VirtualHostNames 属性
 VirtualHost 要素 3-161

W

WAPEnabled 属性
 VirtualHost 要素 3-161
 WebServer 要素 3-171

WebAppComponent 要素
 DTD 2-4
 属性 3-162

WebDescriptor 属性
 WebAppComponent 要素 3-165

WebServer 要素
 DTD 2-16
 属性 3-166

WebServers 属性
 WebAppComponent 要素 3-165

WhenToCache 属性
 XMLEntitySpecRegistryEntry 要素 3-179
 XMLRegistry 要素 3-184

WLECConnectionPool 要素
 DTD 2-18
 属性 3-172

WLEDomain 属性
 WLECConnectionPool 要素 3-175

WorkspaceShowUserKeysOnly 属性
 Server 要素 3-120

WriteAuthorized 属性
 Administrator 要素 3-10

X

XAConnectionFactoryEnabled 属性
 JMSConnectionFactory 要素 3-64

XMLEntityCache 属性
 Server 要素 3-120

XMLEntityCache 要素
 DTD 2-19
 属性 3-176

XMLEntitySpecRegistryEntry 要素
 DTD 2-19

属性 3-178
XmlFileRepository 要素
 DTD 2-20
 属性 3-180
XMLParserSelectRegistryEntry 要素
 DTD 2-19
 属性 3-181
XMLRegistry 属性
 Server 要素 3-120
XMLRegistry 要素
 DTD 2-19
 属性 3-183
XMLRegistryEntry 要素
 DTD 2-20
 属性 3-185

Z

ZACEnabled 属性
 Server 要素 3-120
ZACPublishRoot 属性
 Server 要素 3-120

い

印刷、製品のマニュアル 1-viii

か

カスタマ サポート情報 1-viii

さ

サポート
 技術情報 1-ix

ま

マニュアル、入手先 1-viii

